



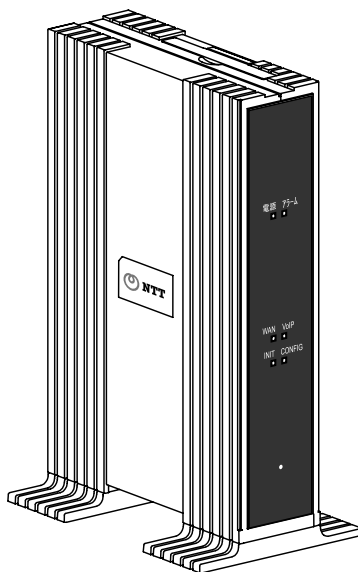
「ひかり電話対応 VoIP アダプタ」

AD-200SE

取扱説明書

このたびは、「ひかり電話対応 VoIP アダプタ」
AD-200SEをご利用いただきまして、
まことにありがとうございます。

- 本商品は「ひかり電話」対応商品です。ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みにになった後も、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

【返却される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持する商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するため、本商品を返却される際には、本書 p. 184をご参照のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略です。
- Mac、Macintosh、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Ethernet® は米国 XEROX 社の登録商標です。
- JavaScript® は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- VxWorks® は米国 Wind River Systems, Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- ® マークおよび ™ 表記については本文中に明記しません。
- This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).
- Copyright (C) 1993-2002 by Darren Reed.

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

- ご使用の際は本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品（取扱説明書、ソフトウェアを含む）は日本国内向け仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本商品（ソフトウェア含む）は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は同法による許可が必要です。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、巻末のお問い合わせ窓口へお申し付けください。
- 取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品のTELポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に作動しないことがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所などで求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

お使いになる前に（設置環境）



警告

- 本商品およびモジュラジャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品やモジュラジャックをふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところに設置および使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。
- 水のかかる場所で使用したり、水に濡らすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐電源コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本商品やモジュラジャックを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所、水、油、薬品がかかる恐れがある場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品に無線 LAN カードを装着してご利用の場合は、医用電気機器の近くでの設置や使用をしないでください。
手術室、集中治療室、CCU(冠状動脈疾患監視病室)などに持ち込まないでください。本商品からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 本商品に無線 LAN カードを装着してご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。
本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

お使いのとき



警告

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品およびモジュラジャックや電話配線の内部に水などの液体が入ったり、本商品を濡らした場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタ（電源プラグ）のコードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

● 濡れた手で本商品およびモジュラジャックや電話配線を操作したり、接続しないでください。 感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）は必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに確実に差し込んでください。 電源アダプタ（電源プラグ）の刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜くときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を持って引き抜いてください。電源アダプタ（電源プラグ）のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）は、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。また、半年から1年に1回は、電源アダプタ（電源プラグ）を点検してください。なお点検は当社サービス取扱所にご相談ください。
● お近くに雷が発生したときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
● 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 ・ じゅうたんやふとんの上に置く。 ・ テーブルクロスなどをかける。 ・ 毛布やふとんをかぶせる。 ・ 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
● 電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。 火災の原因となることがあります。

その他



警告

- 本商品や電源アダプタ（電源プラグ）を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。キャビネットを開けられた場合は、本商品の保証対象外といたします。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 電源アダプタ（電源プラグ）のコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）のコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品やモジュラジャックに水が入ったりしないよう、また濡らさないようにご注意ください。漏電して、火災・感電の原因となることがあります。
- 付属の電源アダプタ（電源プラグ）を本商品以外には使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜き、電話機コードを差込口から引き抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

お使いになる前に（設置環境）



注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の設置面以外には 3cm 以上の空間を作るようにして設置してください。換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。
- 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
- 温度 5℃～40℃・湿度 5%～85%で、結露しない場所に設置してください。温度や湿度がこの範囲を超えたり、結露が発生すると故障の原因となることがあります。

結露とは、空気中の水蒸気が金属板の表面などに付着し、水滴となる現象です。本商品を寒い場所から急に暖かい場所に移動させたようなときには、本商品内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いた状態で放置しておき、完全に乾燥してから電源を入れてください。
- 本商品は安定した水平なところに縦置きで設置してください。設置方法については本文中をご参照ください。
- 本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音などが大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと、受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音などが大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

- | |
|---|
| <p>● 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。</p> |
| <p>● 本商品に無線 LAN カードを装着してご利用の場合は、次のような場所でのご使用は避けてください。
（電波を混信したり、誤動作の原因となることがあります。）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特定無線局や移動通信体のある屋内・ 電子レンジの近く・ 盗難防止装置など 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内 |
| <p>● 本商品に無線 LAN カードを装着してご利用の場合で、本商品と無線 IP 端末の間に次のような物質があるときは設置場所を変更したり、仕切りを取り払うなどしてください。（電波を通しにくい物質が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 鉄のドア・ スチール棚や仕切り・ コンクリート、石、レンガなどの壁・ 防火ガラス・ アパートなどの上階と下階 |

お使いのとき



注意

- 使用中にケーブルを誤って外さないでください。ケーブルに足などを引っ掛けしないでください。
使用中にケーブルが抜けると、大切なデータを失うことがあります。
- 機器の電源の切り/入りは、5 秒間以上おいてから行ってください。
本商品が正常に動作しない場合があります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
こわれてけがの原因となることがあります。
- 本書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 無線 LAN カードの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。
本商品および無線 LAN カードが故障することがあります。
- IEEE802.11a モードは法律により屋外での使用は禁止されています。

その他



注意

- 長期間使用されないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いてください。
- お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いてください。

日頃のお手入れ



お願い

- 本商品をベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形、変色の原因となることがあります。

無線 LAN 使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN は LAN ケーブルの代わりに電波を利用して、パソコンと無線アクセスポイント間などで通信するため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できるという利点があります。

その反面、電波が届く範囲であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティ関係の設定を行わないと、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ユーザー名（ID）やパスワード
- クレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為を行う可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティ（防護策）が用意されています。無線 LAN 製品のセキュリティ設定を有効にし、製品を使用することで、これらの問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN セキュリティ

無線 LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティ設定が有効に設定されていない場合があります。

問題発生の可能性を少なくするために、無線 LAN 製品をご使用になる前に必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関するすべての設定を取扱説明書にしたがい設定してください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティが破られることもあり得ますので、ご理解のうえご使用ください。

セキュリティ設定についてお客様で対処できない場合は、「本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ」 ( p. 232) までお問い合わせください。

お客様がセキュリティ設定を有効にしないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティ設定を有効にしてご使用ください。

目 次

ご使用にあたってのお願い	1
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
無線 LAN 使用時におけるセキュリティに関するご注意	11
目 次	13
1 お使いになる前に	17
1-1 機 能	17
1-2 操作の流れ	20
1-3 付属品の確認	21
1-4 各部の名称と機能	22
1-4-1 前 面	22
1-4-2 背 面	24
1-4-3 上 面	25
1-5 本商品の設置	26
1-6 本商品の接続	27
1-6-1 周辺機器との接続	27
1-6-2 無線 LAN カードの接続	29
2 ひかり電話設定情報の取得	31
2-1 ひかり電話設定情報取得の流れ	31
2-2 ひかり電話設定情報の取得方法	32
3 電話機のご使用	35
3-1 ひかり電話ご利用に関するご注意	35
3-2 発信（電話をかける）	37
3-3 着信（電話をうける）	38
3-4 保留	39
3-5 内線	40
3-6 内線転送	42
3-7 キャッチホン	43
3-8 発信者番号通知/非通知	45

4 電話機からの設定	46
4-1 電話機から設定	46
4-2 操作方法	47
4-2-1 音声優先モード	49
4-2-2 優先着信ポート	50
4-2-3 ナンバー・ディスプレイ	51
4-2-4 割込音通知	52
4-2-5 モデムダイヤルイン	53
4-2-6 着信番号設定	54
4-2-7 指定着信機能	55
4-2-8 キャッチホン・ディスプレイ	56
4-2-9 ダイヤル桁間タイマ	57
4-2-10 エコー・キャンセラ	58
4-2-11 発信番号設定	59
4-2-12 内線番号設定	60
4-2-13 着信音選択	61
4-2-14 ファームウェア更新方法	62
5 Web 設定	67
5-1 パソコンとの接続	67
5-2 設定 Web 画面の表示	68
5-3 メニュー一覧	73
5-4 電話設定	75
5-4-1 ひかり電話共通設定	75
5-4-2 内線設定	77
5-4-3 設定例一覧	85
5-4-4 着信音選択	86
5-4-5 一斉着信/着信番号選択	88
5-4-6 割込音通知	92
5-4-7 テレビ電話	95
5-4-8 モデムダイヤルイン	97
5-4-9 ナンバー・ディスプレイ	99
5-4-10 キャッチホン・ディスプレイ	102
5-4-11 エコー・キャンセラ	105
5-4-12 優先着信ポート	107
5-4-13 指定着信機能	113

5-5	無線 LAN 設定	117
5-5-1	接続の確認	118
5-5-2	SSID の公開	120
5-5-3	SSID の隠蔽	129
5-6	MAC アドレスフィルタリング	130
5-7	無線 LAN 端末設定	134
5-8	DHCP サーバ設定	136
5-8-1	DHCP 固定 IP アドレス設定	138
5-9	静的 NAT 設定	140
5-10	静的 IP マスカレード設定	144
5-11	その他の設定	147
5-12	機器設定用パスワードの変更	148
5-13	設定値の保存&復元	150
5-13-1	設定値の保存	150
5-13-2	設定値の復元	152
5-14	設定値の初期化	155
5-15	ファームウェア更新	156
5-15-1	アップデート設定	157
5-15-2	設定 Web 画面から手動更新	159
5-15-3	ファイルを指定して手動更新	161
5-16	機器再起動	164
5-17	NAT テーブル消去	165
5-18	UPnP NAT 情報消去	166
5-19	現在の状態	167
5-20	イベントログ	169
5-21	発信履歴	170
5-22	着信履歴	171
5-23	内線履歴	172
5-24	DHCP サーバ払い出し状況	173
5-25	更新ログ	175
5-26	通信ログ	176
5-27	セキュリティログ	177
5-28	UPnP ログ	178
5-29	UPnP コントロールポイントテーブル	180
5-30	UPnP NAT 設定情報	181
5-31	無線 LAN 情報	183

6 保守機能	184
6-1 本商品の初期化	184
6-2 本商品の再起動	185
6-3 ファームウェアの更新	186
6-3-1 ファームウェアの確認	189
6-3-2 ファームウェアの更新	190
7 付 録	193
7-1 パソコンのネットワーク設定	193
7-1-1 TCP/IP の設定	193
7-1-2 IP 設定の確認	202
7-2 ひかり電話で発着信できるサービス	206
7-3 ひかり電話で接続できる番号	207
7-4 無線 LAN の暗号化モードと暗号化方式	209
7-5 故障かなと思ったら	210
7-6 設定記入シート	215
7-7 仕様一覧	230
7-8 お問い合わせ窓口	232

1 お使いになる前に

本商品をご使用していただく前に知っておいていただきたいことを説明しています。
ご使用前にぜひ目をお通しください。

1-1 機能

本商品を使ってできることを簡単に説明します。



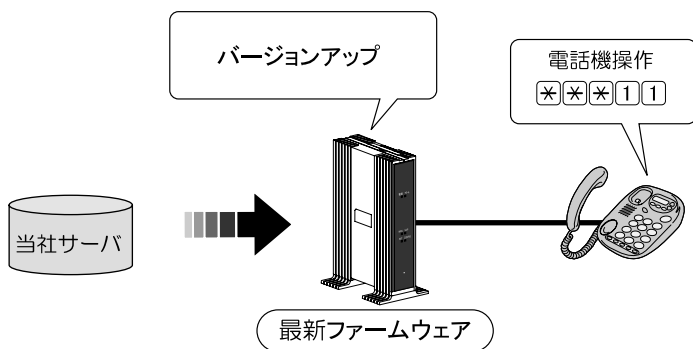
お知らせ

記載されているサービス名称については、変更になる場合があります。

● ひかり電話設定情報の自動取得

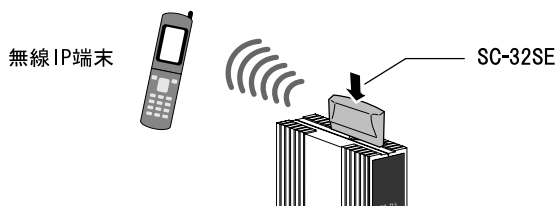
本商品と、各周辺機器を接続して電源を入れるだけで自動的にひかり電話に必要な設定をサーバから取得します。(☞ p. 31)

また、最新のファームウェアが公開された場合、簡単な操作で本商品のバージョンアップができます。(☞ p. 62、186)



● 無線 LAN 通信対応

本商品にオプション品の無線 LAN カード「SC-32SE」を装着することで、無線 IP 端末が利用できます。(👉 p. 29)



● アナログ電話機が 2 台接続可能

アナログ電話機を 2 台まで同時に接続できます。(👉 p. 27)

● 内線機能

アナログ電話機、ひかり電話に対応した IP 端末間での内線通話ができます。(👉 p. 40、42)

● テレビ電話対応

ひかり電話を利用してテレビ電話（映像、音声）が利用できます。本機能を使用するにはテレビ電話の契約が必要です。(👉 p. 95)

● 同時通話

ひかり電話で同時に 2 端末で通話ができます。
ただしテレビ電話を使用しているときには 1 通話しかできません。
本機能を使用するには複数チャネルの契約が必要です。

● 最大 5 つの電話番号契約

ひかり電話で最大 5 つの電話番号を契約できます。
本機能を使用するには追加番号の契約が必要です。

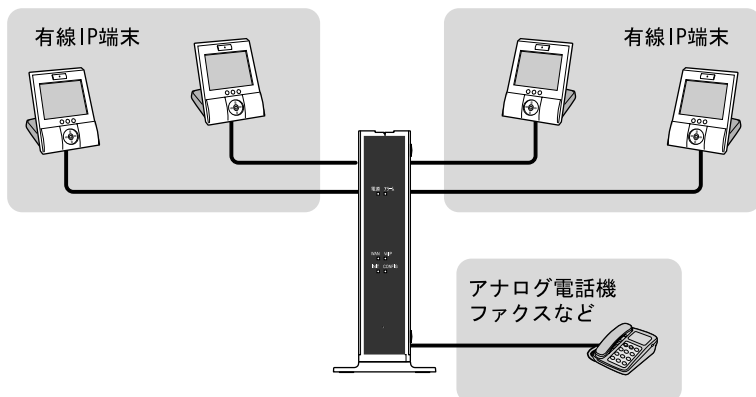
● 内線簡易設定

ひかり電話に対応した IP 端末が内線簡易設定機能に対応している場合、IP 端末の設定ボタンを操作するだけで、内線番号・端末属性などの電話設定を自動的に設定できます。
IP 端末の操作方法については IP 端末の取扱説明書をご確認ください。

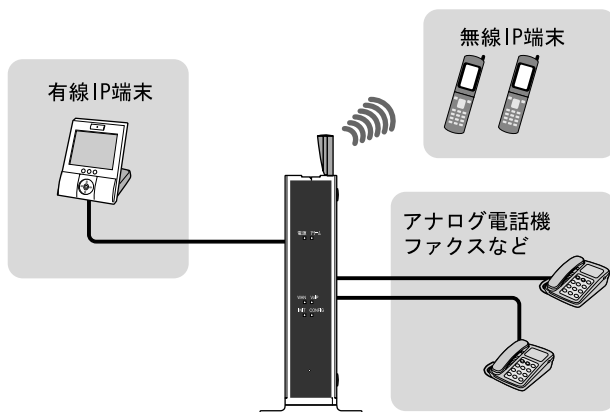
● 最大 7 台の端末を接続

本商品にアナログ電話機、有線 IP 端末、無線 IP 端末を最大 7 台まで同時に接続できます。

接続例 1



接続例 2



お知らせ
無線 IP 端末を利用するには、オプション品の無線 LAN カード「SC-32SE」が必要です。

1-2 操作の流れ

本商品をご使用していただくには、次のような手順で設定します。

付属品を確認する

「1-3 付属品の確認」 (👉 p. 21)



本商品と各機器を接続する

「1-5 本商品の設置」 (👉 p. 26)

「1-6 本商品の接続」 (👉 p. 27)



ひかり電話設定情報を取得する

「2-2 ひかり電話設定情報の取得方法」 (👉 p. 32)



電話の使用方法を確認する

「3 電話機のご使用」 (👉 p. 35)



具体的な操作方法を確認する

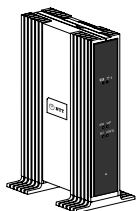
「4-2 操作方法」 (👉 p. 47)

「5-4-3 設定例一覧」 (👉 p. 85)

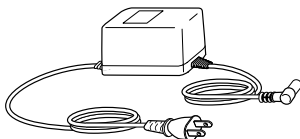
1-3 付属品の確認

本商品には、本体および付属品が同梱されています。ご使用前に不足品がないかご確認ください。

万一、不足品がありましたら、お問い合わせ窓口（ p. 232）までご連絡ください。



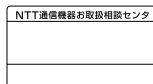
☐ AD-200SE
本体 1台



☐ 電源アダプタ
1個



☐ LANケーブル 1本
(ストレート カテゴリ5
白色 長さ: 約1m)



☐ NTT通信機器お取扱
相談センタシール 1枚



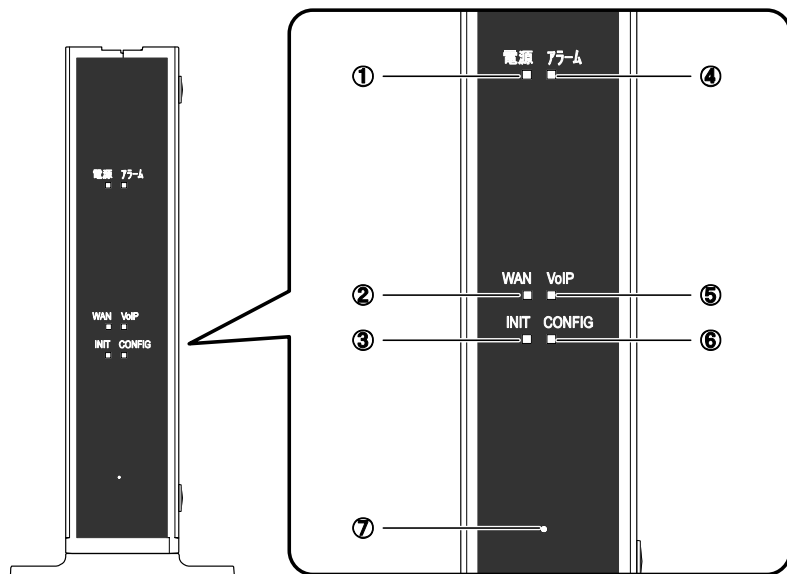
☐ 取扱説明書（本書）
1冊



☐ かんたんガイド
1枚

1-4 各部の名称と機能

1-4-1 前 面



名 称	表示（色）		機能説明
① 電源ランプ	緑	点灯	本商品の電源が入っている。
	—	消灯	本商品の電源が切れている。
② WANランプ	緑	点灯	接続中。
		点滅	データ通信中。
	—	消灯	未接続。
③ INITランプ	橙	点滅	最新ファームウェアのダウンロード中。
	赤	点灯	初期設定で動作中。
	—	消灯	通常運用中。

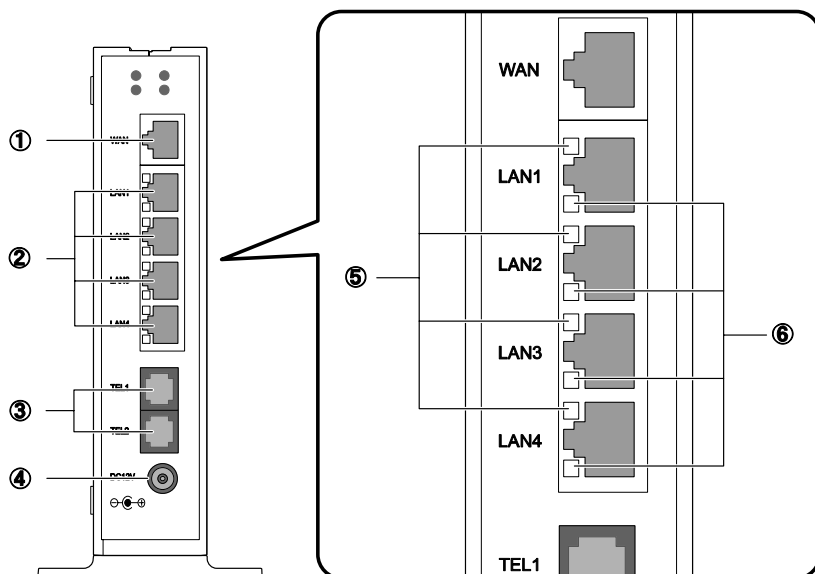
名 称	表示（色）	機能説明
④ アラームランプ	赤	点灯 機器故障が発生している。
		点滅 機器故障が発生している、または最新のファームウェアのダウンロード中。
	—	消灯 正常時。
⑤ VoIPランプ	緑	点灯 ひかり電話利用可能。
		点滅 ひかり電話利用中。 （発信中/着信中/通話中）
	—	消灯 ひかり電話利用不可。
⑥ CONFIGランプ	緑	点灯 ひかり電話設定情報の取得成功。
		点滅 ひかり電話設定情報の取得中。
	橙	点灯 ひかり電話設定情報の取得失敗。 （認証エラー）
		点滅 ひかり電話設定情報の取得失敗 （その他エラー）、または最新のファームウェアのダウンロード中。
	—	消灯 ひかり電話設定情報未設定。
⑦ INITボタン	—	設定を初期化するためのスイッチ。



お知らせ

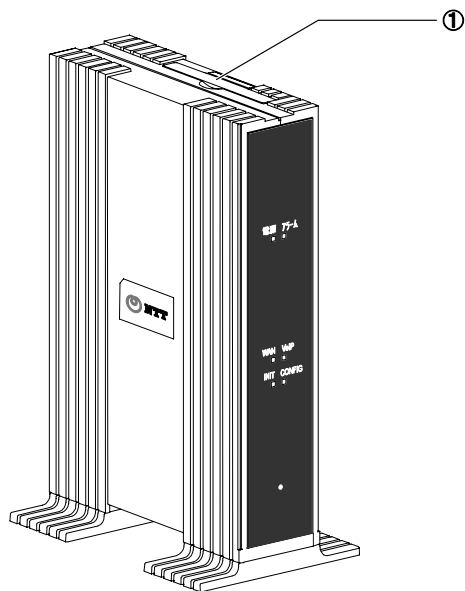
- ・各ランプの状態は、本商品前面からご確認ください。
- ・ファームウェア更新中は、INITランプ（橙色）、アラームランプ（赤色）、CONFIGランプ（橙色）が同時に点滅します。
このとき本商品の電源は切らないでください。更新中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。
- ・INITボタンの使用方法については、「6-1 本商品の初期化」（ p.184）をご参照ください。

1-4-2 背面



名 称	表示(色)		機能説明
① WANポート	WAN		加入者網終端装置 (CTU) を接続します。
② LAN1～4 ポート	LAN1～4		有線IP端末を接続します。 最大4台までの接続が可能です。
③ TEL1、2 ポート	TEL1、2		アナログ通信機器（電話機、ファクス など）を接続します。 最大2台までの接続が可能です。
④ 電源入力端子	DC12V		専用の電源アダプタ (12V) を接続します。
⑤ 10/100BASE-TX ランプ	橙	点灯	100Mbpsでリンク確立中。
	—	消灯	10Mbpsでリンク確立中。
⑥ LANランプ	緑	点灯	LANリンクアップ時。
		点滅	データ通信中。
	—	消灯	LANリンクダウン時。

1-4-3 上 面

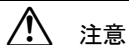


名 称	機能説明
①無線LANカードスロット	無線LAN機能をご使用の場合は、オプション品の無線LANカード「SC-32SE」を装着します。(☞ p. 29)

1-5 本商品の設置

本商品は縦置き専用です。

床面や卓上に、縦置きで設置する方法を説明します。



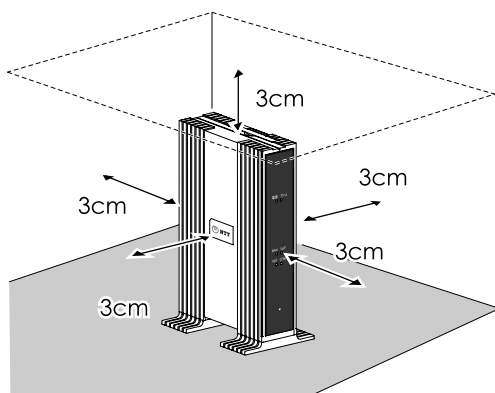
注意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因となります。

「お使いになる前に（設置環境）」（ p. 3）と合わせてお読みください。

1 安定した水平な場所に縦置きで設置します。

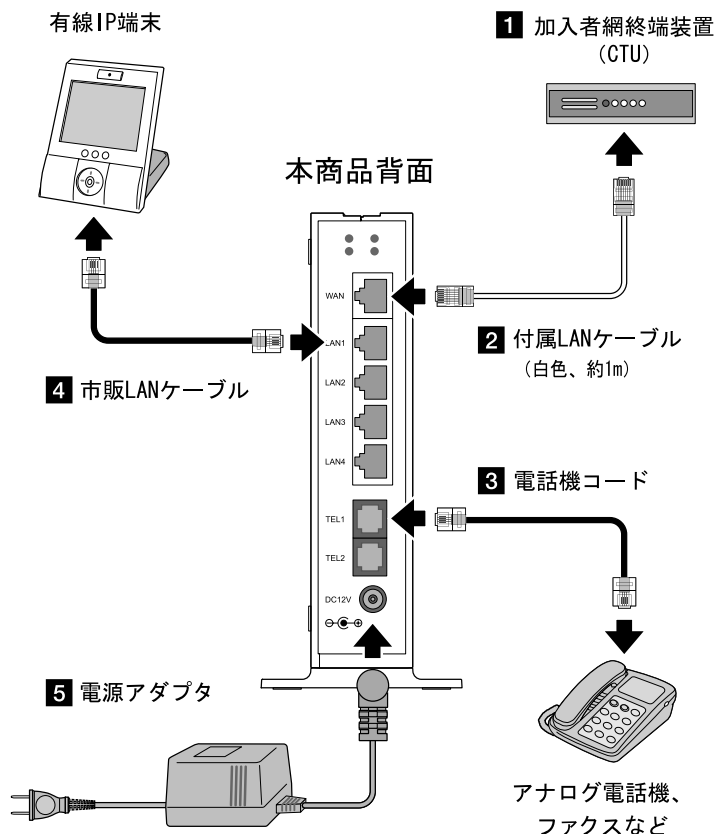
本商品の設置面以外は 3cm 以上の空間を作るようにしてください。



1-6 本商品の接続

本商品と各周辺機器を接続します。

1-6-1 周辺機器との接続



STOP

お願い

- ・インターネットへの接続や、NTT西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、CTUにパソコンを接続します。
詳しくは最新の『加入者網終端装置 (CTU) ガイドブック』をご参照ください。
- ・設定Web画面から本商品の設定を変更するときに限り、本商品のLANポートにパソコンを接続します。(☞ p. 67)
- ・ひかり電話に対応していないIP端末を接続した場合、正常に動作しない場合があります。

1 加入者網終端装置（以下、CTU）の再起動の必要がないことを確認します。

確認方法は、最新の『加入者網終端装置（CTU）ガイドブック』をご参照ください。

2 本商品の WAN ポートと CTU の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

付属 LAN ケーブル（白色、約 1m）を使用します。

LAN ケーブルは CTU のいずれの LAN ポートに接続しても構いません。正しく接続された場合、CTU の LAN ランプが点灯します。



お願い

本商品とCTUの間にHUBなどを接続しないでください。

3 本商品の TEL1、2 ポートと電話機を電話機コードで接続します。

4 本商品の LAN1～4 ポートと有線 IP 端末を LAN コードで接続します。

市販 LAN ケーブルを使用します。

有線 IP 端末は最大 4 台まで接続できます。

5 電源アダプタを本商品の電源入力端子に接続します。

接続できる電話機について

本商品と接続できる電話機には以下のような制限があります。

本商品に接続する前に、ご使用の電話機の取扱説明書をご参照ください。

- ・ 本商品の TEL ポートは擬似的にアナログ電話回線と同様の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので、通信機器によってはひかり電話をご利用できない場合があります。
- ・ ホームテレホンの内線電話機やデジタル電話機、G4 FAX などは接続できません。
- ・ ファクスやアナログモデム通信の送受信は、回線の状況によりご利用できない場合があります。
- ・ 1 つの TEL ポートに接続できる電話機は 1 台のみです。

1-6-2 無線 LAN カードの接続

オプション品の無線 LAN カード「SC-32SE」を装着することで、無線 LAN 通信ができます。



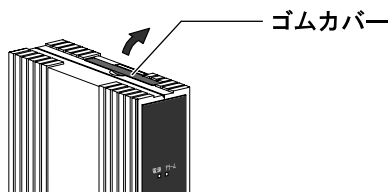
お願い

- ・ SC-32SE以外の無線LANカードは装着しないでください。
- ・ 無線LANカードは、必ず本商品の電源を切った状態で抜き差ししてください。
- ・ 無線LANカードには装着方向があります。
無理に装着しようとすると破損します。

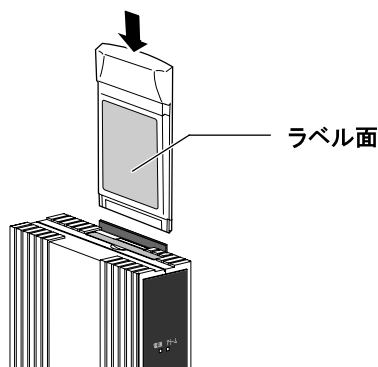
1 電源アダプタを電源コンセントから抜きます。

本商品の電源が切れます。

2 本商品の上面にあるゴムカバーを開きます。



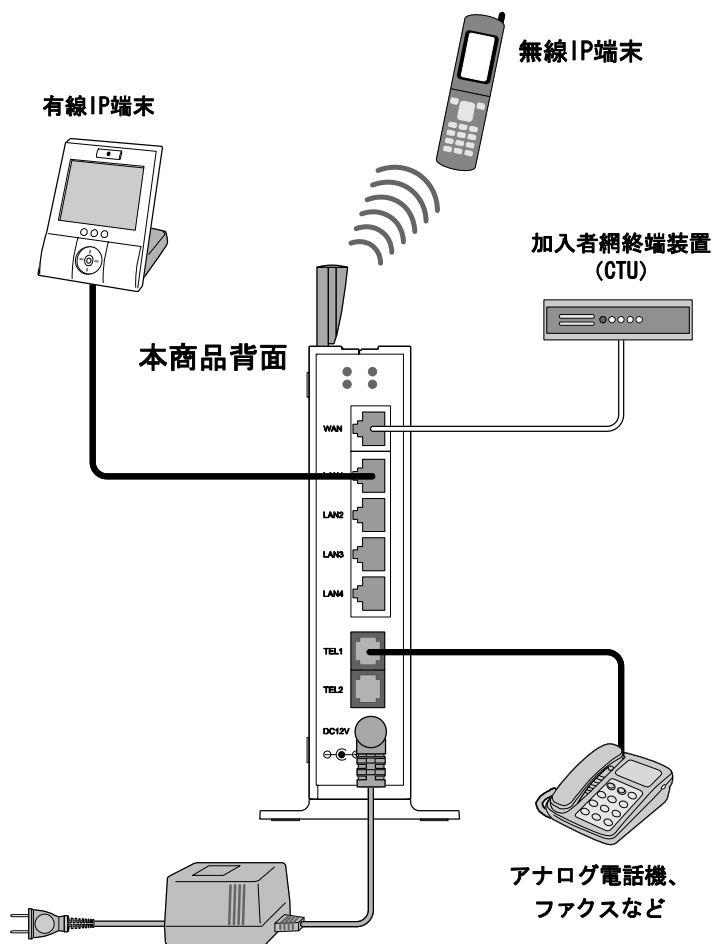
3 無線 LAN カードスロットに、無線 LAN カード(SC-32SE)を装着します。





お知らせ

無線LAN関係の設定については「5-5 無線LAN設定」(p.117)をご参照ください。



2 ひかり電話設定情報の取得

本商品にひかり電話設定情報を取得し、ひかり電話を利用できるようにします。
ただし、ひかり電話設定情報を正しく取得するには、ひかり電話の工事が完了している必要があります。

2-1 ひかり電話設定情報取得の流れ

本商品に電源を入れるだけで、自動的にひかり電話設定情報が設定されます。

電源を入れる

自動的に設定が始まります。

自動的にひかり電話設定情報を取得

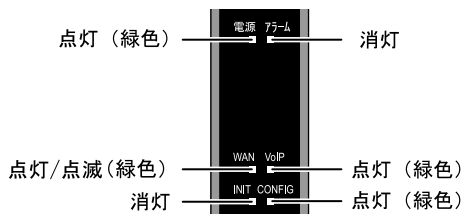
CONFIGランプが点灯/点滅（緑色）します。

※ このとき、本商品の電源は切らないでください。
故障の原因となります。

取得が終わると自動的に再起動します。

ひかり電話設定情報の設定完了

電源ランプが点灯し、INITランプとアラームランプが消灯します。
VoIPランプとCONFIGランプが点灯し、ひかり電話がご利用できます。



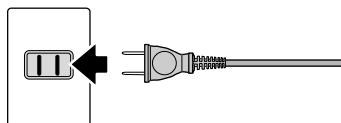
お知らせ

実際の操作方法は次ページ以降をご参照ください。

2-2 ひかり電話設定情報の取得方法

本商品が正しく接続されているか確認した後、本商品の電源を入れます。

1 電源アダプタをコンセントに差し込みます。



本商品に電源が入り、自動的に設定が始まります。

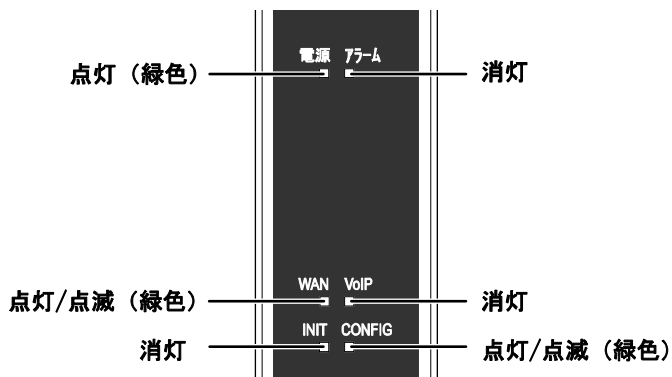


お知らせ

異常が発見されるとアラームランプが点滅します。再度、接続が正しいか見直し、電源を入れなおしてください。

状況が改善されない場合は、故障の可能性があります。お問い合わせ窓口 (☎ p. 232) へご連絡ください。

2 ひかり電話設定情報の取得が始まります。



ひかり電話設定情報の取得中は CONFIG ランプ(緑色)が点灯/点滅します。



お願い

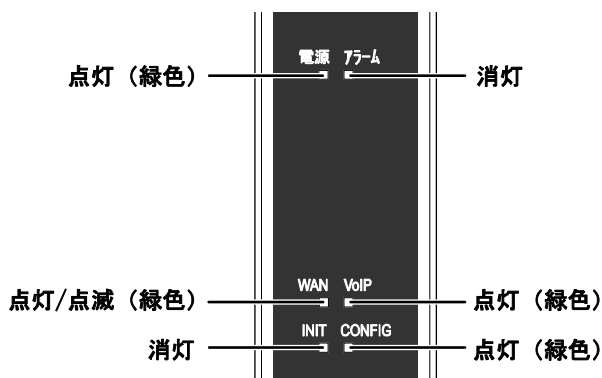
このとき、本商品の電源は切らないでください。
故障の原因となります。



お知らせ

本商品を起動したときは、必ずひかり電話設定情報の取得を始めます。

ひかり電話設定情報取得完了例



電源ランプが点灯し、INIT ランプとアラームランプが消灯していれば、本商品は正常に動作しています。

VoIP ランプと CONFIG ランプが点灯していれば、ひかり電話をご利用できます。



お知らせ

CONFIGランプが橙色に点灯/点滅しているときは、ひかり電話設定情報の取得に失敗しています。

以下の点を確認して、本商品を再起動してください。 (☞ p.185)

- CTUの電源は入っていますか？
- 本商品と各周辺機器の接続は正しいですか？ (☞ p.27)

3 電話機のご使用

ひかり電話を利用した基本的な電話機の使用方を説明します。

3-1 ひかり電話ご利用に関するご注意

ここではひかり電話をご利用する際に知っておいていただきたいこと、注意していただきたいことを説明しています。

ひかり電話をご利用する前にご確認ください。

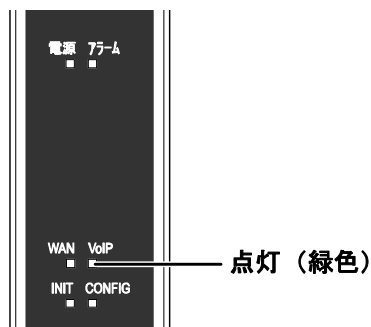


お知らせ

- ・ ひかり電話のいろいろなサービスを利用するための設定方法については、「4-2 操作方法」(📖 p. 47) および、「5-4-3 設定例一覧」(📖 p. 85) で説明しています。合わせてご参照ください。
(説明例：着信音選択、一斉着信、テレビ電話など)
- ・ 本商品に接続したアナログ電話機のダイヤル操作で、本商品の設定を変更/設定することができます。操作方法については、「4 電話機からの設定」(📖 p. 46) をご参照ください。

ご利用の前に

- ・ ひかり電話をご利用する前には、必ず前面の VoIP ランプが緑色に点灯していることをご確認ください。



- ・ 次の場合、ひかり電話はご利用できません。
 - － 停電時
 - － 本商品の電源が切れている
 - － 本商品のひかり電話設定情報の取得に失敗している
 - － 本商品が再起動中
- ・ ひかり電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動中、システム更新中は、通信が切断されます。
- ・ お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ・ ひかり電話でファクスやアナログモデム通信した場合、または音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。
通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ・ 接続する電話機の ACR などの機能が動作している場合、ひかり電話が利用できないことがあります。必ず ACR などの機能は停止させてください。

緊急通報について

本商品は緊急通報（警察、海上保安、消防）にも対応しています。
一般の電話と同じように、ダイヤルしてください。

3-2 発信(電話をかける)

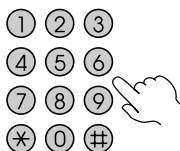
本商品の TEL ポートに接続した電話機、または有線/無線 IP 端末から発信します。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 相手の電話番号をダイヤルします。



呼出音が聞こえます。

相手先が通話中だった場合は、「ツーツーツー」という音が聞こえます。

3 相手の方が出たら、会話します。

4 会話が終われば、ハンドセット(受話器)を置きます。



お願い

お使いの電話機のACR機能、LCR機能はオフにしてください。



お知らせ

続けてひかり電話をご利用する場合は、ハンドセット(受話器)を3秒以上置いた後にダイヤルしてください。

3-3 着信(電話をうける)

着信があると、TEL ポートに接続した電話機、または有線/無線 IP 端末に着信します。

そのとき各ポートに接続された機器から着信音が鳴ります。

1 電話機の着信音が鳴ります。



お知らせ

前面のVoIPランプが緑色に点滅することで、着信がわかります。

2 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げて、相手と会話します。

3 会話が終われば、ハンドセット(受話器)を置きます。



3-4 保留

本商品の TEL ポートに接続した電話機、または有線/無線 IP 端末で着信した電話を保留します。



お知らせ

- ・本商品のTELポートに接続されている電話機は、電話機で用意されている保留機能のほかにフッキングによる保留も可能です。
- ・本商品に接続されているIP端末は、IP端末に保留機能が用意されている場合に有効です。
- ・内線通話時には保留機能は動作しません。

1 通話中、電話機の保留機能を有効にします。

保留中は相手先には保留音が流れます。



お知らせ

- ・保留の操作はご使用の電話機、IP端末の取扱説明書をご参照ください。
- ・TELポートに接続されている電話機のフッキングにより保留することも可能です。



2 保留を解除します。

通話をお続けください。



お知らせ

TELポートに接続されている電話機のフッキングにより保留された場合、再度フッキングすることで保留が解除されます。

3-5 内線

本商品の TEL ポートに接続した電話機、または有線/無線 IP 端末から内線を発信します。



お知らせ
ひかり電話が使用できない場合は、内線をご利用できません。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

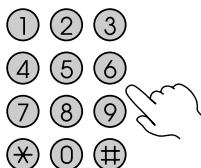


2 相手の内線番号をダイヤルします。

内線番号は内線設定画面を参考にしてください。（ p. 77）



お知らせ
内線番号のダイヤル方法についてはIP端末、アナログ電話機の取扱説明書をご参照ください。



呼出音が聞こえます。

相手先が通話中だった場合は、「ツーツーツー」という音が聞こえます。

3 相手の方が出たら、会話します。

4 会話が終われば、ハンドセット(受話器)を置きます。



お知らせ

続けてひかり電話や内線をご利用する場合は、ハンドセット（受話器）を3秒以上置いた後にダイヤルしてください。

3-6 内線転送

ひかり電話に対応した IP 端末、アナログ電話機で通話中に通話を保留して、他内線番号をダイヤルすることで通話を転送することができます。

1 通話中、フッキングします。

相手先には保留音が流れます。



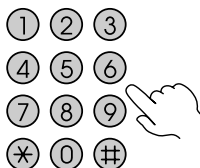
お知らせ

IP端末による内線転送の操作方法是、ご利用のIP端末の取扱説明書をご参照ください。



2 相手の内線番号をダイヤルします。

内線番号は内線設定画面を参考にしてください。 (👉 p. 77)



呼出音が聞こえます。

3 相手の方が出たら、ハンドセット(受話器)を置きます。

3-7 キャッチホン

キャッチホン契約をされている場合は、通話中に他の電話から着信があったときに割込音でお知らせします。



お知らせ

複数チャネルをご契約の場合の割込音通知設定については、「5-4-6 割込音通知」(👉 p. 92) をご参照ください。

- 1 通話中に他の電話から着信があった場合は、ハンドセット(受話器)から「プップッ…」と割込音が聞こえます。



2 相手方にキャッチホンが入ったことを伝え、フッキングします。

通話中だった相手は保留状態になります。



お知らせ

フッキングの操作方法是ご使用の電話機によって異なります。
詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。

3 会話が終われば、再度フッキングします。

保留中だった相手と通話できます。



3-8 発信者番号通知/非通知

相手先にこちらの電話番号を通知できます。

●発信時のダイヤル操作

ひかり電話のご契約内容により、ダイヤル操作が異なります。

契 約	ダイヤル操作		
	相手番号	184+相手番号	186+相手番号
通常通知 (通話ごと非通知)	○	×	○
通常非通知 (回線ごと非通知)	×	×	○

○：通知する ×：通知しない

4 電話機からの設定

本商品に接続されたアナログ電話機のダイヤル操作で、本商品を設定/操作できます。

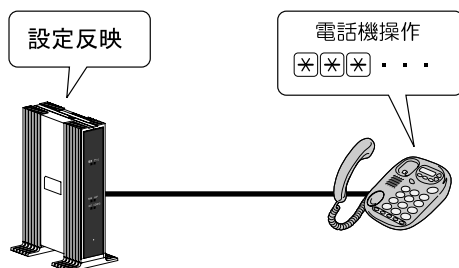


お知らせ

ひかり電話が使用できない場合は、電話機から本商品を設定できません。
その場合は、パソコンから本商品を設定してください。 (👉 p. 67)

4-1 電話機から設定

アナログ電話機の簡単なダイヤル操作で、本商品を設定/操作できます。



操作時の注意

- ・ PB（押しボタン）対応の電話機のみ対応です。
DP（ダイヤルパルス）電話機では操作できません。
- ・ ダイヤル操作中（音声ガイダンスが流れる前）に、ハンドセット（受話器）を置くと、設定/操作は無効となります。
- ・ ダイヤル操作時間は 30 秒です。30 秒を越えると受話器から通知音「ツーツー」が鳴り、すべての操作が無効になります。
- ・ ダイヤルの押し操作間が 4 秒以上経過すると、受話器から通知音「ツーツー」が鳴り、すべての操作が無効になります。
- ・ 操作間の時間は変更できます。 (👉 p. 57、77)

4-2 操作方法

ここでは、本商品の機能を利用するためのダイヤル操作を紹介します。



お知らせ

記載されているサービス名称については、変更になる場合があります。

電話設定

機 能	概 要	参照
音声優先モード	音声パケットを優先的に送出する設定をすることで、音声品質を改善します。	p. 49
優先着信ポート	本商品の2つのTELポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着信するTELポートを設定します。	p. 50

アナログ・ポート設定

機 能	概 要	参 照
ナンバー・ディスプレイ	電話機に発信者の電話番号が表示されます。 ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。	p. 51
割込音通知	複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知します。	p. 52
モデム ダイヤルイン	着信したアナログ電話番号を、モデム信号としてアナログ電話機に送信します。	p. 53
着信番号設定	選択した電話機、IP端末に対して、呼び出す着信番号を選択します。	p. 54
指定着信機能	電話番号に指定着信番号を付加してダイヤルすることで、特定の電話機を直接呼び出せます。	p. 55
キャッチホン・ディスプレイ	通話中に着信があった場合、電話機に発信者の電話番号を表示します。	p. 56
ダイヤル桁間タイマ	ダイヤルを入力してから、次のダイヤルの入力待ち状態を満了するまでの時間を選択します。	p. 57
エコー・キャンセラ	エコーやハウリングを防止します。	p. 58
発信番号設定	発信する際に接続先に通知する電話番号を選択します。	p. 59
内線番号設定	内線番号として使用する電話番号を設定します。	p. 60
着信音選択	ひかり電話の着信時の呼出音を選択します。	p. 61
ファームウェア 更新方法	本商品のファームウェアを更新する方法を設定します。	p. 62

4-2-1 音声優先モード

音声パケットを優先的に送出手設定をすることで、音声品質を改善します。

( p. 75)

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 9 0 0 0 # # をダイヤルします。

●：優先度を設定

1：なし（初期値）

2：優先

3：最優先

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4-2-2 優先着信ポート

本商品の2つのTELポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着信するTELポートを設定します。 (📞 p. 75)

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 9001##をダイヤルします。

●：優先度を設定

1：TEL1ポート

2：TEL2ポート

3：無効(初期値)

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。



お知らせ

・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。

TEL1、2ポート：「内線番号」が「有効」に設定

「割込音通知」は「使用しない」に設定

すべてのIP端末：「内線番号」が「無効」に設定

・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。

－ TEL1、2ポートで同じ着信番号が設定されていない

－ TEL1、2ポートで同じ着信番号が1つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている

4-2-3 ナンバー・ディスプレイ

電話機に発信者の電話番号が表示されます。(👉 p. 99)



お知らせ

- ・ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
表示方法は電話機の取扱説明書をご参照ください。
- ・ナンバー・ディスプレイ機能をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- ・電話機によっては、発信者の電話番号などが正しく表示されないことがあります。
- ・発信者の電話番号が表示されない場合は、表示されない理由が電話機に表示されます。
表示内容を確認して電話に出ることができます。
- ・表示内容は、ご使用の電話機によって異なります。
詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 * * * 9 9 1 * 9 1 * 1 # # をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

* * * 9 9 2 * 9 1 * 1 # # をダイヤルします。

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4 設定を解除する場合は、手順2で次のダイヤルを操作してください。

TEL1 ポート：* * * 9 9 1 * 9 1 * 2 # #

TEL2 ポート：* * * 9 9 2 * 9 1 * 2 # #

4-2-4 割込音通知

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知します。(📞 p. 77)



お知らせ

- ・本機能は、アナログ電話機に対してのみ提供可能な機能です。
- ・優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 * * * 9 9 1 * 9 3 * 1 # # をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

* * * 9 9 2 * 9 3 * 1 # # をダイヤルします。

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4 設定を解除する場合は、手順2で次のダイヤルを操作してください。

TEL1 ポート： * * * 9 9 1 * 9 3 * 2 # #

TEL2 ポート： * * * 9 9 2 * 9 3 * 2 # #

4-2-5 モデムダイヤルイン

着信した電話番号をモデム信号としてアナログ電話機に送信します。

( p. 77)

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1 台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。



お知らせ

- ・モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。
操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書をご参照ください。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 991921##をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

992921##をダイヤルします。

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4 設定を解除する場合は、手順2で次のダイヤルを操作してください。

TEL1 ポート : 991922##

TEL2 ポート : 992922##

4-2-6 着信番号設定

選択したアナログ電話機、IP 端末に対して、呼び出す着信番号を選択します。

( p. 77)



お知らせ

- ・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号以外は、着信しない設定になります。
複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、手順 **2** でダイヤル操作を繰り返して設定してください。

例) * * * 9 9 1 * 9 4 * [着信番号1] * [着信番号2] # #

- ・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。
 - 契約している着信番号を設定していない
 - 着信番号を設定するTELポートに指定着信番号が設定されている

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 * * * 9 9 1 * 9 4 * ● # # をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

* * * 9 9 2 * 9 4 * ● # # をダイヤルします。

● : 着信番号を入力

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4-2-7 指定着信機能

電話番号に指定着信番号を付加してダイヤルすることで、特定の電話機を直接呼び出せます。 (📞 p.113)

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 9 9 1 9 5 ● ◆ # # をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

   9 9 2  9 5  ●  ◆  #  # をダイヤルします。

●：着信番号を入力

◆：指定着信番号を入力

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。



お知らせ

- ・指定着信番号に使える数字は0～9（最大19桁）です。
- ・指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」（指定着信番号なしの着信は着信しない）に設定されます。
- ・指定着信番号は、TEL1、2ポートで1つの番号でのみ使用できます。
- ・指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。
- ・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、指定着信番号の設定ができません。
 - － TEL1、2ポートで同じ着信番号が1つであり、優先着信ポートが設定されている
 - － 指定着信の設定で指定着信番号を設定していない
 - － 契約している着信番号を設定していない
- ・指定着信番号で着信した場合、キャッチホンが利用できないことがあります。
- ・追加番号をご利用の場合、指定着信機能を利用できる番号は1つだけです。
(📞 p.113)

4-2-8 キャッチホン・ディスプレイ

通話中に着信があった場合、電話機に発信者の電話番号を表示します。

( p. 102)



お知らせ

- ・キャッチホン・ディスプレイ機能を使用するには、ナンバー・ディスプレイ機能を「使用する」に設定する必要があります。( p. 51、99)
- ・キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
表示方法は電話機の取扱説明書をご参照ください。
- ・電話機によっては、発信者の電話番号などが正しく表示されないことがあります。
- ・発信者の電話番号が表示されない場合は、表示されない理由が電話機に表示されます。
表示内容を確認して電話に出ることができます。
- ・表示内容は、ご使用の電話機によって異なります。
詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 9 9 1 9 6 1 # # をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

   9 9 2  9 6  1 # # をダイヤルします。

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4 設定を解除する場合は、手順 **2** で次のダイヤルを操作してください。

TEL1 ポート :    9 9 1  9 6  2 # #

TEL2 ポート :    9 9 2  9 6  2 # #

4-2-9 ダイヤル桁間タイマ

ダイヤルを入力してから、次のダイヤルの入力待ち状態を満了するまでの時間を選択します。(👉 p. 77)

設定された秒数以内にダイヤル入力がない場合は、入力済みのダイヤル番号で発信します。



お知らせ

設定値：4～8秒（初期値4）

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

をダイヤルします。

●：ダイヤル桁間タイマを入力（4～8（初期値 4））

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4-2-10 エコー・キャンセラ

エコーやハウリングを防止します。

本商品に接続したファクスで通信に失敗する場合に設定してください。

( p. 105)

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 991981##をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

992981##をダイヤルします。

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4 設定を解除する場合は、手順2で次のダイヤルを操作してください。

TEL1 ポート : 991982##

TEL2 ポート : 992982##

4-2-11 発信番号設定

発信する際に接続先に通知する電話番号を選択します。

選択できる通知番号は1つです。 (👉 p. 77)



お知らせ

初期値として契約番号が選択されています。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 | | | | | | | | | | | |---|---|---|---|---|---|---|---|---|---| | * | * | * | 9 | 9 | 1 | * | 0 | 0 | * | |---|---|---|---|---|---|---|---|---|---| ●# #をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

*	*	*	9	9	2	*	0	0	*
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

●# #をダイヤルします。

● : 通知番号を入力

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4-2-12 内線番号設定

内線番号として使用する電話番号を 1～9、10～99 の範囲で設定します。

( p. 77)



お知らせ

- ・ 0もしくは00を設定することはできません。
- ・ 重複した内線番号は設定できません。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 99101##をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

99201##をダイヤルします。

●：内線番号を入力

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4-2-13 着信音選択

ひかり電話からの着信時の呼出音を選択します。(👉 p. 86)



お知らせ

- ・ ひかり電話の初期値はIR(リーンリーン)に、内線の初期値はSIR(リンリン)に設定されています。
- ・ 「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は「IR」に設定してください。
- ・ 実際の呼出音は使用される電話機によって異なります。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。

2 | | | | | | | | | | | | | | | | |---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---| | * | * | * | 9 | 9 | 1 | * | 0 | 2 | * | ● | * | ◆ | # | # | |---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---| をダイヤルします。

TEL2 ポートに接続した電話機に設定する場合は

*	*	*	9	9	2	*	0	2	*	●	*	◆	#	#
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

をダイヤルします。

● : 着信番号を入力

◆ : 呼出音 (1: IR、2: SIR) を入力

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

4-2-14 ファームウェア更新方法

本商品は電源投入時、および定期的（1日1回）に、当社のバージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認します。

ファームウェアの更新方法は、次の2つがあります。

方 法	概 要	参照
自動更新 (初期設定)	サーバに最新のファームウェアを確認した場合、指定された時間から1時間以内に自動更新します。	p. 63
手動更新	サーバに最新のファームウェアを確認した場合、手動操作により最新のファームウェアへ更新します。	p. 65

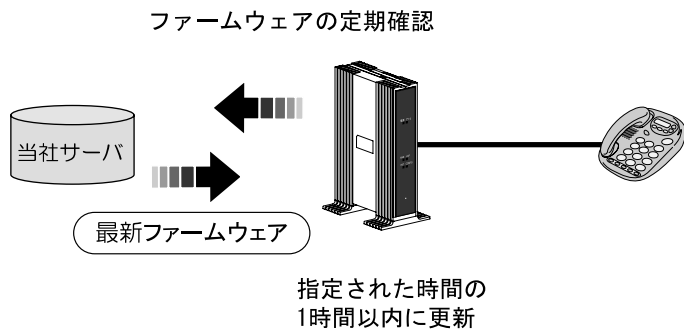


お知らせ

- ・設定Web画面からも設定できます。（ p. 157）
- ・ファームウェアの更新方法を手動更新に設定している場合、最新ファームウェアの有無の確認については「6-3 ファームウェアの更新」（ p. 186）をご参照ください。

自動更新

サーバに最新のファームウェアを確認した場合、指定された時間（0:00～23:00）から1時間以内に自動更新します。



お知らせ

ひかり電話使用中および、使用後の一定時間はファームウェアの更新は実行されません。

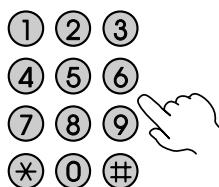
1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット（受話器）から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 * * * 8 8 2 ● ● # # をダイヤルします。

●●に自動更新の時間（00～23）を入力してください。



例 6:00 = 06
23:00 = 23

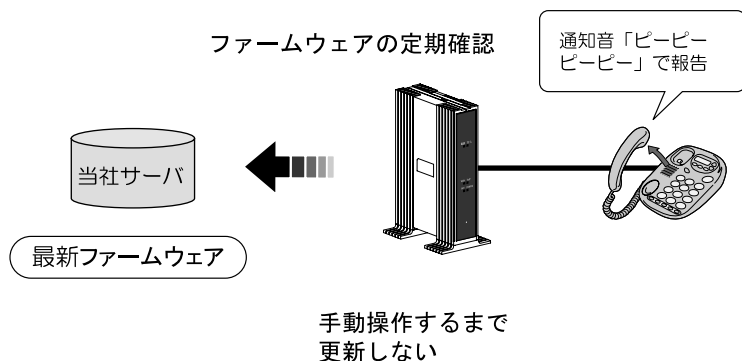
設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

手動更新

サーバに最新のファームウェアを確認した場合、手動操作により最新のファームウェアへ更新します。



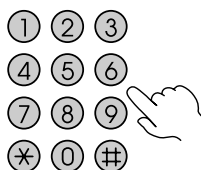
手動操作によるファームウェアの更新については「6-3 ファームウェアの更新」(👉 p. 186)をご参照ください。

1 電話機のハンドセット(受話器)を取り上げます。

ハンドセット(受話器)から「ツー」という発信音が聞こえます。



2 * * * 8 8 9 # # をダイヤルします。



設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセット(受話器)を置きます。

設定が反映されました。

5 Web設定

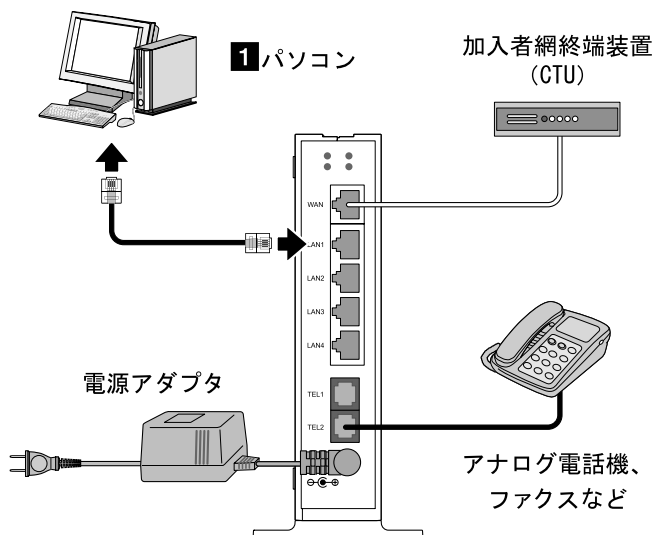
電話機からの設定方法のほかに、パソコンを接続し設定 Web 画面を呼び出してより細かな設定ができます。

5-1 パソコンとの接続

本商品にアクセスするには、パソコンを接続する必要があります。

- 1** 本商品の LAN ポートとパソコンの LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

LAN ポートに空きがない場合は、LAN ポートに接続している有線 IP 端末を外してください。



STOP

お願い

本章での説明は、AD-200SEを設定するためにパソコンを接続しています。インターネットへの接続や、NTT西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、CTUIにパソコンを接続します。詳しくは最新の『加入者網終端装置（CTU）ガイドブック』をご参照ください。

5-2 設定Web画面の表示

Web ブラウザで本商品にアクセスすることで、管理メニューが表示されます。
設定の変更や、ご使用中の機器状態の確認ができます。



お知らせ

- ・本商品へアクセスする場合は、パソコンの設定を行ったうえで、Webブラウザからアクセスしてください。「7-1 パソコンのネットワーク設定」(👉 p. 193)
- ・Webブラウザは下記のバージョンに対応しています。

OS	対応Webブラウザ
Windows Vista	Internet Explorer 7.0以上
Windows XP SP3/SP2	Internet Explorer 6.0 SP2以上
Windows XP/2000	Internet Explorer 6.0 SP1
Macintosh (Mac OS X以降)	Safari 3.0.4以上

1 Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザのアドレス欄に、下記のアドレスを入力し、Enter キーを押します。

<http://192.168.1.1/>



お知らせ

- ・本商品からDNSサーバアドレスが取得できていれば、<http://ntt.setup/>でもアクセスできます。
- ・DHCPサーバ設定 (👉 p. 136) で、LAN側IPアドレスを異なるアドレスに変更している場合は変更したアドレスでアクセスしてください。

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。



※ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって画面表示は異なりますが、入力が必要な項目は同じです。

- 3** 次のユーザー名およびパスワードを半角で入力し、**OK** をクリックします。

・ユーザー名 : admin

・パスワード : admin

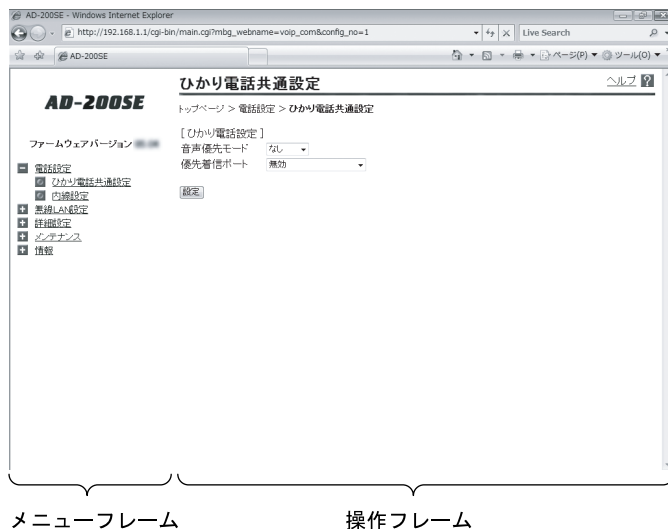


お願い

このユーザー名、パスワードは初期値です。運用開始時には、セキュリティの観点から、ユーザー名とパスワードを変更して使用されることをお勧めします。(👉 p. 148)

なお、本商品のLAN側IPアドレスやログインのパスワードを忘れた場合は、「6-1 本商品の初期化」(👉 p. 184)を参照し、初期設定に戻してご使用ください。

本商品の管理メニューが表示されます。



管理メニューは、メニューフレームと操作フレームに分かれています。



お知らせ

- 操作フレーム右上にある「」マークをクリックすると、各ページのヘルプが表示されます。
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやOSバージョンによって異なります。
- お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。この場合は、Webブラウザのインターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除してから、画面を更新してください。（詳しくは、各Webブラウザのヘルプをご参照ください。）
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- Webブラウザの「」（戻る）、（進む）や、（更新）のボタンを使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

小項目の表示

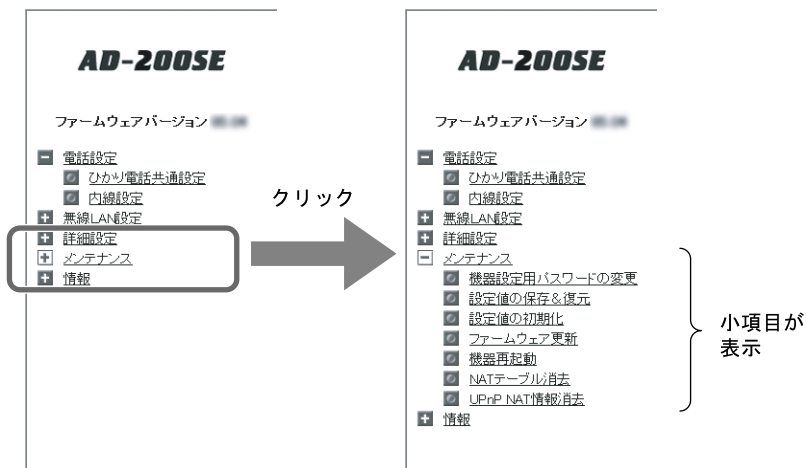
本商品のメニューは階層化されています。

左側に **+**（プラス）マークがあるメニューをクリックすると、メニューの小項目が表示されます。



お知らせ

このとき、**+**（プラス）マークは **-**（マイナス）マークに変わります。



お知らせ

- ・メニュー構成については「5-3 メニュー一覧」（ p. 73）をご参照ください。
- ・本書ではメニュー間の移動を矢印で表現しています。
例） メンテナンス → 機器再起動 をクリックします。

5-3 メニュー一覧

本商品では以下のメニューを用意しています。



お知らせ

ひかり電話のいろいろなサービスを利用するための設定方法については、「5-4-3 設定例一覧」(☞ p. 85)で説明しています。合わせてご参照ください。
(説明例：着信音選択、一斉着信、テレビ電話など)

メニュー		参 照
大項目	小項目	
電話設定	ひかり電話共通設定	p. 75
	内線設定	p. 77
無線 LAN 設定	無線 LAN 設定	p. 117
	MAC アドレスフィルタリング	p. 130
	無線 LAN 端末設定	p. 134
詳細設定	DHCP サーバ設定	p. 136
	静的 NAT 設定	p. 140
	静的 IP マスカレード設定	p. 144
	その他の設定	p. 147

メニュー		参 照	
大項目	小項目		
メンテナンス	機器設定用パスワードの変更	p. 148	
	設定値の保存＆復元	p. 150	
	設定値の初期化	p. 155	
	ファームウェア更新	p. 156	
	機器再起動	p. 164	
	NAT テーブル消去	p. 165	
	UPnP NAT 情報消去	p. 166	
情報	現在の状態		p. 167
	イベントログ		p. 169
	通話ログ	発信履歴	p. 170
		着信履歴	p. 171
		内線履歴	p. 172
	DHCP サーバ払い出し状況		p. 173
	更新ログ		p. 175
	通信ログ		p. 176
	セキュリティログ		p. 177
	UPnP ログ		p. 178
	UPnP CP テーブル		p. 180
	UPnP NAT 設定情報		p. 181
	無線 LAN 情報		p. 183

5-4 電話設定

本商品で使用する電話機に関する設定を行います。



お知らせ

設定した値を記録する場合は、設定記入シート（ p. 215）に記録してください。

5-4-1 ひかり電話共通設定

- 1 メニューフレームから、**電話設定** → **ひかり電話共通設定** をクリックします。

操作フレームにひかり電話共通設定画面が表示されます。

ひかり電話共通設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > ひかり電話共通設定

[ひかり電話設定]

音声優先モード なし

優先着信ポート 無効

設定

● [音声優先モード]

インターネットとひかり電話を同時に利用しているとき、インターネットで利用しているデータ量が増えると、ひかり電話の音声パケットが廃棄され音声品質が劣化することがあります。

このような場合は、音声パケットを優先的に送出する設定をすることで、音声品質を改善できます。

- ・なし : 音声優先モードを使用しない。(初期値)
- ・優先 : 音声パケットを優先処理します。
- ・最優先 : 音声パケットを最優先で処理します。



お知らせ

音声優先モードを使用すると、パケットの優先処理に伴いデータ通信の速度が低下する場合があります。

● [優先着信ポート]

本商品の 2 つの TEL ポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着信する TEL ポートを設定します。

- ・アナログ端末(電話機 1)
: TEL1 ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。
- ・アナログ端末(電話機 2)
: TEL2 ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。
- ・無効 : 優先着信を行いません。(初期値)



お知らせ

優先着信ポートを設定する場合は、割込音通知と IP 端末は使用できません。

( p. 92)

5-4-2 内線設定

内線設定画面では、本商品に接続する端末の設定を行います。

1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	二	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	二	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除

設定

- [利用有無]
内線端末として利用する端末を選択します。
最大7台まで同時に利用できます。
初期値として内線1～7にチェックが入っています。
- [内線番号]
端末に割り当てられた内線番号が表示されます。
内線番号をクリックすると、設定画面が表示されます。(👉 p. 79、82)
初期値として1～7が設定されています。
- [ニックネーム]
端末に割り当てられたニックネームが表示されます。
ニックネームをクリックすると、設定画面が表示されます。(👉 p. 79、82)

- [端末属性]
 接続されている内線端末の属性が表示されます。
 端末属性をクリックすると、設定画面が表示されます。(👉 p. 79、82)
 初期値としてアナログ端末（電話機 1）、（電話機 2）以外は「通常端末」が設定されています。
- [MAC アドレス]
 接続した IP 端末の MAC アドレスが表示されます。
- [優先着信]
 優先着信が設定されているか表示されます。(👉 p. 107)
 - ・ ー : 優先着信を設定していない状態
 - ・ 有効 : 優先着信を設定している状態
- [指定着信]
 指定着信番号が設定されているか表示されます。(👉 p. 113)
 - ・ ー : 指定着信番号を設定していない状態
 - ・ 有効 : 指定着信番号を設定している状態
- [登録状態]
 IP 端末の場合は、内線端末から本商品への内線登録状態が表示されます。
 - ・ ー : 現在利用できない状態（アナログ端末以外）
 - ・ 未登録 : 現在利用できない状態
 （内線端末に本商品と接続するための設定が未設定）
 - ・ 登録済み : 現在利用できる状態
- [編集]
 クリックすると設定画面が表示されます。(👉 p. 79、82)
- [設定の削除]
 削除 をクリックすることで、IP 端末の内線設定の登録情報を削除します。
 ただし、内線番号は削除されません。

2 設定する「内線番号」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。



お知らせ

- ・アナログ端末（電話機1）は本商品背面のTEL1ポートに接続された電話機、アナログ端末（電話機2）は本商品背面のTEL2ポートに接続された電話機に関する設定を行います。
- ・画面の電話番号設定に表示されている画面は、契約番号として0600001111、追加番号として0600002222、0600003333、0600004444、0600005555を契約しているときの例です。

アナログ端末設定画面

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	IR ▼
内線	-	-		-		IR ▼

- [内線番号]
内線番号として使用する電話番号を 1～9、10～99 の範囲で設定します。



お知らせ

- ・ 0もしくは00を設定することはできません。
- ・ 重複した内線番号は設定できません。

- [ニックネーム]
ニックネームを入力します。
任意のニックネームを半角英数字記号 64 文字以内で入力します。

内線番号	初期値
内線番号 1、2	TEL1、2

- [ナンバー・ディスプレイ]
ナンバー・ディスプレイ機能（発信者の電話番号が表示される機能）を使用する場合にチェックします。
（初期値：使用する）
サービス契約および、接続した端末がナンバー・ディスプレイに対応している必要があります。

- [キャッチホン・ディスプレイ]
キャッチホン・ディスプレイ機能（お話し中に着信があった場合、電話機に発信者の電話番号が表示される機能）を使用する場合にチェックします。
（初期値：使用しない）
接続した端末がキャッチホン・ディスプレイに対応している必要があります。

- [モデムダイヤルイン]
電話の着信時にモデムダイヤルイン（着信番号情報をモデム信号として通知する機能）を使用する場合にチェックします。
（初期値：使用しない）
接続した端末がモデムダイヤルインに対応している必要があります。

- [割込音通知]
複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知する場合にチェックします。
（初期値：使用する）



お知らせ

複数チャネルをご契約の場合の割込音通知設定については、「割込音通知」
 p. 92）をご参照ください。

- [ダイヤル桁間タイマ(秒)]
ダイヤルを入力してから、次のダイヤルの入力待ち状態を満了するまでの時間を選択します。
設定された秒数以内にダイヤル入力がない場合は、入力済みのダイヤル番号で発信します。

・4～8（初期値 4）

- [エコー・キャンセラ]
エコー・キャンセラ機能（エコーやハウリングを防止する機能）を使用する場合にチェックします。
ファクス通信が正常にできない場合は「使用しない」に設定してお試しください。
（初期値：使用する）

- [通知番号]
この端末から発信する際に、接続先に通知する電話番号を選択します。
選択できる通知番号は1つです。
初期値として契約番号が選択されています。

- [着信番号]
契約している電話番号のうち、この端末への着信番号として使用する番号を選択します。
複数の着信番号を選択できます。
初期値として電話番号設定に表示されているすべての番号が選択されています。



お知らせ

他の端末設定画面で、同じ電話番号を選択することができます。
その場合、複数の電話機（IP端末）から同時に着信音が鳴ります。

- [指定着信機能 使用する]
指定着信機能を使用する電話番号を選択します。



お知らせ

指定着信機能はTEL1、2ポートに接続された電話機のどちらか1つに設定できます。

- [指定着信機能 指定着信番号]
使用する指定着信番号を入力します。（0～9の半角数字で最大19桁）
- [指定着信機能 指定なし着信]
指定着信番号あり/なし両方の着信を受ける場合、選択します。

- [着信音選択]
ひかり電話もしくは内線からの着信時の呼出音を選択します。

- ・IR : リーンリーン（ひかり電話の初期値）
- ・SIR : リンリン（内線の初期値）



お知らせ

- ・「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は「IR」に設定してください。
- ・実際の呼出音は使用される電話機によって異なります。

IP 端末設定画面



お知らせ

- ・ 本商品にLANポートや無線で接続されたIP端末に関する設定を行います。
- ・ 画面の電話番号設定に表示されている画面は、契約番号として0600001111、追加番号として0600002222、0600003333、0600004444、0600005555を契約しているときの例です。

内線設定(IP端末)

[ヘルプ](#)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(IP端末)

内線設定(IP端末)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号	
ニックネーム	IP phone1
端末属性	通常端末
MACアドレス	
ダイジェスト認証	☒ 行う
ユーザID	
パスワード	

[電話番号設定]

電話番号 通知番号 着信番号

0600001111	☒	☒
0600002222	☐	☒
0600003333	☐	☒
0600004444	☐	☒
0600005555	☐	☒

- [内線番号]
内線番号として使用する電話番号を 1～9、10～99 の範囲で入力します。



お知らせ

- ・ 0もしくは00を設定することはできません。
- ・ 重複した内線番号は設定できません。

- [ニックネーム]
任意のニックネームを半角英数字記号 64 文字以内で入力します。

内線番号	初期値
内線番号 3～7	IP phone1～5

- [端末属性]
接続した IP 端末の属性を選択します。

- ・ 通常端末 (初期値)
- ・ 音声専用端末



お知らせ

- ・ 接続したIP端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。
- ・ 接続したIP端末の機能に合わせて設定してください。
- ・ 内線設定が自動設定された場合は、[端末属性] は自動的に設定されます。

- [MAC アドレス]
接続した IP 端末の MAC アドレスを入力します。



お知らせ

内線設定が自動設定された場合、自動的に入力されます。

- [ダイジェスト認証]
ひかり電話に対応した IP 端末を内線として使用する場合に、セキュリティ保護の点からユーザ ID、パスワードで認証を行う場合にチェックします。
(初期値：使用する)
ダイジェスト認証を「行わない」にしても内線は使用可能です。

- [ユーザ ID]
ダイジェスト認証用のユーザ ID を入力します。



お知らせ

- ・ ユーザIDは本商品が自動生成するので、通常は設定を変更しないでください。
- ・ ダイジェスト認証を使用しない場合は、パスワード未入力で内線の使用は可能ですが、セキュリティ上ダイジェスト認証を使用することをお勧めします。

● [パスワード]

ダイジェスト認証用のパスワードを入力します。



お知らせ

- ・パスワードは本商品が自動生成するので、通常は設定を変更しないでください。
- ・ダイジェスト認証を使用しない場合は、パスワード未入力で内線の使用は可能ですが、セキュリティ上ダイジェスト認証を使用することをお勧めします。

● [通知番号]

この IP 端末から発信する際に、接続先に通知する電話番号を選択します。
選択できる通知番号は 1 つです。
初期値として契約番号が選択されています。



お知らせ

通知番号は本商品の設定に関わらず、IP 端末側で設定した通知番号が相手先に通知されることがあります。

● [着信番号]

契約している電話番号のうち、この IP 端末への着信番号として使用する番号を選択します。

複数の着信番号を選択できます。

初期値として電話番号設定に表示されているすべての番号が選択されています。



お知らせ

他の端末設定画面で、同じ電話番号を選択することができます。
その場合、複数の電話機 (IP 端末) から同時に着信音が鳴ります。

5-4-3 設定例一覧

ここでは、本商品の機能を利用するための設定例を紹介します。

機 能	概 要	参 照
着信音選択	ひかり電話もしくは内線からの着信時の呼出音を選択します。	p. 86
一斉着信/ 着信番号選択	最大7台までのひかり電話に対応したIP端末、アナログ電話機を一斉に呼び出せます。	p. 88
割込音通知	複数チャンネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知します。	p. 92
テレビ電話	ひかり電話に対応したIP端末や携帯電話 (FOMA) 端末と、映像と音声による通話ができます。 テレビ電話の契約が必要です。	p. 95
モデム ダイヤルイン	着信した電話番号を、モデム信号としてアナログ電話機に送信します。	p. 97
ナンバー・ ディスプレイ	電話機に発信者の電話番号が表示されます。 ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。	p. 99
キャッチホン・ ディスプレイ	通話中に着信があった場合、電話機に発信者の電話番号が表示されます。	p. 102
エコー・ キャンセラ	エコーやハウリングを防止します。	p. 105
優先着信ポート	本商品の2つのTELポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着信するTELポートを設定します。	p. 107
指定着信機能	電話番号に指定着信番号を付加してダイヤルすることで、特定の電話機を直接呼び出せます。	p. 113



お知らせ

- ・記載されているサービス名称については、変更になる場合があります。
- ・無線 LAN の設定については「5-5 無線 LAN 設定」 (👉 p. 117) をご参照ください。

5-4-4 着信音選択

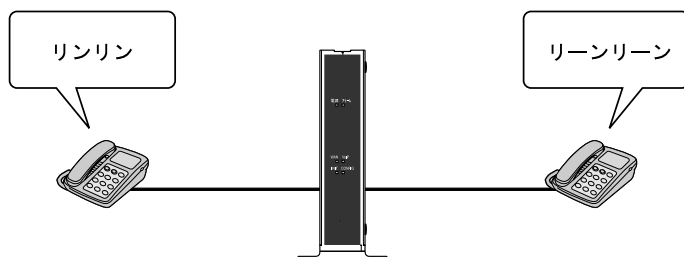
ひかり電話もしくは内線からの着信時の呼出音を選択します。

- ・ IR : リーンリーン（ひかり電話の初期値）
- ・ SIR : リンリン（内線の初期値）



お知らせ

- ・ 「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は「IR」に設定してください。
- ・ 実際の呼出音は使用される電話機によって異なります。
- ・ 本機能は、アナログ電話機に対してのみ提供可能な機能です。



1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MA	アドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	二	-	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	二	-	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	IR ▼
内線	-	-		-		IR ▼

設定 戻る

3 [電話番号設定]の着信時の[着信音選択]を選択します。

● [着信音選択]

ひかり電話もしくは内線からの着信時の呼出音を選択します。

- ・ 着信音 1 (IR) : リーンリーン
- ・ 着信音 2 (SIR) : リンリン

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-5 一斉着信/着信番号選択

最大 7 台までのひかり電話に対応した電話機、IP 端末を一斉に呼び出すこと（一斉着信）ができます。

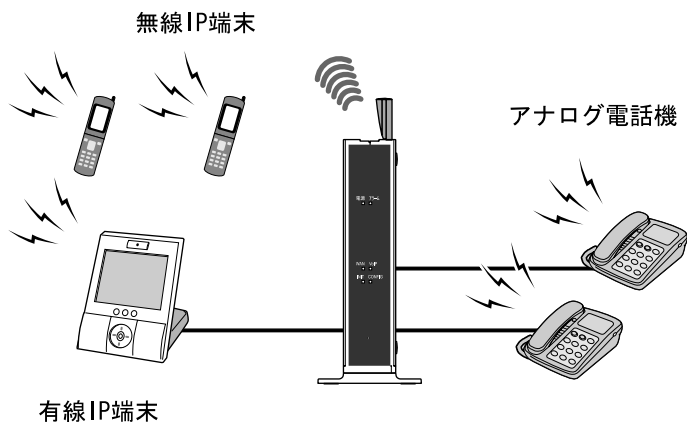


お知らせ

- ・無線IP端末を利用するにはオプション品の無線LANカード「SC-32SE」が必要です。（ p. 29）
- ・映像着信の場合は、端末属性が「通常端末」に設定された端末にのみ、着信します。

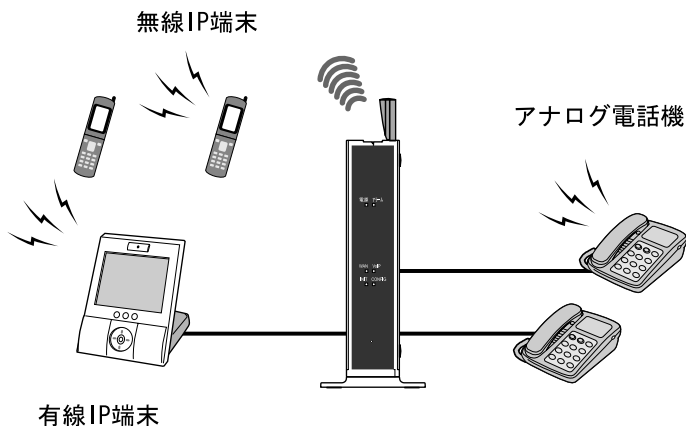
一斉着信

本商品に接続されたすべての電話機、IP 端末を呼び出します。



着信番号選択

本商品に接続された電話機、IP 端末から選択して呼び出します。



1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	二	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	二	-	-	-	編集	-
☒	3	IP phone1	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP phone2	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP phone3	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP phone4	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP phone5	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定する端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。



お知らせ

ここでは電話機を例に説明します。

内線設定(アナログ端末)

[ヘルプ](#)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	IR ▼
内線	-	-	-	-	-	IR ▼

3 「着信番号」を選択します。

選択した電話機、IP 端末に対して、呼び出す着信番号を選択してください。



お知らせ

すべてを呼び出す（一斉着信）ときは、すべての電話機、IP端末で「着信番号」の設定でチェックを入れます。

呼び出す電話機、IP端末を使い分けるときは、呼び出しに使用する電話機、IP端末にのみ「着信番号」の設定でチェックを入れます。

● 「着信番号」

契約している電話番号のうち、この端末への着信番号として使用する番号を選択します。

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-6 割込音通知

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知します。



お知らせ

- ・本機能は、アナログ電話機に対してのみ提供可能な機能です。
- ・優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。
割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MA	アドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)		二	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)		二	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデム・ダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル時間タイマ 分・秒

エコ・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号			
0600001111	☒	☒	☐		☐		IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐		IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐		IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐		IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐		IR ▼
内線	-	-		-			IR ▼

設定

戻る

3 [割込音通知]を「使用する」に設定します。

複数チャネルご契約時に、通話中の着信を割込音にて通知するか設定します。

- [割込音通知]

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知する場合にチェックします。

(初期値：使用する)

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

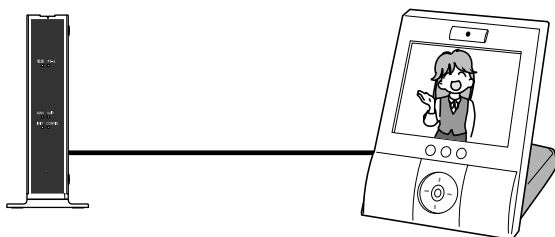
5-4-7 テレビ電話

ひかり電話対応 IP 端末は、他のひかり電話対応 IP 端末や携帯電話（FOMA）端末と、映像と音声による通話ができます。

テレビ電話の契約が必要です。

テレビ電話の操作方法については IP 端末、携帯電話端末の取扱説明書をご参照ください。

ひかり電話対応 IP 端末



1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	二	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	二	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 テレビ電話として使用する IP 端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(IP端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(IP端末)

内線設定(IP端末)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ーツホンーム

端末属性

WSSアドレス

ダイジェスト認証 ☒ 行う

ユーザID

パスワード

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号
0600001111	☒	☒
0600002222	☐	☒
0600003333	☐	☒
0600004444	☐	☒
0600005555	☐	☒

3 [端末属性]を「通常端末」に設定します。



お知らせ

接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。
接続された端末の機能に合わせて設定してください。

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-8 モデムダイヤルイン

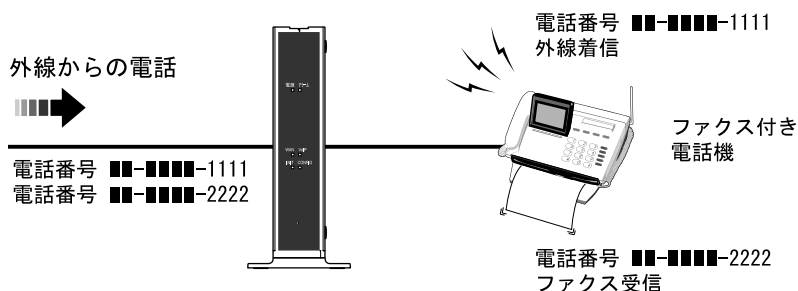
着信した電話番号をモデム信号としてアナログ電話機に送信します。
モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1 台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。



お知らせ

モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。

操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書をご参照ください。



1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MA	アドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	二	-	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	二	-	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	二	-	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キッズホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

着信音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイム 秒

エコー・キャンセル ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	IR ▼
内線	-	-		-		IR ▼

3 [モデムダイヤルイン]を「使用する」に設定します。

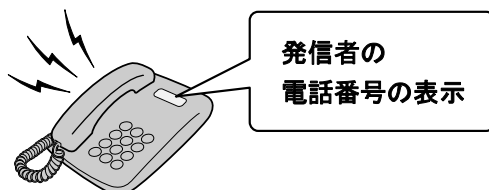
- [モデムダイヤルイン]
電話の着信時にモデムダイヤルイン（着信番号情報をモデム信号として通知する機能）を使用する場合にチェックします。
（初期値：使用しない）
接続した端末がモデムダイヤルインに対応している必要があります。

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-9 ナンバー・ディスプレイ

電話機に発信者の電話番号が表示されます。



お知らせ

- ・ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
表示方法は電話機取扱説明書をご参照ください。
- ・ナンバー・ディスプレイ機能をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- ・電話機によっては、発信者の電話番号などが正しく表示されないことがあります。
- ・発信者の電話番号が表示されない場合は、表示されない理由が電話機に表示されます。
表示内容を確認して電話に出ることができます。
- ・表示内容は、ご使用の電話機によって異なります。
詳しくは電話機取扱説明書をご参照ください。

1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[端末属性電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	IR ▼
内線	-	-		-		IR ▼

3 [ナンバー・ディスプレイ]を「使用する」に設定します。

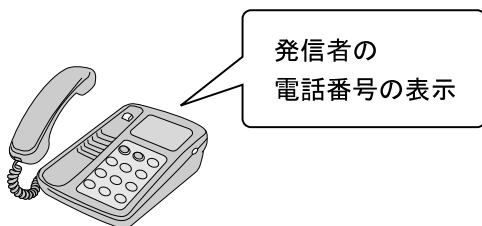
- [ナンバー・ディスプレイ]
ナンバー・ディスプレイ機能（発信者の電話番号が表示される機能）を使用する場合にチェックします。
（初期値：使用する）
サービス契約および、接続した端末がナンバー・ディスプレイに対応している必要があります。

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-10 キャッチホン・ディスプレイ

通話中に着信があった場合、電話機に発信者の電話番号が表示されます。



お知らせ

- ・キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
表示方法は電話機の取扱説明書をご参照ください。
- ・キャッチホン・ディスプレイ機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ機能を「使用する」に設定する必要があります。(👉 p.99)
- ・電話機によっては、発信者の電話番号などが正しく表示されないことがあります。
- ・発信者の電話番号が表示されない場合は、表示されない理由が電話機に表示されます。
表示内容を確認して電話に出ることができます。
- ・表示内容は、ご使用の電話機によって異なります。
詳しくは電話機の取扱説明書をご参照ください。

1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モブタダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	IR ▼
内線	-	-		-		IR ▼

3 [キャッチホン・ディスプレイ]を「使用する」に設定します。

- [キャッチホン・ディスプレイ]
キャッチホン・ディスプレイ機能(通話中に着信があった場合、電話機に発信者の電話番号が表示される機能)を使用する場合にチェックします。
(初期値：使用しない)

4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-11 エコー・キャンセラ

エコーやハウリングを防止します。

本商品に接続したファクスで通信に失敗する場合に設定してください。

1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定 ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MA	アドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)		二	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)		二	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末		二	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル応答タイム 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	IR ▼
内線	-	-		-		IR ▼

3 [エコー・キャンセラ] を「使用する」に設定します。

● [エコー・キャンセラ]

エコー・キャンセラ機能(エコーやハウリングを防止する機能)を使用する場合にチェックします。

ファクス通信が正常にできない場合は「使用しない」に設定してお試しください。
(初期値：使用する)

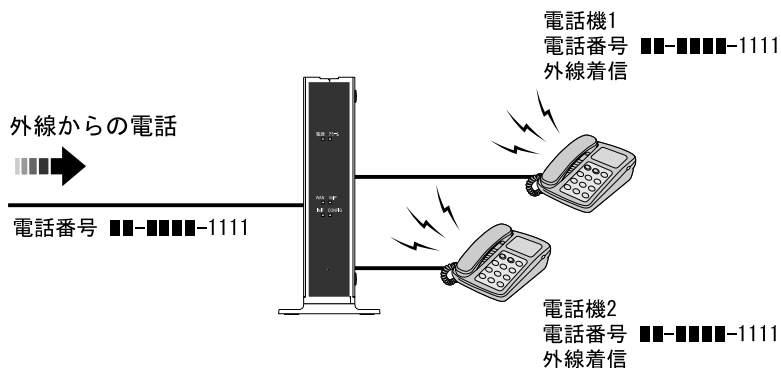
4 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-12 優先着信ポート

本商品の2つのTELポートを同一着信番号で設定している場合、優先して着信するTELポートを設定できます。

通常

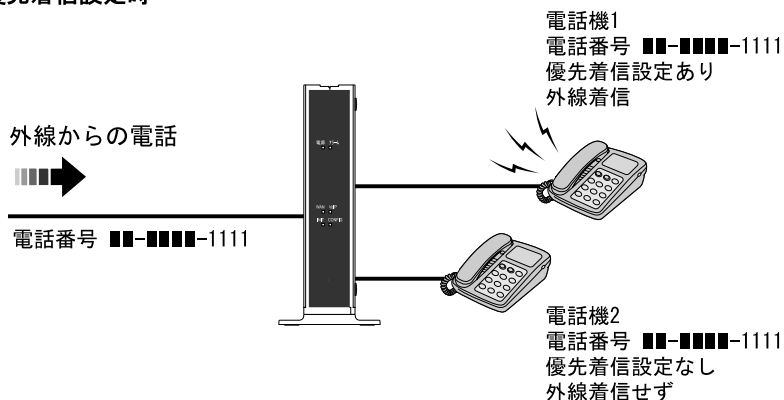


お知らせ

着信中に他からの着信があった場合、電話機のハンドセット（受話器）を取り上げて通話中になると通知音で連絡します。

（複数チャネル契約時で「割込音通知」を「使用する」に設定している場合）

優先着信設定時



お知らせ

- ・ TEL1、2ポートに接続された電話機に対して有効です。
- ・ この機能を利用する場合、IP 端末は使用できません。
- ・ 着信中に他からの着信があった場合、電話機のハンドセット（受話器）を取り上げて通話中になっても通知音はありません。（複数チャネル契約時）
- ・ 優先着信ポートを有効にする場合は、電話機 1、電話機 2 の「割込音通知」を共に「使用しない」に設定してください。（☞ p. 111）
- ・ TEL1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用するには、先に指定着信機能を「指定なし着信」に設定してください。（☞ p. 113）

優先着信ポートを利用する場合、次の設定が必要です。

- ・ IP 端末を使用しない。
- ・ アナログ端末の割込音通知を使用しない。

1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	二	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	二	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	二	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 すべての IP 端末の「利用有無」の選択を解除します。

3 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

引き続きアナログ端末を設定します。

4 「アナログ端末(電話機 1)」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデム・ダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル時間タイマー

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号			
0600001111	☒	☒	☐		☐	☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	☐	IR ▼
内線	-	-		-			IR ▼

5 [割込音通知]のチェックを外し、[着信番号]を1つ以上選択します。

● [割込音通知]

複数チャネルご契約時で通話中に着信があったとき、もしくは内線通話中の外線着信のときに、割込音にて着信を通知する場合にチェックします。

(初期値：使用する)



お知らせ

複数チャネルをご契約の場合の割込音通知設定については、「割込音通知」(📞 p. 92)をご参照ください。

● [着信番号]

契約している電話番号のうち、この端末への着信番号として使用する番号を選択します。

複数の着信番号を選択できます。

初期値として電話番号設定に表示されているすべての番号が選択されています。

6 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

引き続きアナログ端末(電話機 2)を設定します。

7 内線設定画面で[アナログ端末(電話機 2)]をクリックします。

手順 5 ~ 6 を実行してください。

このとき、着信番号はアナログ電話機(電話機 1)画面選択したものと同一ものを選択してください。

設定が反映されました。

引き続きひかり電話共通設定を設定します。

8 メニューフレームから、ひかり電話共通設定 をクリックします。

操作フレームにひかり電話共通設定画面が表示されます。

ひかり電話共通設定 ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > ひかり電話共通設定

[ひかり電話設定]

音声優先モード なし

優先着信ポート 無効

設定

9 「優先着信ポート」を選択します。

着信を優先するアナログ端末を選択してください。

- [優先着信ポート]
優先的に着信する TEL ポートを選択します。
 - ・ アナログ端末 (電話機 1)
: TEL1 ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。
 - ・ アナログ端末 (電話機 2)
: TEL2 ポートに接続した電話機を優先的に呼び出します。
 - ・ 無効 : 優先着信を行いません。(初期値)

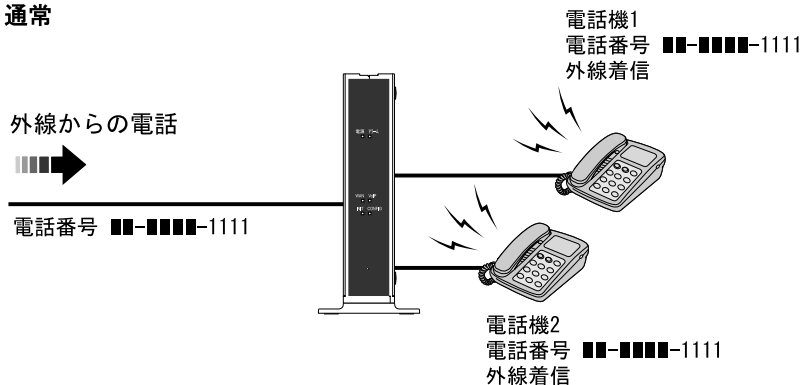
10 **設定** をクリックします。

設定が反映されました。

5-4-13 指定着信機能

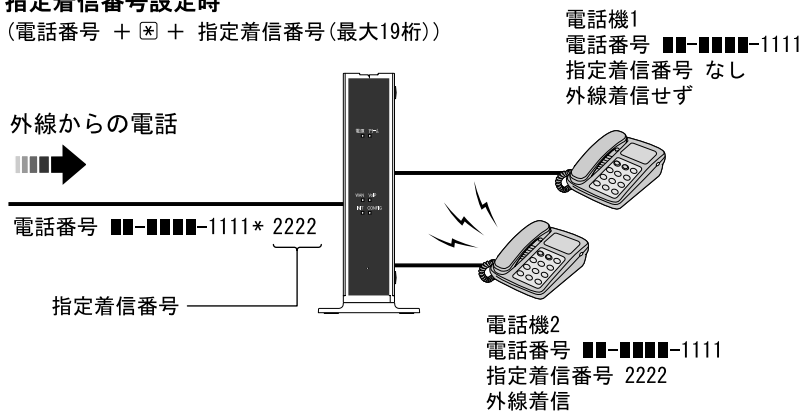
電話番号に指定着信番号を付加してダイヤルすることで、特定の電話機を直接呼び出せます。

通常



指定着信番号設定時

(電話番号 + (*) + 指定着信番号(最大19桁))





お知らせ

- ・ 指定着信番号は、TEL1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。
- ・ 指定着信番号に使える数字は 0～9（最大 19 桁）です。
- ・ 指定着信番号で着信した場合、キャッチホンが利用できないことがあります。
- ・ 追加番号をご利用の場合、指定着信機能を利用できる番号は 1 つだけです。

1 メニューフレームから、電話設定 → 内線設定 をクリックします。

操作フレームに内線設定画面が表示されます。

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-	-	-	-	編集	-
☒	3	IP_phone1	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	-	-	-	未登録	編集	削除

設定

2 設定するアナログ端末の「端末属性」をクリックします。

対応する内線設定画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバーディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能 使用する 指定着信番号	指定なし 着信	着信音選択
0600001111	☒	☒	☐	☐	IR ▼
0600002222	☐	☒	☐	☐	IR ▼
0600003333	☐	☒	☐	☐	IR ▼
0600004444	☐	☒	☐	☐	IR ▼
0600005555	☐	☒	☐	☐	IR ▼
内線	-	-	-		IR ▼

設定

戻る

3 [指定着信機能 使用する]を選択します。

- [指定着信機能 使用する]
指定着信機能を使用する電話番号を選択します。



お知らせ

TEL1、2ポートに接続された電話機のどちらか1つに設定できます。
他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、一度「使用する」のチェックを外してください。

4 **[指定着信機能 指定着信番号]**を設定します。

- [指定着信機能 指定着信番号]
使用する指定着信番号を設定します。(1～19 桁の半角数字)

5 **指定着信番号あり なし両方の着信を受ける場合、
[指定着信機能 指定なし着信]**を選択します。

- [指定着信機能 指定なし着信]
指定着信番号あり/なし両方の着信を受ける場合、選択します。

6 **設定** をクリックします。

設定が反映されました。

5-5 無線LAN設定

本商品はオプション品の無線 LAN カード「SC-32SE」を装着することで無線 LAN のアクセスポイントとして動作します。

無線 LAN の設定は次のような手順で設定します。

接続の確認

本商品が正しく無線LANカードを認識しているか確認します
( p. 118)

SSIDの公開

SSIDを広告し、無線LAN端末からの検索に応答する設定を行います ( p. 120)

SSIDの隠蔽

SSIDの広告を停止し、無線LAN端末からの検索にも応答しない設定を行います ( p. 129)

5-5-1 接続の確認

本商品が SC-32SE を正しく認識しているか確認します。



お知らせ

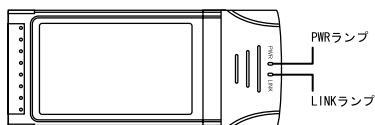
ここでは本商品に SC-32SE が装着されていることを前提に説明します。

装着方法については「1-6-2 無線 LAN カードの接続」(👉 p. 29) をご参照ください。

1 本商品にアクセスします。

操作フレームに電話設定画面が表示されます。

2 本機に装着している SC-32SE の PWR ランプおよび LINK ランプが点滅していることを確認します。



3 メニューフレームから、情報 → 現在の状態 をクリックします。

現在の状態画面が表示されます。

4 **[PC カード情報]の無線 LAN 状態が「通信中」となっていることを確認します。**

現在の状態 ヘルプ ?

トップページ > 情報 > 現在の状態

現在の時刻:2009/02/16 17:12:11

[商品情報]

MACアドレス 00:0C:87:5D:68:19

[DHCPクライアント取得情報]

IPアドレス/マスク長 192.168.1.10/24

リース時間 -

DHCP再取得

[PCカード情報]

無線LAN状態 通信中

動作モード IEEE802.11g/IEEE802.11b互換

使用チャネル 1

[機器状態情報]

動作モード 光プレミアムモード

リンク状態

WAN 通信中 (100Mbps 全二重)

LAN1 停止中

LAN2 通信中 (100Mbps 全二重)

LAN3 停止中

LAN4 停止中

5-5-2 SSID の公開

無線ネットワーク名（SSID）を公開する方法を説明します。
SSID の広告を開始し、無線 IP 端末からの探索に応答します。



お知らせ

無線ネットワーク名（SSID）を公開した場合、無線セキュリティの観点から、子機側の設定後必ず隠蔽してください。（「5-5-3 SSID の隠蔽」 p.129）

- 1 メニューフレームから、**無線 LAN 設定** → **無線 LAN 設定** をクリックします。

操作フレームに無線 LAN 設定画面が表示されます。

- 2 [無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽]のチェックを外します。

無線LAN設定ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN設定

設定変更は即時に有効となります。無線LAN端末から設定を行っている場合には、[設定]ボタンをクリックしたあと、変更が有効になり、無線LAN接続が切断される場合があります。

[無線LANアクセスポイント設定]

無線LAN☒ 使用する

無線ネットワーク名(SSID)

無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽 (ANY接続拒否)☐ する

無線動作モードIEEE802.11g/IEEE802.11b互換 ▾

使用チャンネル1 ▾

送信出力100% ▾

Super AG使用しない ▾

無線優先制御機能☒ 使用する

MACアドレスフィルタリング☐ 使用する

無線の暗号化なし ▾

[拡張設定]

マルチキャスト伝送速度固定(Mbps) 使用しない ▾

Beacon Interval(ms)100

DTIM(回)1

設定

- 3 **設定** をクリックします。

設定が反映されました。

お知らせ

画面に表示されている設定項目の詳細については、次ページ以降をご参照ください。

120 Web 設定

● [無線 LAN]

無線 LAN 機能を使用するか選択します。

- ・使用する（初期値）
- ・使用しない



お知らせ

無線LAN機能の使用する/使用しないを切り替えると、無線LANを一時的に停止、再開したときに、各端末で無線LANに関する設定を再度やり直す必要がなくなります。

● [無線ネットワーク名 (SSID)]

無線 LAN を識別するための名称を、32 文字以内の半角英数字で入力します。

初期値には、「AD200SE-XXXXXX」が設定されます。

（XXXXXX は MAC アドレスの下 6 桁）



お知らせ

無線ネットワーク名 (SSID) を公開した場合、無線セキュリティの観点から、子機側の設定後必ず隠蔽してください。（「5-5-3 SSID の隠蔽参照」

p. 129）

● [無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)]

他の無線 LAN 端末から、本商品を隠蔽します。「する」を選択した場合は、無線ネットワーク名 (SSID) の広告を停止し、無線 LAN 端末からの探索にも応答しません。

- ・する（初期値）
- ・しない

● [無線動作モード]

動作モードを選択します。

初期値には、「IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換」が設定されています。

- ・IEEE802.11a 固定
- ・IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換（初期値）
- ・IEEE802.11g 固定



お願い

「IEEE802.11a固定」モードで使用する5.2GHz帯域は、電波法により屋内使用に限定されています。本モードで動作させる場合は、屋外で使用しないでください。



お知らせ

- ・「IEEE802.11a固定」および「IEEE802.11g固定」を選択すると、指定した規格に対応した無線LANカードのみと通信できます。
- ・「IEEE802.11g/IEEE802.11b互換」を選択すると、同一無線LAN内で、IEEE802.11gおよびIEEE802.11bに対応した無線LANカードを利用できます。

● [使用チャネル]

無線 LAN 通信に使用する周波数を選択します。

初期値は「1」に設定されています。

[動作モードが IEEE802.11a 固定のとき]

- ・ 自動設定、チャネル 36 (5180MHz)、チャネル 40 (5200MHz)、
チャネル 44 (5220MHz)、チャネル 48 (5240MHz)



お知らせ

- ・ 複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなることがあります。その場合、なるべく別のチャネルを使用してください。
- ・ 使用チャネルを「自動設定」にした場合、自動的に通信状態の良好なチャネルを選択します。一度選択されたチャネルは通信状態の変化に関わらず、固定されます。

[動作モードが IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換、IEEE802.11g 固定のとき]

- ・ 自動設定、チャネル 1 (2412MHz) (初期値)、チャネル 2 (2417MHz)、
チャネル 3 (2422MHz)、チャネル 4 (2427MHz) チャネル 5 (2432MHz)、
チャネル 6 (2437MHz)、チャネル 7 (2442MHz)、チャネル 8 (2447MHz)、
チャネル 9 (2452MHz)、チャネル 10 (2457MHz)、チャネル 11 (2462MHz)、
チャネル 12 (2467MHz)、チャネル 13 (2472MHz)



お知らせ

- ・ 複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなることがあります。その場合、なるべく各チャネル同士は5チャネル以上の間隔をあけて使用してください。(1、6、11など)
- ・ 使用チャネルを「自動設定」にした場合、自動的に通信状態の良好なチャネルを選択します。一度選択されたチャネルは通信状態の変化に関わらず、固定されます。

● [送信出力]

本商品の送信出力を調整します。他のネットワークへの電波干渉を回避する目的で使用します。

- ・ 100% (初期値)
- ・ 50%
- ・ 25%
- ・ 12%
- ・ 6%

● [Super AG]

Super AG を使用するかどうかなを選択します。

Super AG は、IEEE802.11g および IEEE802.11a 準拠の無線区間を高速化する技術です。

Super AG を使用することにより IEEE802.11g および IEEE802.11a 準拠の無線区間の通信速度が速くなることがあります。

SuperAG を使用するには無線 LAN 端末も Super AG に対応している必要があります。

ただし無線 LAN 端末が Super AG に対応していない場合でも、通常の IEEE802.11g/

IEEE802.11a で接続できます。

- ・ 使用しない（初期値）
- ・ 使用する（圧縮なし）
- ・ 使用する（圧縮あり）



お知らせ

- ・ 使用する無線LAN端末やサーバの環境や能力、周囲の電波環境などにより通信速度が速くならないこともあります。
- ・ 「使用する（圧縮あり）」を選択した場合、圧縮技術を使用するため、TEXTファイルなど、圧縮効果の高いファイルを転送する場合に有効ですが、すでに圧縮されているデータを転送する場合、通信速度が遅くなることがあります。

● [無線優先制御機能]

無線優先制御機能を使用するか設定します。

- ・ 使用する（初期値）
- ・ 使用しない

● [MAC アドレスフィルタリング]

MAC アドレスフィルタリングを使用するか選択します。

- ・ 使用する
- ・ 使用しない（初期値）



お願い

加入を許可する無線LAN端末のMACアドレス一覧に何も設定せずに「使用する」を選択すると、すべての無線LAN端末が本商品をアクセスポイントとする無線LANに加入できなくなりますので、ご注意ください。

- [無線の暗号化]
無線 LAN での暗号の使用可否や、使用する暗号の種類について指定します。
 - ・ なし（初期値）
 - ・ WEP
 - ・ WPA-PSK（TKIP）
 - ・ WPA-PSK（AES）

WPA-PSK（TKIP/AES）については p. 125 を、WEP については p. 127 をご参照ください。

- [マルチキャスト伝送速度（Mbps）]
マルチキャストフレームの伝送速度を設定します。

IEEE802. 11a 固定選択時	IEEE802. 11g/ IEEE802. 11b 互換選択時	IEEE802. 11g 固定選択時
・ 使用しない（初期値） ・ 6 ・ 9 ・ 12 ・ 18 ・ 24 ・ 36 ・ 48 ・ 54	・ 使用しない（初期値） ・ 1 ・ 2 ・ 5. 5 ・ 6 ・ 9 ・ 11 ・ 12 ・ 18 ・ 24 ・ 36 ・ 48 ・ 54	・ 使用しない（初期値） ・ 1 ・ 2 ・ 5. 5 ・ 6 ・ 9 ・ 11 ・ 12 ・ 18 ・ 24 ・ 36 ・ 48 ・ 54

- [BeaconInterval（ms）]
Beacon 間隔を 20～1000ms の範囲で入力します。
（初期値：100ms）
- [DTIM（回）]
DTIM(delivery traffic indication message) しきい値を 1～255 回の範囲で入力します。
（初期値：1）
定期的に送信しているパケットに DTIM が含まれる頻度を設定します。

WPA-PSK (TKIP/AES) を選択した場合

〔無線の暗号化〕に「WPA-PSK (AES)」または「WPA-PSK (TKIP)」を選択した場合の設定項目を説明します。



お知らせ

- ・使用する暗号化モードは、無線 LAN へ接続しているすべてのアクセスポイントおよび無線 LAN 端末の間で、同一に設定してください。
- ・「AES」を選択すると、「TKIP」を選択する場合よりも通信速度が低下する場合があります。

無線LAN設定

[ヘルプ ?](#)

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN設定

設定変更(は即時に有効となります。無線LAN端末から設定を行っている場合には、[設定]ボタンをクリックしたあと、変更が有効になり、無線LAN接続が切断される場合があります。

〔無線LANアクセスポイント設定〕

無線LAN ☒ 使用する

無線ネットワーク名(SSID)

無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽
(ANY接続拒否) ☒ する

無線動作モード IEEE802.11g/IEEE802.11b互換 ▼

使用チャンネル 1 ▼

送信出力 100% ▼

Super AG 使用しない ▼

無線優先制御機能 ☒ 使用する

MACアドレスフィルタリング ☐ 使用する

無線の暗号化 WPA-PSK(AES) ▼

事前共有キー(PSK)

キー更新間隔 1800 秒

〔拡張設定〕

マルチキャスト伝送速度固定(Mbps) 使用しない ▼

Beacon Interval(ms) 100

DTIM(回) 1

● [事前共有キー (PSK)]

WPA-PSK (TKIP/AES) の暗号化に使用する事前共有キーを設定します。

8 文字以上、63 文字以内の半角英数字および記号を入力します。大文字、小文字は区別されます。[*]のみのキーは設定できません。

WPA-PSK (TKIP/AES) を使用するアクセスポイントとそれぞれの無線 LAN 端末には、同じキーを設定します。(本商品に設定したキーは設定直後のみ参照できませんが、次回からはセキュリティのため*****で表示されます)



お知らせ

- ・使用する暗号化モードおよび事前共有キー (PSK) は、無線LANへ接続しているすべてのアクセスポイントおよび無線LAN端末の間で、同一に設定してください。
- ・WPA-PSK (TKIP/AES) で使用する事前共有キー (PSK) は、Windows XP または無線LAN端末の設定ユーティリティでは、「プリシェアードキー (Pre Shared Key)」、「事前共有鍵」、「パスワード」などと呼ばれています。

● [キー更新間隔]

WPA-PSK (TKIP/AES) では、事前共有キーを元に暗号化に使用する暗号キーを定期的に自動生成し、共有します。更新間隔を秒単位で入力します。

入力範囲は 60～86400 です。

(初期値 : 1800 秒)

WEP を選択した場合

[無線の暗号化]に「WEP」を選択した場合の設定項目を説明します。
WEPでは、データの暗号化、複号化にWEPキーという任意の文字列を使用します。
これを共有しない機器は、データを傍受しても復号、復元できません。無線LANを構成させる機器すべてに同一のWEPキーを設定する必要があります。

無線LAN設定

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN設定

設定変更は即時に有効となります。無線LAN端末から設定を行っている場合には、[設定]ボタンをクリックしたあと、変更が有効になり、無線LAN接続が切断される場合があります。

[無線LANアクセスポイント設定]

無線LAN	☒ 使用する
無線ネットワーク名(SSID)	無線LAN-1234567890
無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽 (ANY接続拒否)	☒ する
無線動作モード	IEEE802.11g/IEEE802.11b互換
使用チャネル	1
送信出力	100%
Super AG	使用しない
無線優先制御機能	☒ 使用する
MACアドレスフィルタリング	☐ 使用する
無線の暗号化	WEP
暗号強度	128bit
入力方法	16進数(26桁)
使用するWEPキー(キーインデックス)	WEPキー1
WEPキー1	1234567890123456789012345678901234
WEPキー2	
WEPキー3	
WEPキー4	

- [暗号強度]
WEPの暗号強度を選択します。
bit数が大きいほど、より高度なセキュリティを実現します。
 - ・ 64bit
 - ・ 128bit (初期値)
 - ・ 152bit

● [入力方法]

WEP キーの入力方法を指定します。英数字を選んだ場合は、半角英数字および記号を使用します。大文字、小文字は区別されます。[*]のみの WEP キーは設定できません。16 進数を選んだ場合は、0~9、A~F を使用します。大文字、小文字は区別されません。

[64bit を選択しているとき]

- ・英数字 5 桁
- ・16 進数 10 桁

[128bit を選択しているとき]

- ・英数字 13 桁
- ・16 進数 26 桁（初期値）

[152bit を選択しているとき]

- ・英数字 16 桁
- ・16 進数 32 桁



お知らせ

- ・「英数字〇〇桁」形式を選択した場合と「16進数〇〇桁」を選択した場合では、WEPキーとして入力が必要な文字列の文字数が異なります。WEPキーの入力方法と文字列の対照は、次の「WEPキー1~4」の表をご参照ください。
- ・入力したWEPキーの長と値は、無線LAN内で同一に設定してください。
- ・「英数字〇〇桁」で半角英字を入力する場合、大文字と小文字は区別されます。

● [使用する WEP キー(キーインデックス)]

WEP キーは 4 つまで事前に用意しておくことができます。無線 LAN の構成を適宜変えたい場合や、セキュリティを高めるため WEP キーを随時変えたい場合などに便利です。

● [WEP キー1~4]

WEP キーとして使用する任意の文字列を入力します。

1~4 のキーのうち、最低 1 つ以上のキーを設定します。

キーの長さ (bit 数) が大きいほど、セキュリティ強度が高くなります。

WEPキーの長さ	必要な 入力文字数	備 考
64bit 16進数	10文字	・ 0~9までの半角数字 ・ A~Fおよびa~fまでの半角英字
128bit 16進数	26文字	
152bit 16進数	32文字	
64bit 英数字	5文字	・ 半角記号 ・ 0~9までの半角数字 ・ A~Zおよびa~zまでの半角英字
128bit 英数字	13文字	
152bit 英数字	16文字	



お知らせ

WEPキーの長さと値は、無線LANへ接続しているすべてのアクセスポイントおよび無線LAN端末の間で、同一に設定してください。

5-5-3 SSID の隠蔽

SSID を隠蔽します。

SSID の広告を停止し、無線 IP 端末からの探索にも応答しません。

- 1 メニューフレームから、無線 LAN 設定 → 無線 LAN 設定 をクリックします。

操作フレームに無線 LAN 設定画面が表示されます。

- 2 [無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽]を「する」に設定します。

無線LAN設定

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN設定

設定変更(は即時に有効となります。無線LAN端末から設定を行っている場合には、[設定]ボタンをクリックしたあと、変更が有効になり、無線LAN接続が切断される場合があります。)

[無線LANアクセスポイント設定]

無線LAN

☒ 使用する

無線ネットワーク名(SSID)

無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽
(ANY接続拒否)

☒ する

無線動作モード

IEEE802.11g/IEEE802.11b互換

使用チャンネル

1

送信出力

100%

Super AG

使用しない

無線優先制御機能

☒ 使用する

MACアドレスフィルタリング

☐ 使用する

無線の暗号化

なし

[拡張設定]

マルチキャスト伝送速度固定(Mbps)

使用しない

Beacon Interval(ms)

100

DTIM(回)

1

設定

- 3 設定 をクリックします。

設定が反映されます。

5-6 MACアドレスフィルタリング

MAC アドレスフィルタリングは、アクセスポイントが接続を許可したい無線 LAN 端末を指定する機能です。

接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレスをアクセスポイントに登録します。MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末を無線 LAN へ接続できなくすることで、不正なアクセスを防止できます。



お知らせ

- ・ MAC アドレスは 12 桁の 16 進数で表現されます。
- ・ MAC アドレスの表示場所については、ご使用の無線 IP 端末、無線 LAN カードなどの取扱説明書をご参照ください。また、無線 LAN カード内蔵パソコンの場合は、パソコンの OS から確認できます。パソコンの OS のオンラインヘルプなどをご参照ください。

1 メニューフレームから、無線 LAN 設定 → MAC アドレスフィルタリング をクリックします。

操作フレームに MAC アドレスフィルタリング画面が表示されます。

MACアドレスフィルタリング

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > MACアドレスフィルタリング

[接続を許可する無線LAN端末のMACアドレスエントリ]

エントリ番号	ニックネーム	MACアドレス	編集	削除
1			編集	
2			編集	
3			編集	
4			編集	
5			編集	
6			編集	
7			編集	
8			編集	
9			編集	
10			編集	
11			編集	
12			編集	
13			編集	
14			編集	
15			編集	
16			編集	

2 [接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレスエントリ]から、登録を行うエントリ番号欄の、[編集]をクリックします。

設定画面が表示されます。

MACアドレスフィルタリング エントリ編集

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > MACアドレスフィルタリング > エントリ編集

[接続を許可する無線LAN端末のMACアドレス編集]

エントリ番号 1

入力方法

MACアドレス指定

MACアドレス

MACアドレス指定
ニックネームで選択
MACアドレスで選択

設定

戻る

● [入力方法]

MAC アドレスの入力方法を選択します。

- ・ MAC アドレス指定 (初期値)
- ・ ニックネームで選択
- ・ MAC アドレスで選択

● [MAC アドレス]

登録する無線 LAN 端末の MAC アドレスを入力、または選択します。

・ [入力方法] で「MAC アドレスで選択」を選択した場合

接続中の無線 LAN 端末の MAC アドレスから選択します。

接続中の無線 LAN 端末がない場合は選択できません。

・ [入力方法] で「MAC アドレス指定」を選択した場合

設定する MAC アドレスを直接入力します。

MAC アドレス入力の際は、半角の 0～9、a～f、A～F、: (コロン) が使用できます。

2 文字ずつコロンで区切って入力してください。

例) MAC アドレスが「xx-xx-xx-xx-xx-xx」の場合は、「xx:xx:xx:xx:xx:xx」と入力します。

● [ニックネーム]

[入力方法] で「ニックネームで選択」を選択した場合に表示されます。

無線 LAN 端末設定で登録されたニックネームから選択します。

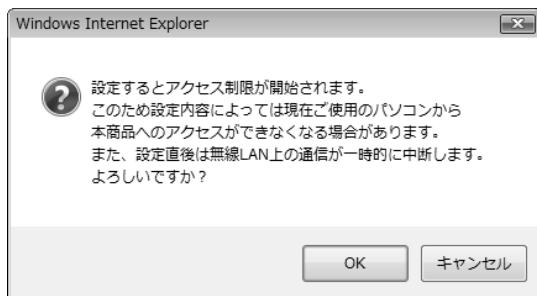


お知らせ

登録できるMACアドレスは最大16個です。

3 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、設定変更の確認画面が表示されます。



4 OK をクリックします。

設定内容が保存され、反映されます。

MAC アドレスフィルタリングの画面に戻ります。

MACアドレスフィルタリング

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > MACアドレスフィルタリング

変更を反映しました。

[接続を許可する無線LAN端末のMACアドレスエントリ]

エントリ番号	ニックネーム	MACアドレス	編集	削除
1			編集	
2	NTT		編集	削除
3			編集	
4			編集	
5			編集	
6			編集	
7			編集	
8			編集	
9			編集	
10			編集	
11			編集	
12			編集	
13			編集	
14			編集	
15			編集	
16			編集	

- 5** メニューフレームから、無線 LAN 設定→ 無線 LAN 設定をクリックします。

無線 LAN 設定画面が表示されます。

無線LAN設定

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN設定

設定変更(は即時に有効となります。無線LAN端末から設定を行っている場合には、[設定]ボタンをクリックしたあと、変更が有効になり、無線LAN接続が切断される場合があります。

[無線LANアクセスポイント設定]

無線LAN

☒ 使用する

無線ネットワーク名(SSID)

無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽
(ANY接続拒否)

☒ する

無線動作モード

IEEE802.11g/IEEE802.11b互換 ▾

使用チャネル

1 ▾

送信出力

100% ▾

Super AG

使用しない ▾

無線優先制御機能

☒ 使用する

MACアドレスフィルタリング

☐ 使用する

無線の暗号化

なし ▾

[拡張設定]

マルチキャスト伝送速度固定(Mbps)

使用しない ▾

Beacon Interval(ms)

100

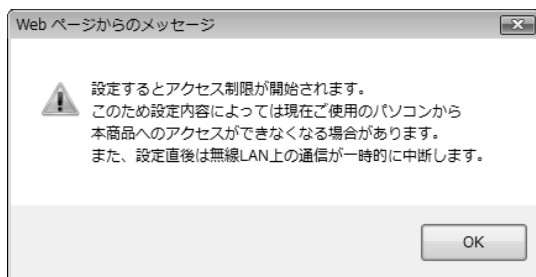
DTIM(回)

1

設定

- 6** [MAC アドレスフィルタリング]を「使用する」に設定します。

設定変更の確認画面が表示されます。



- 7** OK をクリックします。

- 8** 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

5-7 無線LAN端末設定

無線 LAN 端末の MAC アドレスに対して、ニックネームを設定します。

- 1 メニューフレームから、無線 LAN 設定 → 無線 LAN 端末設定 をクリックします。

操作フレームに無線 LAN 端末設定画面が表示されます。

無線LAN端末設定

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN端末設定

[登録する無線LAN端末のニックネームエントリ]

エントリ番号	ニックネーム	MACアドレス	編集	削除
1			編集	
2			編集	
3			編集	
4			編集	
5			編集	
6			編集	
7			編集	
8			編集	
9			編集	
10			編集	
11			編集	
12			編集	
13			編集	
14			編集	
15			編集	
16			編集	

2 [登録する無線 LAN 端末のニックネームエントリ]から、登録を行うエントリ番号欄の、[編集]をクリックします。

設定画面が表示されます。

無線LAN端末設定 エントリ編集

ヘルプ ?

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN端末設定 > エントリ編集

[登録する無線LAN端末のニックネーム編集]

エントリ番号 1

ニックネーム

入力方法

MACアドレス指定

MACアドレス

MACアドレス指定

MACアドレスで選択

設定

戻る

- [ニックネーム]
識別を容易にするために、無線 LAN 端末にニックネームを設定します。

- [入力方法]
MAC アドレスの入力方法を選択します。
 - ・ MAC アドレス指定（初期値）
 - ・ ニックネームで選択

- [MAC アドレス]
入力したニックネームに対応する MAC アドレスを設定します。

・ [入力方法] で「MAC アドレス指定」を選択した場合

設定する MAC アドレスを直接入力します。

MAC アドレス入力の際は、半角の 0～9、a～f、A～F、:（コロン）が使用できます。

2 文字ずつコロンで区切って入力してください。

例) MAC アドレスが「xx-xx-xx-xx-xx-xx」の場合は、「xx:xx:xx:xx:xx:xx」と入力します。

・ [入力方法] で「MAC アドレスで選択」を選択した場合

接続中の無線 LAN 端末の MAC アドレスから選択します。

接続中の無線 LAN 端末がない場合は選択できません。

3 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、有効になります。

5-8 DHCPサーバ設定

本商品で使用する LAN に関する設定を行います。通常のご使用において本画面による設定変更はありません。ネットワーク構成によっては設定の変更が必要となりますが、その場合は、以下の手順に従って正しい内容で設定してください。

- 1 メニューフレームから、詳細設定 → DHCP サーバ設定 をクリックします。

操作フレームに DHCP サーバ設定画面が表示されます。

DHCPサーバ設定ヘルプ ?

トップページ > 詳細設定 > DHCPサーバ設定

[IPアドレス/マスク長]
LAN側IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24

[DHCPサーバ]
DHCPサーバ機能 ☒ 使用する
開始IPアドレス 192.168.1.2
割当て個数 253
リース時間 4 時間 (1-72)

特定の端末に固定IPアドレスを配布したい場合は、端末のMACアドレスを設定してください。
→ [DHCP固定IPアドレス設定画面へ](#)

設定

- [LAN 側 IP アドレス/マスク長]
LAN 側で使用する IP アドレス／マスク長を入力します。
マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば 255. 255. 255. 0 のマスク長は「24」となります。
- [DHCP サーバ機能]
DHCP サーバを使用するかどうかを設定します。
 - ・使用する(初期値)
 - ・使用しない
- [開始 IP アドレス]
DHCP サーバが IP 端末に割り当てる、最初の IP アドレスを指定します。

STOP

 お願い
LAN側IPアドレス/マスク長で設定したIPアドレスと、同じサブネットに属するアドレスでなければなりません。

● [割り当て個数]

DHCP サーバが IP 端末に割り当てる IP アドレスの個数を入力します。



お知らせ

192.168.1.2から192.168.1.33までを割り当てる場合は、32個となります。LAN側IPアドレス／マスク長で指定されたマスク長の値に応じて、最大253まで設定できます。

● [リース期間]

DHCP サーバから割り当てられた IP アドレスの有効時間を、1～72 時間の間で指定します。

初期値には「4」（時間）が設定されています。



お知らせ

ひかり電話に対応したIP端末を継続的に使用する場合は、リース期間の半분이経過した時点で、同じIPアドレスが自動的に割り当てられます。

2 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、有効になります。



お知らせ

- ・再起動を促すメッセージが表示された場合、設定を反映させるために再起動してください。アラームランプが消灯して再起動したことを確認した後、再表示をクリックし、本商品に再度アクセスしてください。
- ・電話使用中は、エラー画面が表示され再起動できません。
(使用後すぐに操作したときでも、再起動できない場合があります。)
その場合は、画面の指示に従いもう一度操作をやり直してください。
- ・LAN側インタフェースに設定したIPアドレスやサブネットを、本商品のWAN側に取得したIPアドレスやサブネットと重ならないように設定しなければなりません。

5-8-1 DHCP 固定 IP アドレス設定

端末の MAC アドレスごとに DHCP サーバが配布する IP アドレスを固定することができます。

「DHCP サーバ設定」で設定した「割り当て個数」の内、最大 50 件までの設定が可能です。

- 1 メニューフレームから、詳細設定 → DHCP サーバ設定 → (DHCP サーバ設定画面に表示されている)DHCP 固定 IP アドレス設定 をクリックします。

操作フレームに DHCP 固定 IP アドレス設定画面が表示されます。

DHCP固定IPアドレス設定

ヘルプ ?

トップページ > 詳細設定 > DHCPサーバ設定 > DHCP固定IPアドレス設定

[DHCP固定IPアドレス設定]

特定の端末に固定IPアドレスを配布したい場合は、端末のMACアドレスを設定してください。最大50件まで設定が可能です。

IPアドレス	MACアドレス
192.168.1.2	
192.168.1.3	
192.168.1.4	
192.168.1.5	
192.168.1.6	
192.168.1.7	
192.168.1.8	
192.168.1.9	
192.168.1.10	
192.168.1.11	
192.168.1.12	
192.168.1.13	
192.168.1.14	
192.168.1.15	

● [MAC アドレス]

DHCP サーバが配布する IP アドレスを固定したい端末の MAC アドレスを入力します。



お知らせ

MACアドレス入力の際は2桁ごとにコロンを付けて入力します。
(例 : 00:12:34:00:00:01)

2 **設定** をクリックします。

設定内容が保存され、有効になります。

5-9 静的NAT設定

パケット中継時にポート番号の変換を行わない場合に設定します。ここで登録したポート番号を持つパケットについては、IP アドレスの変換のみが行われます。インターネット上の対戦ゲームや電子会議のようなネットワークアプリケーションを使用する場合には、そのアプリケーションが使うポート番号を変換しないよう設定することにより、使用可能となることがあります。（アプリケーションの仕様に依存します。）



お願い

- ・ポート番号も含めて変換したい場合は、「5-10 静的 IP マスカレード設定」(p. 144) から設定を行ってください。
- ・エントリ番号 1~4 は、ワンタッチ設定で使用されます。アドレス変換（ポート指定）の個別設定は、できるだけエントリ番号 1~4 には設定しないようにしてください。ワンタッチ設定を後から行くと、ワンタッチ設定の内容で上書きされます。
- ・CTU でも同様の設定が必要になることがあります。
詳しくは最新の『加入者網終端装置（CTU）ガイドブック』をご参照ください。

1 メニューフレームから、詳細設定 → 静的 NAT 設定をクリックします。

操作フレームに静的 NAT 設定画面が表示されます。

静的NAT設定

ヘルプ ?

トップページ > 詳細設定 > 静的NAT設定

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

☐ Webサーバを外部に公開する
WebサーバのIPアドレス

☐ FTPサーバを外部に公開する
FTPサーバのIPアドレス

☐ 外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する(簡易DMZ) [セキュリティに注意]
特定ホストのIPアドレス

設定

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

エントリー番号	優先順位	宛先IPアドレス	変換対象IPアドレス	変換対象プロトコル	変換対象ポート
1					
2					
3					
4					
5					
6					

- [Web サーバを外部に公開する]
LAN 側に設置した Web サーバに外部からアクセスできるようにします。
Web サーバとして動作させる端末の IP アドレスを入力します。
- [FTP サーバを外部に公開する]
LAN 側に設置した FTP サーバに外部からアクセスできるようにします。
FTP サーバとして動作させる端末の IP アドレスを入力します。
- [外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (簡易 DMZ)]
LAN 側に設置した 1 台の IP 端末に外部からのすべてのパケットを中継します。
LAN 側の IP 端末の IP アドレスを入力します。



お知らせ

外部からのパケットをすべて中継するため、NAT機能によるセキュリティの効果はなくなります。外部からの不正アクセスには十分ご注意ください。

- 2** 使用するワンタッチ設定のチェックボックスを選択し、公開する IP アドレスを入力した後で、**設定** をクリックします。

ワンタッチ設定の内容が保存され、反映されます。

- 3** 設定を行うエントリ番号の **数字** をクリックします。

静的 NAT 設定画面が表示されます。

静的NAT設定

ヘルプ ?

トップページ > 詳細設定 > 静的NAT設定 > エントリ編集

エントリ番号 1

優先順位 (0:使用しない)

宛先IPアドレス

変換対象IPアドレス ☒ 自分のWAN側IPアドレス
☐ IPアドレス指定

変換対象プロトコル TCP

変換対象ポート ((最小値-最大値)の書式で入力)

エントリ番号	優先順位	宛先IPアドレス	変換対象IPアドレス	変換対象プロトコル	変換対象ポート
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

- [優先順位]
1～99 の数値で入力します。
「0」を入力するとその設定が無効になります。
値が小さいほど優先順位が高くなります。同一の優先順位を複数入力することはできません。(「0」は除く)
- [宛先 IP アドレス]
使用する LAN 側の端末の IP アドレスを入力します。
- [変換対象 IP アドレス]
変換対象となる WAN 側の IP アドレスを指定します。
WAN 側からはこの IP アドレスを指定して LAN 側の端末にアクセスできます。

● [変換対象プロトコル]

変換対象となるプロトコルを次から選択します。

- ・ TCP
- ・ UDP
- ・ TCP と UDP 両方
- ・ ICMP
- ・ 全プロトコル（共有）



お知らせ

「全プロトコル（共有）」を選択した場合は、外部からのアクセスは設定されたアドレスの端末のみ可能ですが、設定したアドレス以外の端末からもインターネットへのアクセスを行うことができます。

● [変換対象ポート]

ポート番号を 1～65535 の数値で入力します。範囲指定したい場合は、最小値と最大値を「-」（半角ハイフン）でつないでください。



お知らせ

- ・ プロトコルに次のいずれかを選択した場合のみ、ポート番号の入力を行ってください。
 - TCP
 - UDP
 - TCPとUDP両方

- ・ 次のポート番号は名称で入力することができます。ただし、名称で入力した場合は範囲指定することができません。

21	:ftp	20	:ftpdata	23	:telnet
25	:smtp	53	:domain	80	:www
110	:pop3	111	:sunrpc	119	:nntp
123	:ntp	513	:login	520	:route
1723	:pptp				

4 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、反映されます。



お知らせ

- ・ **削除** をクリックすると、選択された番号の設定が削除されます。また、**戻る** をクリックした場合、入力した値は反映されず静的NAT設定の一覧画面に戻ります。
- ・ 静的NAT設定の設定/変更/削除を行った時点で、設定した内容が動作に反映されるため、その時点で通信しているセッションが途切れることがあります。
- ・ 静的NAT設定は、最大64件まで設定できます。

5-10 静的IPマスカレード設定

パケットの中継時にポート番号を別のポート番号に固定的に変換する場合に設定します。LAN 側に接続された端末の上で実行中の特定のアプリケーションを WAN 側に公開する場合などに使用します。パケットの持つポート番号を変換しない設定は「5-9 静的 NAT 設定」にて行ってください。 (👉 p. 140)

- 1 メニューフレームから、詳細設定 → 静的 IP マスカレード設定 をクリックします。

操作フレームに静的 IP マスカレード設定画面が表示されます。

静的IPマスカレード設定

ヘルプ ?

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定

NAPTテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換に加えて、ポート番号を固定的に変換する場合に使用します。
設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

エントリ番号	優先順位	宛先IPアドレス	変換対象IPアドレス	変換対象プロトコル	宛先ポート	変換対象ポート
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						

2 設定を行う[エントリ番号]欄の 数字 をクリックします。

操作フレームに静的 IP マスカレード設定画面が表示されます。

静的IPマスカレード設定

ヘルプ ?

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定 > エントリ編集

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

エントリ番号

1

優先順位

(0使用しない)

宛先IPアドレス

変換対象IPアドレス

☒ 自分のWAN側IPアドレス
☐ IPアドレス指定

変換対象プロトコル

TCP

宛先ポート

変換対象ポート

設定

戻る

エントリ番号	優先順位	宛先IPアドレス	変換対象IPアドレス	変換対象プロトコル	宛先ポート	変換対象ポート
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						

- [優先順位]
0～99 の数値で入力します。
「0」を入力するとその設定が無効になります。
値が小さいほど優先順位が高くなります。
同一の優先順位を複数入力することはできません。（「0」は除く）
- [宛先 IP アドレス]
使用する LAN 側の端末の IP アドレスを入力します。
- [変換対象 IP アドレス]
変換対象となる WAN 側の IP アドレスを指定します。
WAN 側からはこの IP アドレスを指定して LAN 側の端末にアクセスできます。
- [変換対象プロトコル]
変換対象となるプロトコルを次から選択します。
 - ・ TCP
 - ・ UDP
 - ・ TCP と UDP 両方

- [宛先ポート]
- [変換対象ポート]
ポート番号を 1~65535 の数値で入力します。



お知らせ

- ・ 次のポート番号は名称で入力することができます。

21 :ftp	20 :ftpdata	23 :telnet
25 :smtp	53 :domain	80 :www
110 :pop3	111 :sunrpc	119 :nntp
123 :ntp	513 :login	520 :route
1723 :pftp		
- ・ LAN側ポート番号とWAN側ポート番号に同じポート番号を入力した場合は、「5-9 静的NAT設定」を行った場合と同様の動作をします。 (p. 140)

3 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、反映されます。



お知らせ

- ・ **削除** をクリックすると、選択された番号の設定が削除されます。
また、**戻る** をクリックした場合、入力した値は反映されず静的IPマスカレード設定の一覧画面に戻ります。
- ・ 静的IPマスカレード設定の設定/変更/削除を行った時点で、設定した内容が動作に反映されるため、その時点で通信しているセッションが途切れることがあります。
- ・ 静的IPマスカレード設定での設定内容は静的NAT設定の設定内容よりも優先されます。
- ・ 静的IPマスカレード設定は、最大64件まで設定できます。

5-11 その他の設定

IPv6 で通信を行う場合に設定します。

- 1 メニューフレームから、詳細設定 → その他の設定 をクリックします。

操作フレームにその他の設定画面が表示されます。

その他の設定

ヘルプ ?

トップページ > 詳細設定 > その他の設定

IPv6ブリッジ(有線LAN) ☒ 使用する

IPv6ブリッジ(無線LAN) ☒ 使用する

設定

- [IPv6 ブリッジ(有線 LAN)]
有線 LAN で IPv6 ブリッジ機能を使用するかどうか選択します。
(初期値：使用する)
- [IPv6 ブリッジ(無線 LAN)]
無線 LAN で IPv6 ブリッジ機能を使用するかどうか選択します。
(初期値：使用する)

5-12 機器設定用パスワードの変更

本商品へアクセスするためのユーザー名、パスワードを変更します。

- 1 メニューフレームから、メンテナンス → 機器設定用パスワードの変更 をクリックします。

操作フレームに機器設定用パスワードの変更画面が表示されます。

機器設定用パスワードの変更

[ヘルプ ?](#)

トップページ > メンテナンス > 機器設定用パスワードの変更

本商品にログインするためのユーザー名、パスワードを変更することができます。
ユーザー名をクリックしてください。

ユーザー名	
admin	

- 2 登録を変更する ユーザー名 をクリックします。

登録画面が表示されます。

ここでは「admin」を例に説明しています。

機器設定用パスワードの変更

[ヘルプ ?](#)

トップページ > メンテナンス > 機器設定用パスワードの変更

ユーザー名	admin
パスワード	
パスワードの確認入力	

3 登録内容を変更します。



お知らせ

- ・ 32 文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。
ただし、< > ¥ ' " ? & % = : ; @ / は使用できません。
- ・ 大文字と小文字は区別されます。
- ・ パスワードおよびパスワードの確認入力欄の入力文字は、すべて
“●”や“*”に置き換わって表示されます。
- ・ パスワードの確認入力欄で異なるパスワードを入力した場合は、エラー画面が表示されます。
パスワード、パスワードの確認入力欄の入力操作をやり直してください。
- ・ ユーザー名またはパスワードを空白にすることができません。
また、スペースのみで設定することもできません。

4 設定 をクリックします。



お知らせ

- ・ 新しいユーザー名、パスワードが設定されると、別の画面に移るときにネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。新しく設定したユーザー名、パスワードを入力すると、引き続いてWebブラウザによる操作ができます。詳しくは「5-2 設定Web画面の表示」(👉 p. 68)をご参照ください。
- ・ 設定したユーザー名やパスワードを忘れて、本商品へアクセスできなくなった場合は、初期設定で起動することができます。「6-1 本商品の初期化」(👉 p. 184)をご参照ください。

5-13 設定値の保存&復元

これまでに設定した内容は、すべて本商品のフラッシュメモリ内に、設定ファイルとして保存されています。

設定の保存を行うと、これまでに設定した内容をファイルに保存し、その内容で元の設定に戻すことができます。



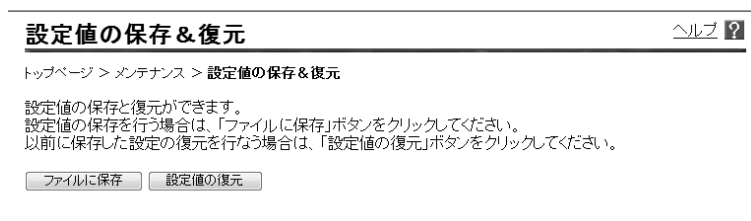
お知らせ

使用している画面表示は、ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって異なりますが、手順や、入力する内容は変わりません。

5-13-1 設定値の保存

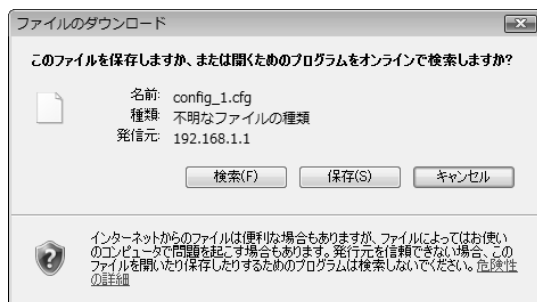
- 1 メニューフレームから、メンテナンス → 設定値の保存&復元 をクリックします。

操作フレームに設定値の保存&復元画面が表示されます。



- 2 ファイルに保存 をクリックします。

確認画面が表示されます。



3 保存 をクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されます。



4 保存する場所を選択し、ファイル名を入力した後、保存(S) をクリックします。

設定値の保存が終了します。



お知らせ

- ・ 設定ファイルのディレクトリ（フォルダ）名、ファイル名には半角英数記号文字を使用し、全角文字および半角カタカナを使用しないでください。設定ファイルが復元できない場合があります。
- ・ ディレクトリ（フォルダ）名やファイル名には、¥ / : * ? " < > | は使用できません。

5-13-2 設定値の復元

- 1 メニューフレームから、メンテナンス → 設定値の保存&復元 をクリックします。

操作フレームに設定値の保存&復元画面が表示されます。

設定値の保存 & 復元

ヘルプ ?

トップページ > メンテナンス > 設定値の保存 & 復元

設定値の保存と復元ができます。
設定値の保存を行う場合は、「ファイルに保存」ボタンをクリックしてください。
以前に保存した設定の復元を行なう場合は、「設定値の復元」ボタンをクリックしてください。

ファイルに保存

設定値の復元

- 2 **設定値の復元** をクリックします。

設定値の復元画面が表示されます。

設定値の復元

ヘルプ ?

トップページ > メンテナンス > 設定値の保存 & 復元 > 設定値の復元

設定ファイルの内容を読み込みます。復元を行うと現在の設定は破棄されます。
「ファイルに保存」ボタンで保存したテキスト形式の設定ファイルを選択してください。

設定ファイルのファイル名とディレクトリ名には、
全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。

設定ファイル

参照...

復元実行

3 参照 をクリックします。

ファイルの選択画面が表示されます。



4 保存した設定ファイルを選択し、開く(O) をクリックします。

「設定ファイル」に選択した設定ファイルが表示されます。

設定値の復元

ヘルプ ?

トップページ > メンテナンス > 設定値の保存&復元 > 設定値の復元

設定ファイルの内容を読み込みます。復元を行うと現在の設定は破棄されます。
「ファイルに保存」ボタンで保存したテキスト形式の設定ファイルを選択してください。

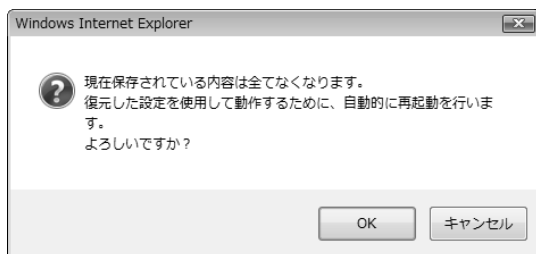
設定ファイルのファイル名とディレクトリ名には、
全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。

設定ファイル C:* (参照...)

復元実行

5 復元実行 をクリックします。

確認画面が表示されます。



6 OK をクリックします。

復元が終了すると自動的に再起動を行い、再表示を促すページが表示されます。

アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。**再表示** をクリックして画面を再表示してください。復元された設定で動作します

お願い

- ・設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のINITランプ（橙色）、アラームランプ（赤色）、CONFIGランプ（橙色）が同時に点滅します。
ランプの点滅が終わり、設定Web画面表示が切り替わるまでは、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。
- ・設定内容を保存したファイルを指定したあとに [Enter] キーを押すと、すぐに復元が実行される場合があります。
ファイルを指定したあとは [Enter] キーを押さずに **復元実行** をクリックしてください。
- ・保存内容を復元する場合は、本商品とパソコンをLANケーブルで接続して復元してください。無線接続の場合、本商品を交換した際にSSID・暗号化などが一致しないため、通信できなくなる可能性があります。
- ・電話使用中は、エラー画面が表示され再起動できません。
(使用後すぐに操作したときでも、再起動できない場合があります。)
その場合は、画面の指示に従いもう一度操作をやり直してください。

お知らせ

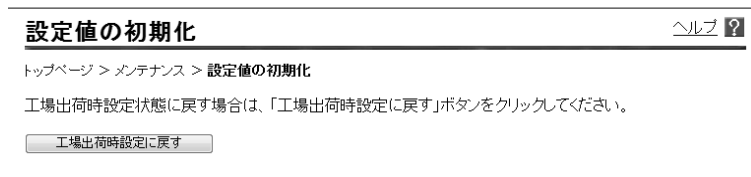
設定内容はすべて復元された設定ファイルにより上書きされます。

5-14 設定値の初期化

設定を間違えてやり直したい場合などに、初期設定に戻すことができます。

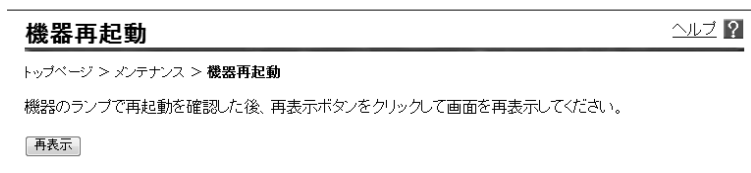
- 1 メニューフレームから、メンテナンス → 設定値の初期化 をクリックします。

操作フレームに設定値の初期化画面が表示されます。



- 2 **工場出荷時設定に戻す** をクリックします。

表示された確認画面の **OK** をクリックすると、本商品が再起動し、初期化が完了します。



STOP お願い

- ・ 設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のINITランプ（橙色）、アラームランプ（赤色）、CONFIGランプ（橙色）が同時に点滅します。
ランプの点滅が終わり、設定Web画面表示が切り替わるまでは、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。
- ・ 電話使用中は、エラー画面が表示され再起動できません。
(使用後すぐに操作したときでも、再起動できない場合があります。)
その場合は、画面の指示に従いもう一度操作をやり直してください。

- 3 **再表示** をクリックします。

アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。

5-15 ファームウェア更新

本商品のファームウェア更新に関する設定をします。



お知らせ

- ・説明に使用している画面は、ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって異なりますが、手順や入力する内容は変わりません。
- ・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、本商品のファームウェアの更新は実行されません。使用後から一定時間が過ぎてから、ファームウェアの更新が実行されます。

また、ファームウェア更新の要求後に、ひかり電話を一定時間以上継続して使用している場合は、ファームウェア更新が実行されないことがあります。ひかり電話の使用後、一定時間が過ぎてから再度ファームウェアの更新を実行してください。

5-15-1 アップデート設定

ファームウェアの更新方法を設定します。

- 1 メニューフレームから、メンテナンス → ファームウェア更新 をクリックします。

操作フレームにファームウェア更新画面が表示されます。

ヘルプ ?

ファームウェア更新

トップページ > メンテナンス > ファームウェア更新

[現在のバージョン]

現在のファームウェアバージョン 00.00.00

[ファイル指定]

ファームウェアのファイル名・ディレクトリ名には、
全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。

ファームウェアファイル

[アップデート設定]

☒ 自動更新

更新がある場合は指定された時間から
1時間以内に更新を実行します。

自動更新時間 05:00 ▼

☐ 手動更新

更新がある場合は本画面よりファームウェア更新操作を行うか、
もしくは電話機からのPB操作(***11)により更新を実行します。

- 2 「アップデート設定」の方法を設定します。



お知らせ

・初期値は「自動更新」が設定されています。

- ・自動更新：バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを確認後、設定した自動更新時間から1時間以内に自動的にバージョンアップを実行します。
実行する時刻（00:00～23:00）を設定してください。
- ・手動更新：バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを設定Web画面、または「電話機のハンドセット（受話器）を取り上げた際の音」でお知らせします。
バージョンアップは、「5-15-2 設定Web画面から手動更新」または電話機から実行します。（ p. 159）

3 設定 をクリックします。

設定が反映されました。

設定した方法でファームウェアを更新します。



お願い

ファームウェア更新中は、INITランプ（橙色）、アラームランプ（赤色）、CONFIGランプ（橙色）が同時に点滅します。

このとき本商品の電源は切らないでください。更新中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

5-15-2 設定 Web 画面から手動更新

設定 Web 画面から手動でファームウェアの更新ができます。



お知らせ

- ・説明に使用している画面は、ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって異なりますが、手順や入力する内容は変わりません。
- ・ひかり電話使用中、および使用後の一定時間は、本商品のファームウェアの更新は実行されません。使用後から一定時間が過ぎてから、ファームウェアの更新が実行されます。
また、ファームウェア更新の要求後に、ひかり電話を一定時間以上継続して使用している場合は、ファームウェア更新が実行されないことがあります。ひかり電話の使用後、一定時間が過ぎてから再度ファームウェアの更新を実行してください。

1 メニューフレームから、メンテナンス → ファームウェア更新 をクリックします。

操作フレームにファームウェア更新画面が表示されます。

ファームウェア更新		ヘルプ ?
トップページ > メンテナンス > ファームウェア更新		
[現在のバージョン] 現在のファームウェアバージョン 5.51		
[ファイル指定] ファームウェアのファイル名・ディレクトリ名には、 全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。 ファームウェアファイル 参照...		
更新		
[アップデート設定]		
☒ 自動更新	更新がある場合は指定された時間から 1時間以内に更新を実行します。 自動更新時間 01:00 ▼	
☐ 手動更新	更新がある場合は本画面よりファームウェア更新操作を行うか、 もしくは電話機からのPB操作(***11)により更新を実行します。	
設定		
[手動アップデート] 現在のファームウェア状態: 新しい更新はありません。		
更新確認	ファームウェア更新	

2 更新確認 をクリックします。

当社サーバ上に最新のファームウェアを検知した場合、次のようなメッセージが表示されます。

【手動アップデート】

現在のファームウェア状態: 新しい更新があります。電話が使用されていないことを確認の上、ファームウェア更新を実施してください。

更新確認

ファームウェア更新

3 ファームウェア更新 をクリックします。

ファームウェアの更新が始まり、次のようなメッセージが表示されます。

ファームウェア更新

トップページ > メンテナンス > ファームウェア更新

ファームウェアの更新処理を開始しています。

【ご注意】

ファームウェア更新中(は本商品の電源を切らないでください。
またWebの操作も行わないでください。

ファームウェアの更新処理中は、本商品の「アラームランプ」(赤)、「INITランプ」(橙)、「CONFIGランプ」(橙)が点滅します。
数分後にファームウェア更新が完了し、本商品の「アラームランプ」(赤)、「INITランプ」(橙)、「CONFIGランプ」(橙)は消灯します。

ファームウェア更新後、トップページへ戻るボタンをクリックして画面を再表示してください。

トップページへ戻る

4 トップページへ戻る をクリックします。

ファームウェアの更新が終了しました。

STOP

お願い

ファームウェア更新中は、INITランプ（橙色）、アラームランプ（赤色）、CONFIGランプ（橙色）が同時に点滅します。

このとき本商品の電源は切らないでください。

更新中に電源を切ると、本商品が動作しくなくなります。

5-15-3 ファイルを指定して手動更新

バージョンアップお知らせ機能 (👉 p. 187) や、設定 Web 画面 (👉 p. 159) で当社サーバ上のファームウェアを検知できない場合、当社ホームページからファームウェアをダウンロードして、接続したパソコンから手動でファームウェアのバージョンアップができます。

バージョンアップ用のファームウェアファイルは当社ホームページ (👉 巻末) にて公開しています。



お知らせ

- ・通常は「バージョンアップお知らせ機能」を使用して最新ファームウェアの確認、バージョンアップをしてください。(👉 p. 187)
- ・説明に使用している画面は、ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって異なりますが、手順や入力する内容は変わりません。

1 最新のファームウェアを当社ホームページからダウンロードします。

2 最新のファームウェアをパソコン上の適当なディレクトリ(フォルダ)に置きます。



お願い

ファームウェアファイルのディレクトリ(フォルダ)名には半角英数記号文字を使用し、全角文字および半角カナを使用しないでください。ファームウェアのバージョンアップができないことがあります。

3 メニューフレームから、メンテナンス → ファームウェア更新 をクリックします。

操作フレームにファームウェア更新画面が表示されます。

ファームウェア更新

ヘルプ ?

トップページ > メンテナンス > ファームウェア更新

[現在のバージョン]
現在のファームウェアバージョン 0.0.0

[ファイル指定]
ファームウェアのファイル名・ディレクトリ名には、
全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。
ファームウェアファイル [参照...](#)

[更新](#)

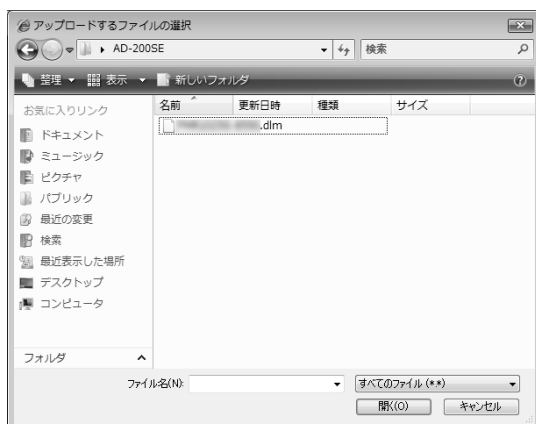
[アップデート設定]

- ☒ 自動更新 更新がある場合は指定された時間から1時間以内に更新を実行します。
自動更新時間 05:00 ▾
- ☐ 手動更新 更新がある場合は本画面よりファームウェア更新操作を行うか、もしくは電話機からのPB操作(***11)により更新を実行します。

[設定](#)

4 参照 をクリックします。

ファイルの選択画面が表示されます。

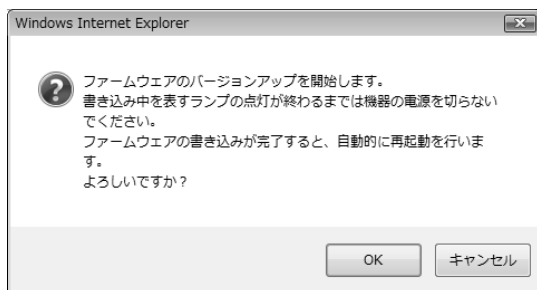


5 ファームウェアファイルを選択し、**開く** をクリックします。

ファームウェア更新画面に戻ります。

6 **更新** をクリックします。

確認画面が表示されます。



7 **OK** をクリックします。

バージョンアップが開始され、完了すると自動的に再起動します。



お願い

ファームウェア更新中は、INITランプ（橙色）、アラームランプ（赤色）、CONFIGランプ（橙色）が同時に点滅します。
このとき本商品の電源は切らないでください。
更新中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。



お知らせ

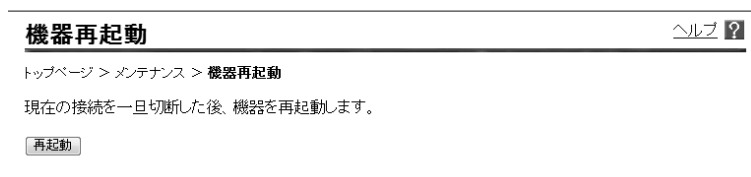
本商品には、補助記憶装置としてフラッシュメモリを内蔵しています。各種設定内容やファームウェアは、フラッシュメモリに書き込むことで電源供給が途切れても内容が保持されます。

5-16 機器再起動

設定 Web 画面から本商品を再起動することができます。

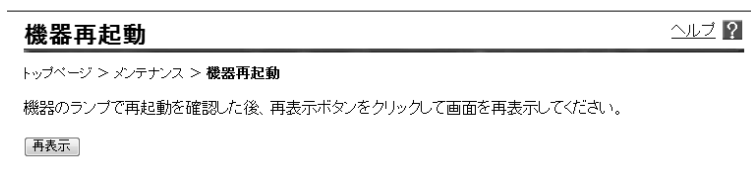
1 メニューフレームから、メンテナンス → 機器再起動 をクリックします。

操作フレームに機器再起動画面が表示されます。



2 再起動 をクリックします。

本商品の再起動中の画面が表示され、本商品が再起動します。



お知らせ

- ・再起動中は、本商品にアクセスできません。
- ・電話使用中は、エラー画面が表示され再起動できません。
(使用後すぐに操作したときでも、再起動できない場合があります。)
その場合は、画面の指示に従いもう一度操作をやり直してください。

3 アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。再表示 をクリックします。

5-17 NATテーブル消去

NAT エントリは 4,096 件まで自動的に登録されます。

4,096 件を超えて NAT 変換を行った通信はできません。その場合は、NAT エントリを消去することにより、新しい通信ができるようになります。

- 1 メニューフレームから、メンテナンス → NAT テーブル消去 をクリックします。

操作フレームに NAT テーブル消去画面が表示されます。

NATテーブル消去	ヘルプ ?
トップページ > メンテナンス > NATテーブル消去	
NATテーブルの消去を行います。	
消去	
※消去を行った場合、一時的にすべての通信が不通となります。	

- 2 **消去** をクリックします。

データが消去されます。

NATテーブル消去	ヘルプ ?
トップページ > メンテナンス > NATテーブル消去	
NATテーブルの消去を行いました。	
戻る	

STOP お願い

NAT テーブル消去を行うと、これまでに記憶されていた NAT エントリはすべて消去され、一時的にすべての通信ができなくなります。

5-18 UPnP NAT情報消去

UPnP により設定された、NAT 情報が 200 件まで登録されます。

(UPnP NAT 情報登録件数を確認したい場合は、UPnP NAT 設定情報画面 (👉 p. 181) より確認してください。)

200 件を超えて UPnP NAT 情報を登録しての通信はできません。この場合は、UPnP NAT 情報エントリを消去することにより、新しい通信ができるようになります。

1 メニューフレームから、メンテナンス → UPnP NAT 情報消去 をクリックします。

操作フレームに UPnP NAT 情報消去画面が表示されます。

UPnP NAT情報消去

ヘルプ ?

トップページ > メンテナンス > UPnP NAT情報消去

UPnPにより設定されたNAT情報の消去を行います。

消去

※消去を行った場合、一時的にすべての通信が不通となります。

2 消去 をクリックします。

すべての UPnP NAT 設定情報が消去されます。

UPnP NAT情報消去

ヘルプ ?

トップページ > メンテナンス > UPnP NAT情報消去

UPnP NAT情報の消去を行いました。

戻る



お知らせ

UPnP NAT情報消去を行うと、これまでに登録されていたUPnP NAT情報エントリはすべて消去され、一時的にインターネットに対するすべての通信ができなくなります。

5-19 現在の状態

本商品の装置情報や設定内容を表示します。

1 メニューフレームから、**情報** → **現在の状態** をクリックします。

操作フレームに現在の状態画面が表示されます。

現在の状態

ヘルプ ?

トップページ > 情報 > 現在の状態

現在の時刻: 2009/02/17 14:33:43

[商品情報]

MACアドレス 00:0C:8C:00:00:00

[DHCPクライアント取得情報]

IPアドレス/マスク長 192.168.1.1/24

リース時間 -

DHCP再取得

[PCカード情報]

無線LAN状態 通信中

動作モード IEEE802.11g/IEEE802.11b互換

使用チャネル 1

[機器状態情報]

動作モード 光プレミアムモード

リンク状態

WAN 通信中 (100Mbps 全二重)

LAN1 停止中

LAN2 通信中 (100Mbps 全二重)

LAN3 停止中

LAN4 停止中

ハードウェア状態 正常

[電話情報]

電話状態 使用可能

● [商品情報]

本商品の MAC アドレスが表示されます。

● [DHCP クライアント取得情報]

WAN 側の DHCP サーバから取得した情報が表示されます。

IP アドレスを取得している場合は **DHCP 再取得** をクリックすることで、IP アドレスを再取得することができます。

また、IP アドレスが未取得の場合は **最新の状態に更新** ボタンをクリックすることで、IP アドレスが取得できているかの確認ができます。

● [PC カード情報]

・無線 LAN 状態

無線 LAN の通信状態が表示されます。

通信中 接続が確立しています。動作モード (IEEE802.11g 固定モード、IEEE802.11b 固定モード、IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換モード、IEEE802.11a 固定モード)、使用チャネルも合わせて表示されます。

停止中 接続機器との接続が確立していません。

異常 何らかの異常が発生し、停止しています。

無線 LAN カードなし
無線 LAN カード (SC-32SE) が取り付けられていません。

● [機器状態情報]

・動作モード

本商品の現在の動作モードを表示します。

・リンク状態

インタフェースのリンク状態が表示されます。

通信中 接続が確立しています。動作モード (10Mbps/100Mbps、全二重/半二重) も合わせて表示されます。

停止中 接続機器との接続が確立していません。

異常 何らかの異常が発生し、停止しています。

・ハードウェアの状態

本商品のハードウェアの状態が表示されます。

正常 ハードウェアに問題はありません。

異常 何らかの異常が検知されています。

● [電話情報]

ひかり電話サーバへの接続、登録状態が表示されます。

使用不可 ひかり電話サーバへの登録に失敗しています。

接続待ち ひかり電話サーバへの接続に失敗しています。

接続中 ひかり電話サーバに接続中です。

使用可能 ひかり電話サーバへの登録が正常に行われました。

5-20 イベントログ

起動直後からメモリ上に蓄積されているログの内容が、最新のものから順に表示されます。



お知らせ

- ・最大100件までのログが蓄積されます。
100件を越えると、古いものから順に削除されます。
- ・本商品起動時点を0時とする相対時刻で表示されている場合があります。
ひかり電話設定情報を取得することで、正しい時刻が設定されます。
( p. 32)
- ・ひかり電話設定情報を取得する前に再起動を繰り返した場合、1970年を起点とした日時でログが残ることがありますが、異常ではありません。

1 メニューフレームから、情報 → イベントログ をクリックします。

操作フレームにイベントログ画面が表示されます。

イベントログ		ヘルプ ?
トップページ > 情報 > イベントログ		
発生日時	ログ	
2009/02/17 14:02:20	LANインタフェース リンクアップ	
2009/02/17 13:43:53	LANインタフェース リンクダウン	
2009/02/17 12:05:49	LANインタフェース リンクアップ	
2009/02/17 12:05:47	LANインタフェース リンクダウン	
2009/02/17 11:24:56	電話使用可能	
2009/02/17 11:24:41	DHCPアドレス取得	
2009/02/17 11:24:39	WANインタフェース リンクアップ	
2009/02/17 11:24:38	LANインタフェース リンクアップ	
2009/02/17 11:24:36	機器再起動	
2009/02/17 11:24:20	設定情報を保存	
2009/02/17 11:23:47	DHCPアドレス取得	
2009/02/17 11:23:45	WANインタフェース リンクアップ	
2009/02/17 11:23:44	LANインタフェース リンクアップ	
2009/02/17 11:23:42	機器再起動	

5-21 発信履歴

本商品から発信した相手の電話番号や発信時刻などの履歴情報が表示されます。

- 1 メニューフレームから、**情報** → **通話ログ** → **発信履歴** をクリックします。

操作フレームに発信履歴画面が表示されます。

発信履歴							ヘルプ ?
トップページ > 情報 > 通話ログ > 発信履歴							
No.	発信日時		通話開始日時		切断日時	IP種別	メディア種別
	切断源	切断理由	相手先番号	指定着信番号	発信番号	内線番号	ニックネーム
1	2009/02/17 15:09:07	15:09:07	2009/02/17 15:09:07	2009/02/17 15:09:07	2009/02/17 15:09:12	IPv4	音声
	自切断	-	117	-		2	TEL2
2	2009/02/17 15:01:24	15:01:24	2009/02/17 15:01:30	2009/02/17 15:01:30	2009/02/17 15:01:41	IPv4	音声
	接続先切断	-		-		1	TEL1



お知らせ

- ・ 発信履歴は、電源を切ると登録データが消去されます。
- ・ 最大100件までのログが蓄積されます。
100件を超えると、古いものから順に削除されます。

5-22 着信履歴

本商品で着信した相手の電話番号や着信時刻などの履歴情報が表示されます。

- 1 メニューフレームから、**情報** → **通話ログ** → **着信履歴** をクリックします。

操作フレームに着信履歴画面が表示されます。

着信履歴								ヘルプ ?
トップページ > 情報 > 通話ログ > 着信履歴								
No.	着信日時		通話開始日時		切断日時		IP種別	メディア種別
	切断源	切断理由	相手先番号	着信番号	指定着信番号	内線番号	ニックネーム	
1	2009/02/17 15:05:59	15:05:59	2009/02/17 15:06:13	2009/02/17 15:06:18	2009/02/17 15:06:18	2	IPv4	音声
	自切断	-			-	2		TEL2
2	2009/02/17 15:00:39	15:00:39	2009/02/17 15:00:46	2009/02/17 15:00:55	2009/02/17 15:00:55	1	IPv4	音声
	接続先切断	-			-	1		TEL1



お知らせ

- ・着信履歴は、電源を切ると登録データが消去されます。
- ・最大100件までのログが蓄積されます。
100件を超えると、古いものから順に削除されます。

5-23 内線履歴

本商品に接続された内線端末同士の通話履歴が表示されます。

- 1 メニューフレームから、**情報** → **通話ログ** → **内線履歴** をクリックします。

操作フレームに内線履歴画面が表示されます。

ヘルプ ?

内線履歴

トップページ > 情報 > 通話ログ > 内線履歴

No.	発信日時	通話開始日時		切断日時	IP種別	メディア種別	
	切断源	切断理由	通信種別	着信内線番号	着信ニックネーム	発信内線番号	発信ニックネーム
1	2008/02/17 14:58:34		2008/02/17 14:58:39	2008/02/17 14:58:43		-	音声
	アナログ端末側切断	-	内線通話	2	TEL2	1	TEL1
2	2008/02/17 14:57:59		2008/02/17 14:58:12	2008/02/17 14:58:16		-	音声
	アナログ端末側切断	-	内線通話	1	TEL1	2	TEL2



お知らせ

- ・内線履歴は、電源を切ると登録データが消去されます。
- ・最大100件までのログが蓄積されます。
100件を超えると、古いものから順に削除されます。

5-24 DHCPサーバ払い出し状況

DHCP サーバから払い出された情報が表示されます。

- 1 メニューフレームから、**情報** → **DHCPサーバ払い出し状況** をクリックします。

操作フレームに DHCP サーバ払い出し状況画面が表示されます。

DHCPサーバ払い出し状況ヘルプ ?

トップページ > 情報 > DHCPサーバ払い出し状況

[配布情報]

DNSサーバアドレス 192.168.1.1
SIPサーバアドレス 192.168.1.1
内線REGISTERドメイン -

[払い出し状況]

現在の払い出し件数: 1/253
現在の時刻: 2009/02/17 15:19:22

IPv4アドレス/マスク長 MACアドレス リース時間

192.168.1.4/24 00:11:32:88:79:27 2009/02/17 15:00:00

● [配布状況]

- ・ DNS サーバアドレス
DHCP サーバの DNS サーバアドレスが表示されます。
- ・ SIP サーバアドレス
DHCP サーバの SIP サーバアドレスが表示されます。
- ・ 内線 REGISTER ドメイン
DHCP サーバの内線 REGISTER ドメインが表示されます。

● [払い出し状況]

- ・ 現在の払い出し件数
DHCP サーバの払い出し件数が表示されます。
- ・ 現在の時刻
現在時刻が表示されます。
- ・ IPv4 アドレス/マスク長
IPv4 アドレスとマスク長が表示されます。
- ・ MAC アドレス
MAC アドレスが表示されます。
- ・ リース時間
リース時間が表示されます。

5-25 更新ログ

本商品で実施されたファームウェア更新のログが表示されます。

ログは最新のものから順に最大 20 件表示されます。

時刻の設定が行われていない場合には、機器起動時点を 0 時とする相対時刻が表示されます。

時刻の設定が行われている場合には、絶対時刻が表示されます。

1 メニューフレームから、情報 → 更新ログ をクリックします。

操作フレームに更新ログ画面が表示されます。

更新ログ					ヘルプ ?
トップページ > 情報 > 更新ログ					
実行日時	結果	旧バージョン	新バージョン	要因	更新種別
2009/04/06 15:59:24	OK	00.00	00.00	ファーム正常	ローカルファーム更新
2009/04/06 15:54:48	OK	00.00	00.00	ファーム正常	ローカルファーム更新
2009/04/06 15:49:54	OK	00.00	00.00	ファーム正常	ローカルファーム更新



お知らせ

最大20件までのログが表示されます。

20件を超えると、古いものから順に削除されます。

5-26 通信ログ

本商品と各サーバとの通信ログが表示されます。

1 メニューフレームから、情報 → 通信ログ をクリックします。

操作フレームに通信ログ画面が表示されます。

通信ログ					ヘルプ ?
トップページ > 情報 > 通信ログ					
発生日時	種別	結果	要因	回数	追加情報
2009/02/17 15:50:25	VerUP 通知サーバ	OK	正常終了(200)	0	2009/02/17 15:50:25 VerUP 通知サーバ 正常終了(200)
2009/02/17 15:50:18	自動設定サーバ	OK	正常終了(200)	0	2009/02/17 15:50:18 自動設定サーバ 正常終了(200)



お知らせ

- ・通信ログは、電源を切ると登録データが消去されることがあります。
- ・最大100件までのログが表示されます。
100件を超えると、古いものから順に削除されます。
- ・本商品起動時点を0時とする相対時刻で表示されている場合があります。
ひかり電話設定情報を取得することで、正しい時刻が設定されます。
( p. 32)

5-27 セキュリティログ

本商品が起動直後からメモリ上に蓄積しているセキュリティに関するログの内容が表示されます。セキュリティログは以下のようなパケットの受信記録です。

- ・ 外部から受信したパケットのうち、静的 NAT 設定、静的 IP マスカレード設定によって廃棄したパケット
- ・ 外部から受信したパケットのうち、本商品へのアクセスを拒否したパケット

1 メニューフレームから、**情報** → **セキュリティログ** をクリックします。

操作フレームにセキュリティログ画面が表示されます。

セキュリティログ					ヘルプ ?
トップページ > 情報 > セキュリティログ					
受信時間	送信元IPアドレス/ポート	宛先IPアドレス/ポート	プロトコル	アクション	
2009/02/17 16:49:38	192.168.24.64/138	192.168.24.255/138	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:46:45	192.168.24.53/138	192.168.24.255/138	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:46:28	192.168.24.66/137	192.168.24.255/137	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:45:18	192.168.24.73/138	192.168.24.255/138	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:45:18	192.168.24.73/138	192.168.24.255/138	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:43:48	192.168.24.55/138	192.168.24.255/138	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:41:16	192.168.24.55/137	192.168.24.255/137	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:41:16	192.168.24.53/138	192.168.24.255/138	UDP	廃棄[NAT]	
2009/02/17 16:39:34	192.168.24.64/137	192.168.24.255/137	UDP	廃棄[NAT]	



お知らせ

- ・ 最大100件までのログが表示されます。
100件を超えると、古いものから順に削除されます。
- ・ セキュリティログは、電源を切ると登録データが消去されます。

ログ内容により UPnP の状態変化を知ることができます。

1 メニューフレームから、**情報** → **UPnP ログ** をクリックします。

操作フレームに UPnP ログ画面が表示されます。

UPnPログ							ヘルプ ?
トップページ > 情報 > UPnPログ							
時間	要求元IPアドレス	要求内容	状態	サービスホスト	プロトコル	内部ポート番号	
2009/02/18 09:22:56	192.168.1.4	サービスの削除	無効	192.168.1.4	TCP	42193	
2009/02/18 09:22:56	192.168.1.4	サービスの更新	無効	192.168.1.4	TCP	42193	
2009/02/18 09:22:56	192.168.1.4	サービスの登録	有効	192.168.1.4	TCP	42193	



お知らせ

最大100件までのログが表示されます。

100件を超えると、古いものから順に削除されます。

● [時間]

リクエストを本商品が受け取った時間が表示されます。ログは絶対時間で表示されますが、局側装置によっては絶対時刻ではなく、本商品起動時点を 0 時とする相対時刻で表示される場合もあります。

● [要求元 IP アドレス]

リクエストを送信した IP アドレスが表示されます。

● [要求内容]

リクエストの内容が表示されます。

● [状態]

登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の状態が表示されます。

有効：登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報は使用されている。

無効：登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報は使用されていない。

● [サービスホスト]

登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の LAN 側 IP アドレスが表示されます。

- [プロトコル]
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報のプロトコルが表示されます。TCP または UDP のいずれかが表示されます。
- [内部ポート番号]
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の LAN 側ポート番号が表示されます。
- [外部ポート番号]
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の WAN 側ポート番号が表示されます。
- [有効期限]
UPnP 用の静的 NAT 設定情報の有効期限が秒数で表示されます。Windows/MSN Messenger から設定される静的 NAT 設定情報はすべて「無期限」が設定されています。

5-29 UPnP コントロールポイントテーブル

UPnP コントロールポイントテーブルの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。

- 1 メニューフレームから、**情報** → **UPnP CP テーブル** をクリックします。

操作フレームに UPnP コントロールポイントテーブル画面が表示されます。

UPnP コントロールポイントテーブル		ヘルプ ?
トップページ > 情報 > UPnP CP テーブル		
IPアドレス	MACアドレス	
192.168.1.4	00:04:00:00:00:00	

最大 16 件まで表示されます。

UPnP を使用する CP は、10 台以下で使用することを推奨します。

ARP の有効期限が切れた場合、MAC アドレスは 00:00:00:00:00:00 で表示されます。

5-30 UPnP NAT設定情報

登録された UPnP NAT 設定の内容を参照できます。

1 メニューフレームから、情報 → UPnP NAT 設定情報 をクリックします。

操作フレームに UPnP NAT 設定情報画面が表示されます。

UPnP NAT設定情報						ヘルプ ?
トップページ > 情報 > UPnP NAT設定情報						
現在の登録件数 : 0/200						
状態	サービスホスト	プロトコル	内部ポート番号	外部ポート番号	有効期限	サービスの説明
有効	192.168.1.7	UDP	9057	52962	無期限	Microsoft Windows Firewall による UPnP

- [現在の登録件数]
UPnP NAT 設定に記憶されている UPnP NAT 設定エントリの件数/最大登録件数が表示されます。
- [状態]
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の状態が表示されます。
有効：登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報は使用されている。
無効：登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報は使用されていない。
- [サービスホスト]
接続先が表示されます。
- [プロトコル]
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報のプロトコルが表示されます。TCP または UDP のいずれかが表示されます。
- [内部ポート番号]
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の LAN 側ポート番号が表示されます。

- [外部ポート番号]
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の WAN 側ポート番号が表示されます。
- [有効期限]
UPnP 用の静的 NAT 設定情報の有効期限が秒数で表示されます。Windows/MSN Messenger から設定される静的 NAT 設定情報はすべて「無期限」が設定されています。
- [サービスの説明]
Windows/MSN や Messenger など、UPnP 対応のソフトウェアによって設定された説明が最大 60 文字で表示されます。

5-31 無線LAN情報

本商品をアクセスポイントとする無線 LAN に接続している無線 LAN 端末の
[ニックネーム] [MAC アドレス]、[動作モード] が表示されます。



お知らせ

[ニックネーム] は無線 LAN 端末を分類する任意の識別名称で、「5-7 無線 LAN 端末設定」(🔗 p.134) で設定することができます。

1 メニューフレームから、**情報** → **無線LAN情報** をクリックします。

操作フレームに無線 LAN 情報画面が表示されます。

無線LAN情報

ヘルプ ?

トップページ > 情報 > 無線LAN情報

[加入している無線LAN端末]

無線LAN端末

ニックネーム MACアドレス 動作モード

IEEE802.11g

2 [加入している無線 LAN 端末]の右側にある **詳細** をクリックします。

加入している無線 LAN 端末の詳細情報が表示されます。

無線LAN情報

ヘルプ ?

トップページ > 情報 > 無線LAN情報 > 無線LAN情報(詳細)

[無線LAN端末]

ニックネーム -

MACアドレス

IPアドレス

動作モード IEEE802.11g

Super AG 無効

無線優先制御(WMM) 有効

無線の暗号化 なし

戻る

6 保守機能

6-1 本商品の初期化

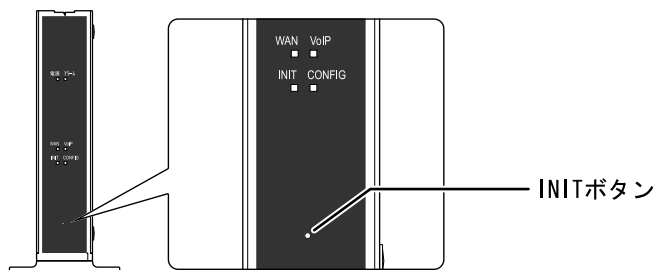
本商品に保存された全設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

- 1 WANポートに接続しているLANケーブルを外します。
- 2 本商品に電源を入れた状態で、本商品前面にある INIT ボタン を約 5 秒間押下します。

前面の INIT ランプ（橙色）、アラームランプ（赤色）、CONFIG ランプ（橙色）が同時に点滅します。

 **お願い**
アラームランプが消灯するまで、本商品の電源を切らないでください。

 **お知らせ**
爪楊枝などの先端の細い棒状のものをご使用ください。



アラームランプが消灯すると初期設定で再起動します。

-  **お知らせ**
- ・再起動が完了した後もINITボタンを押し続けると、本商品は再起動を繰り返します。
 - ・本商品を当社に返却される場合は、手順**2**が完了した状態でご返却ください。
 - ・引き続き、本商品をご使用される場合は、WANポートにLANケーブルを接続してください。

6-2 本商品の再起動

本商品を再起動させます。

再起動は次のような場合に行います。

- 追加番号を契約された場合
- ファームウェアを更新する場合

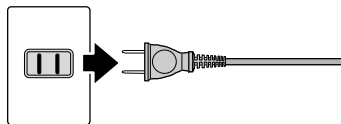


お知らせ

再起動中は通話できません。

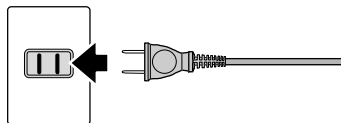
1 電源アダプタをコンセントから引き抜きます。

本商品の電源が切れます。



2 5 秒以上時間をあけて、電源アダプタをコンセントに差し込みます。

自動的に設定が始まります。(👉 p. 32)



6-3 ファームウェアの更新

本商品は「バージョンアップお知らせ機能」により、自動的に最新のファームウェアを確認する機能があります。

ファームウェアの更新方法には次の2つがあります。

- ・手動更新
- ・自動更新

本章では手動更新について説明しています。その他の更新方法については「4-2-14 ファームウェア更新方法」( p. 62)をご参照ください。

ファームウェアとは

ファームウェアとは、本商品の基本的な動作を制御するために組み込まれたソフトウェアのことです。

ファームウェアをバージョンアップすることで、本商品の機能を向上することができます。また、ご利用のひかり電話サービスによっては、古いファームウェアのままお使いいただくと、一部機能が正常に動作しない可能性もあります。

常に最適な状態で機器をご使用いただくために、最新のファームウェアにバージョンアップしながらご使用いただくことをお勧めします。

バージョンアップお知らせ機能とは

本商品の電源投入時、および定期的（1日1回）に、当社のバージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認します。

最新のファームウェアを確認した場合は、以下の方法でお客様に通知します。

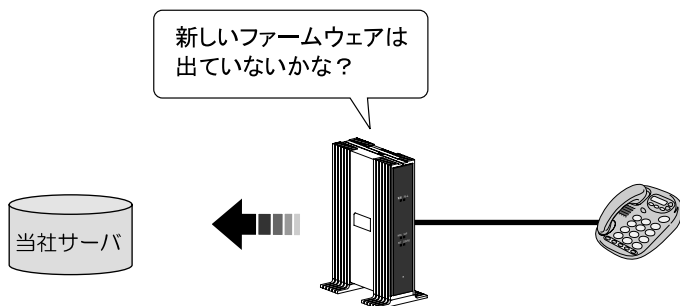
・電話機からの音でお知らせする（ p. 189）

本商品に接続された電話機のハンドセット（受話器）を取り上げた際に、通知音が変わります。（「ピーピーピーピー」という音がDT音（「ツー」）の前に送出されます。）

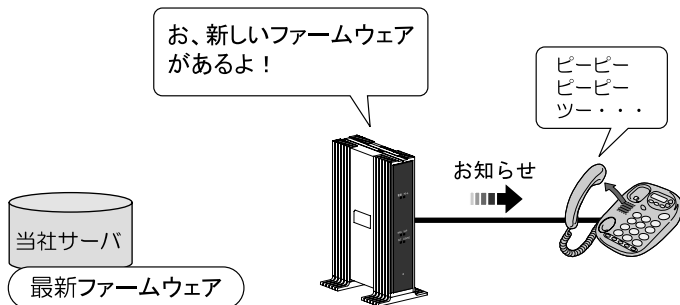
ただし、電源投入時に最新のファームウェアを確認した場合は、お客様に通知することなく、本商品が自動的にファームウェアを更新します。

バージョンアップお知らせ機能の流れ

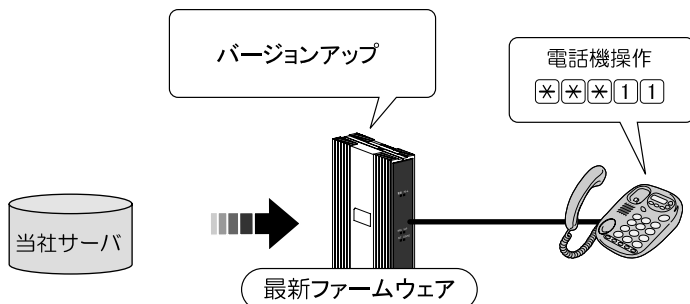
① 最新バージョンの自動確認



② ハンドセット(受話器)から「音」でお知らせ



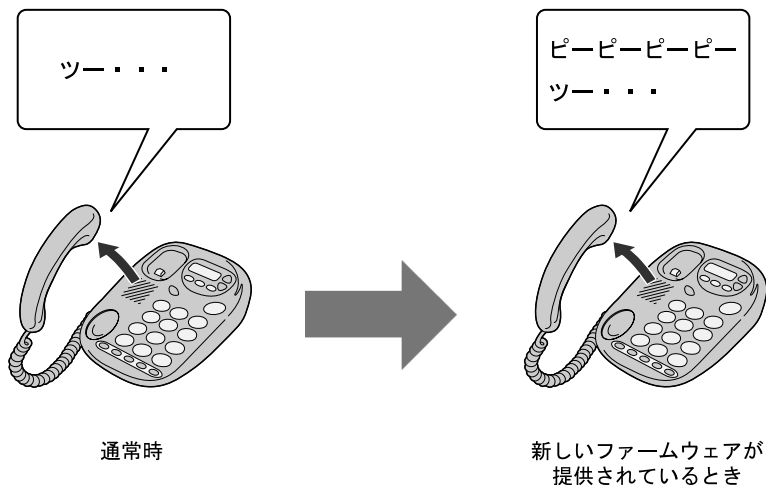
③ 簡単操作でバージョンアップ



6-3-1 ファームウェアの確認

最新のファームウェアが確認されたとき、本商品に接続された電話機やファクスなどのハンドセット（受話器）を取り上げた際に、通知音が変わります。

（「ピーピーピーピー」という音がDT音（「ツー」）の前に送出されます。）



通知音が変わったら、最新のファームウェアを本商品にダウンロードしてください。（ p. 190）



お知らせ

- ・通知音が送出されていても、通常の発信はできます。
- ・ファームウェアの更新が終了すると、通知音は停止します。

6-3-2 ファームウェアの更新

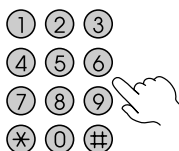
最新のファームウェアを本商品にダウンロードします。



お知らせ

- ・本商品を再起動することでも、自動的にファームウェアが更新されます。(☞ p.164、185)
- ・プッシュホン設定 (PB) の電話機で操作できます。
ダイヤルパルス設定 (DP) の電話機では操作できません。

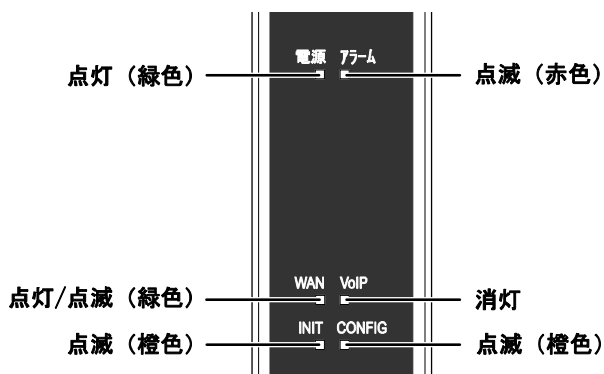
- 1** 本商品に接続した電話機のハンドセット(受話器)を取り上げ、
[*][*][*][1][1]をダイヤルします。



お知らせ

ダイヤル直後にハンドセット (受話器) から「ププ」と音がします。
音が聞こえたらハンドセット (受話器) を置いてください。

2 ファームウェアのダウンロードが始まります。



ファームウェアのダウンロード中は、INIT ランプ (橙色)、アラームランプ (赤色)、CONFIG ランプ (橙色) が同時に点滅します。



お願い

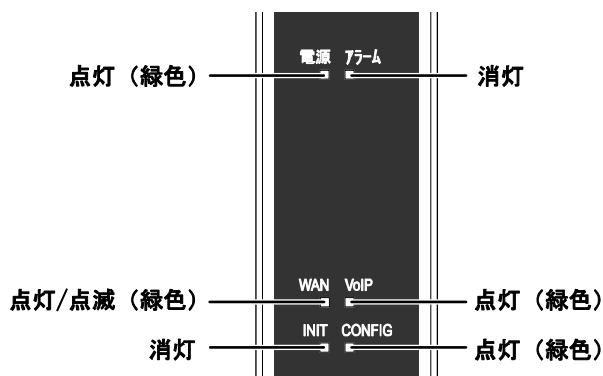
ファームウェア更新中は、INITランプ (橙色)、アラームランプ (赤色)、CONFIGランプ (橙色) が同時に点滅します。

このとき本商品の電源は切らないでください。

更新中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

3 ダウンロードが終了すると、自動的に本商品が再起動します。

電源ランプが点灯し、アラームランプが消灯していれば、本商品は正常に動作しています。



VoIP ランプと CONFIG ランプが点灯していれば、ひかり電話をご利用できます。



お知らせ

- ・ファームウェアの更新が終了すると、通知音は停止します。
- ・ネットワークやサーバの状態によっては、最新のファームウェアの確認やダウンロードに失敗する場合があります。
- ・ファームウェアのダウンロード中、および再起動中は絶対に本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ・ファームウェアの更新処理中はひかり電話はご利用できません。

7 付 録

7-1 パソコンのネットワーク設定

本商品へのアクセスに必要なとなるパソコンのネットワーク設定について記述します。Web ブラウザから本商品にアクセスできない場合、この章を参照してパソコンのネットワーク設定を確認してください。

7-1-1 TCP/IP の設定

本商品にアクセスするために、接続するパソコンの LAN インタフェースに対して、正しく TCP/IP プロトコルの設定を行います。

ここでは、TCP/IP の設定方法についてご使用の OS ごとに説明します。



お知らせ

本商品は、ご使用のパソコンに対して、自動的にIPアドレスなどのTCP/IPに関連する設定を行う機能（DHCPサーバ機能）を持っています。ご使用のパソコンで、IPアドレスやDNSサーバアドレスを自動的に取得できるように設定すれば、本商品にアクセスできます。

パソコンを初期設定でお使いの場合は、ここでの設定は必要ありません。

「7-1-2 IP設定の確認」 (👉 p. 202) へお進みください。

Windows Vista の場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル]をクリックします。

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

- 2 [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター]をクリックします。

[ネットワークとインターネット接続] 画面が表示されます。

- 3 [タスク]欄の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。

[ネットワーク接続] 画面が表示されます。

4 使用するネットワークアダプタ名が表示されている[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

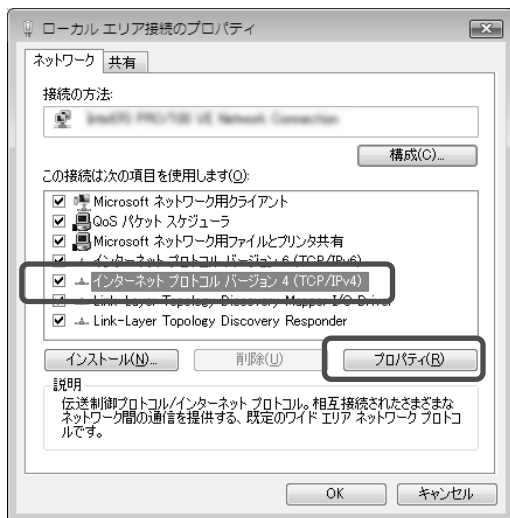
[ユーザアカウント制御] 画面が表示された場合は、**続行** をクリックしてください。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。



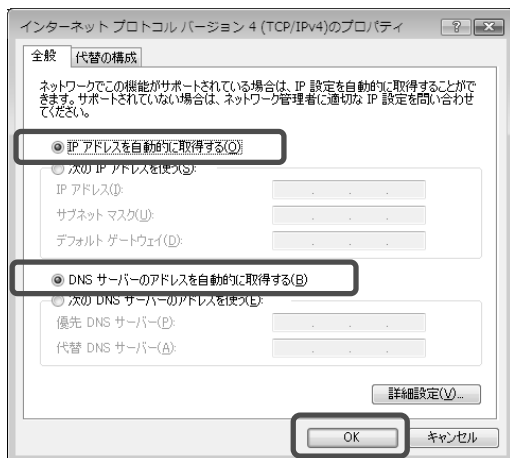
お知らせ

パソコンのLANケーブルが抜けていたり、LANアダプタの動作が有効でない場合は[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面は表示されません。



5 [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し、**プロパティ** をクリックします。

[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ] 画面が表示されます。



6 [IP アドレスを自動的に取得する]と、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択し、**OK** をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

7 **閉じる** をクリックします。

設定が保存され、有効になります。



お知らせ

本項で説明した手順および画面名称は、「コントロールパネル ホーム表示」のものです。

「クラシック表示」をご使用の場合は、手順や選択画面の名称が異なります。

Windows XP の場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル]をクリックします。

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

- 2 「作業する分野を選びます」から[ネットワークとインターネット接続]の
カテゴリをクリックします。

[ネットワークとインターネット接続] 画面が表示されます。

- 3 「コントロールパネルを選んで実行します」から[ネットワーク接続]をク
リックします。

[ネットワーク接続] 画面が表示されます。

- 4 使用するネットワークアダプタ名が表示されている[ローカルエリア接
続]をダブルクリックします。

[ローカルエリア接続の状態] 画面が表示されます。

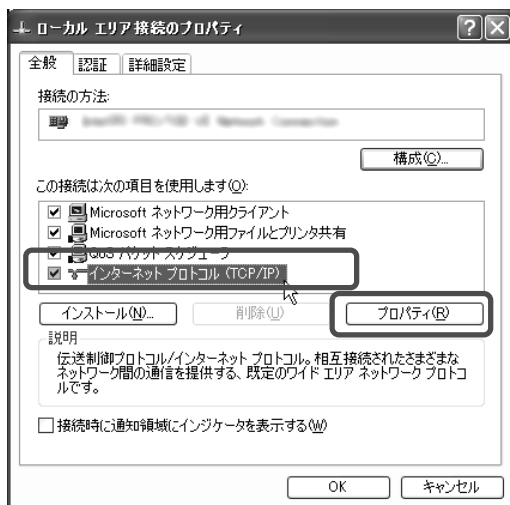


お知らせ

パソコンのLANケーブルが抜けていたり、LANアダプタの動作が有効でない場
合は [ローカルエリア接続の状態] 画面は表示されません。

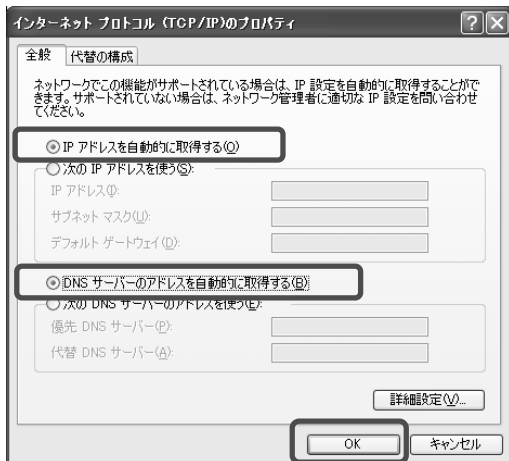
- 5 **プロパティ** をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。



- 6** [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、**プロパティ** をクリックします。

[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面が表示されます。



- 7** [IP アドレスを自動的に取得する]と、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択し、**OK** をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

- 8** **OK** をクリックします。

設定が保存され、有効になります。



お知らせ

本項で説明した手順および画面名称は、「カテゴリ表示」のものです。

「クラシック表示」をご使用の場合は、手順や選択画面の名称が異なります。

Windows 2000 の場合

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル]をクリックします。

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続]のアイコンをダブルクリックします。

[ネットワークとダイヤルアップ接続] 画面が表示されます。

- 3 「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックします。

[ローカルエリア接続 状態] 画面が表示されます。

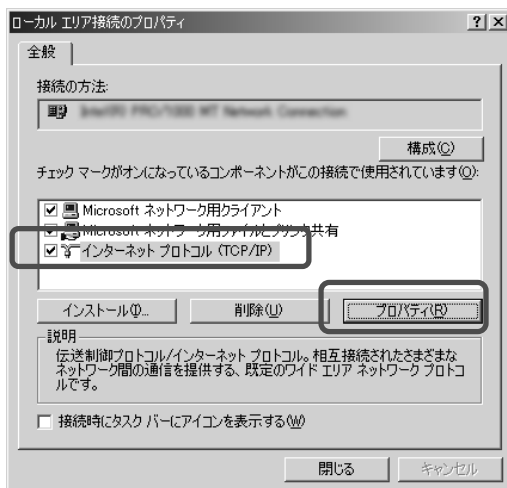


お知らせ

パソコンのLANケーブルが抜けていたり、LANアダプタの動作が有効でない場合は [ローカルエリア接続 状態] 画面は表示されません。

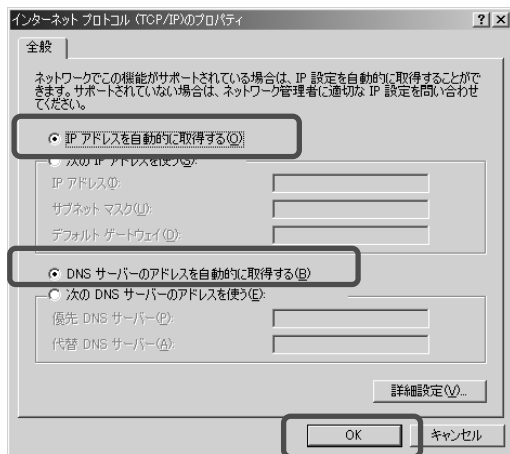
- 4 プロパティ をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。



- 5** [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、**プロパティ** をクリックします。

[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面が表示されます。



- 6** [IP アドレスを自動的に取得する]と、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択し、**OK** をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

- 7** **OK** をクリックします。

設定が保存され、有効になります。

Macintosh (Mac OS X以降) の場合

- 1 アップルメニュー(🍏) → [システム環境設定]をクリックします。

[システム環境設定] 画面が表示されます。

- 2 [インターネットとネットワーク]から[ネットワーク]のアイコンをクリックします。

[ネットワーク] 画面が表示されます。

(画面は Mac OS X version 10.1.5 です。)



- 3 [内蔵 Ethernet]、[DHCP サーバを参照]を選択し、画面を閉じます。

[保存の確認] 画面が表示されます。

- 4 はい をクリックします。

設定が保存され、有効になります。



お知らせ

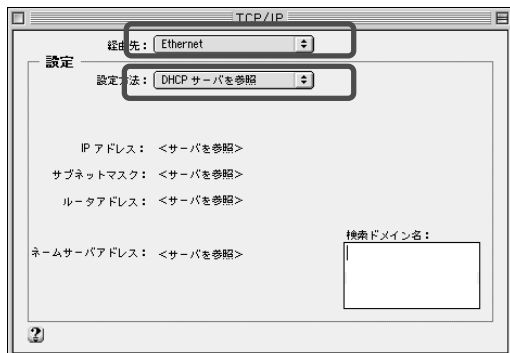
設定内容に変更がない場合は、[保存の確認] 画面は表示されません。
そのままご使用ください。

Macintosh (Mac OS 9 以前) の場合

- 1 アップルメニュー(🍏) → [コントロールパネル] → [TCP/IP]をクリックします。

[TCP/IP] 画面が表示されます。

(画面は Mac OS 9.0.4 です。)



- 2 [Ethernet]、[DHCP サーバを参照]を選択し、画面を閉じます。

[保存の確認] 画面が表示されます。

- 3 **はい** をクリックします。

設定が保存され、有効になります。



お知らせ

設定内容に変更がない場合は、[保存の確認] 画面は表示されません。
そのままご使用ください。

7-1-2 IP 設定の確認

パソコンに割り当てられた IP アドレスを確認します。



お願い

IPアドレス情報の更新を行っても正しいIPアドレスが割り当てられない場合は、次の点を確認したうえでパソコンの再起動を行ってください。

- ・ LANケーブルが正しく接続されているか（LANランプは点灯しているか）
- ・ TCP/IPプロトコルは正しく設定されているか
(☞ 「7-1-1 TCP/IPの設定」 p.193)
- ・ LANアダプタなどが正しく取り付けられ、設定されているか

Windows Vista の場合

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト]をクリックします。

[コマンドプロンプト] 画面が表示されます。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6001]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\fnm>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . . : fnm-PC
プライマリ DNS サフィックス . . . . . : 
ソート タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ

イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . : 
説明 . . . . . : Realtek RTL8102/8101 Family Fast Ethernet NIC
物理アドレス . . . . . : 80-00-00-00-00-00
DHCP 有効 . . . . . : はい
自動構成有効 . . . . . : はい
IPv6 アドレス . . . . . : 
先) 一時 IPv6 アドレス . . . . . : 
先) 永続 IPv6 アドレス . . . . . : 
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.1.2 (優先)
サブネットマスク . . . . . : 255.255.255.0
リース取得 . . . . . : 2009年5月25日 10:38:38
リースの有効期限 . . . . . : 2009年5月25日 14:38:41
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 
DHCP サーバー . . . . . : 192.168.1.1
DNS サーバー . . . . . : 192.168.1.1
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効
```

2 「ipconfig /all」と入力し、Enter キーを押します。

TCP/IP の設定内容が「IPv4 アドレス」の行に表示されます。

3 パソコンに割り当てられた IP アドレス情報が正しくない場合は、「ipconfig /renew」と入力し、Enter キーを押します。

IP アドレスが更新されます。

Windows XP/2000 の場合

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト]をクリックします。

(Windows 2000 の場合は [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト])

[コマンドプロンプト] 画面が表示されます。



2 「ipconfig /all」と入力し、Enter キーを押します。

TCP/IP の設定内容が「IP Address」の行に表示されます。

3 パソコンに割り当てられた IP アドレス情報が正しくない場合は、「ipconfig /release」と入力し、Enter キーを押した後で、「ipconfig /renew」と入力し、Enter キーを押します。

IP アドレスが更新されます。

Macintosh (Mac OS X以降) の場合

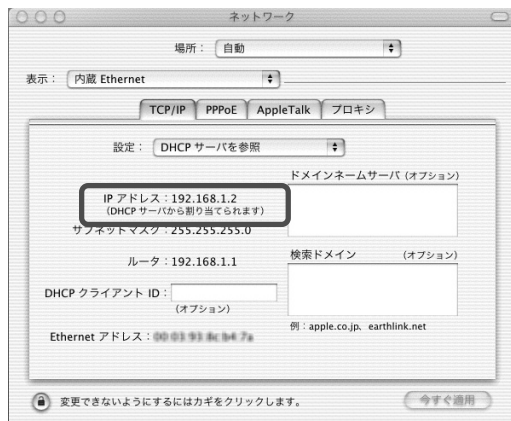
- 1 アップルメニュー(🍏) → [システム環境設定]をクリックします。

[システム環境設定] 画面が表示されます。

- 2 [インターネットとネットワーク]から[ネットワーク]のアイコンをクリックします。

[ネットワーク] 画面が表示されます。

(画面は Mac OS X version 10.1.5 です。)



- 3 IP アドレスなどが正しく表示されていることを確認します。



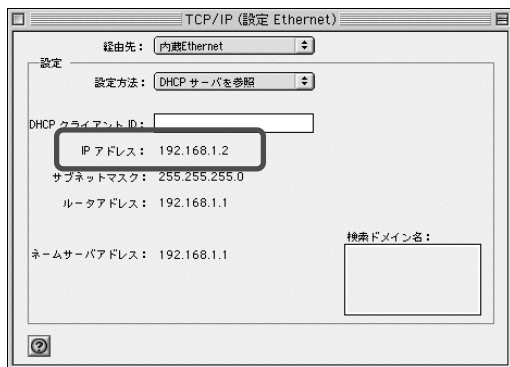
お知らせ

Mac OS の場合、コマンドを使って IP アドレス情報を更新することはできません。
LAN ケーブルを抜き差しするか、パソコンを再起動してください。

Macintosh (Mac OS 9 以前) の場合

- 1 アップルメニュー(🍏) → [コントロールパネル] → [TCP/IP]をクリックします。

[TCP/IP] 画面が表示されます。
(画面は Mac OS 9.0.4 です。)



- 2 IP アドレスなどが正しく表示されていることを確認します。



お知らせ

Mac OSの場合、コマンドを使ってIPアドレス情報を更新することはできません。
LANケーブルを抜き差しするか、パソコンを再起動してください。

7-2 ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

- ・ NTT 東日本／西日本の加入電話および ISDN
- ・ IP 電話サービス（050IP 電話サービス）
- ・ 国際電話（世界約 200 の国と地域）
- ・ 他社の提供する 0AB～J 電話サービス
- ・ 携帯電話、PHS

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

ひかり電話で以下の操作はできません

- ・ 電気通信事業者を指定した発信
（0036 など番号の頭に「00XY」を付与する番号）
- ・ シャープダイヤル（#+4 桁の番号サービス）への発信
- ・ 株式会社 NTT ドコモの衛星船舶電話への発信。
該当の番号は以下のとおりです。

090-302-20XXX～41XXX

090-302-43XXX～47XXX

090-302-57XXX～63XXX

090-302-66XXX～67XXX

7-3 ひかり電話で接続できる番号

ひかり電話で接続できる番号は以下のとおりです。（2009 年 5 月現在）

電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤルなど ※1	○
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレゴン／テレドーム／データドーム	×
0190	エンジェルライン／あんないジョーズ	×
0570	ナビダイヤル	○ ※2
0800	フリーアクセスなど ※1	○
0910	公専接続	×
0990	ダイヤル Q2	×
010	国際通話	○
020	ポケベル	×
050	IP 電話	○
060	UPT（e コール）	×
070	PHS ※3	○
080	携帯電話	○
090	携帯電話	○
100	100 番通話 ※4	×
104	番号案内 ※5	○
106	コレクトコール（コミュニケーター扱い） ※4	×
108	自動コレクトコール ※4	×

※1 フリーダイヤルなどのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。

※2 NTT コミュニケーションズ株式会社が提供する「ナビダイヤル」のみ接続できます。

※3 発信先（相手側）の PHS 端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。

※4 「100 番通話（100）」、「コレクトコール（106・108）」は、着信もご利用いただけません。

※5 ひかり電話から発信した場合、DIAL104 サービス（案内された電話番号にそのまま接続できるサービス）はご利用いただけません。
 なお、加入電話・ISDN から発信して、DIAL104 サービスにて案内された番号がひかり電話の場合は着信可能です。

電話番号	サービス名など	接続可否
110	警察（緊急通報）	○
113	故障受付	○
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116	営業受付	○
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
121	クレジット通話サービス	×
134	ダイヤル 02 パスワード	×
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバー・アナウンス／ナンバーお知らせ 136	×
141	でんわばん、二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	○
144	迷惑電話おことわりサービス	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープ（ボイスワープセレクト機能）	○
148	ナンバー・リクエスト	○
149	DDX-TP	×
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ 159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
163	DDX-TP	×
164	DDX-TP	×
165	メール送受信	×
166	ビデオテックス接続	×
167	DDX-TP	×
169	DDX-TP	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
184	発信者番号通知拒否	○
186	発信者番号通知	○

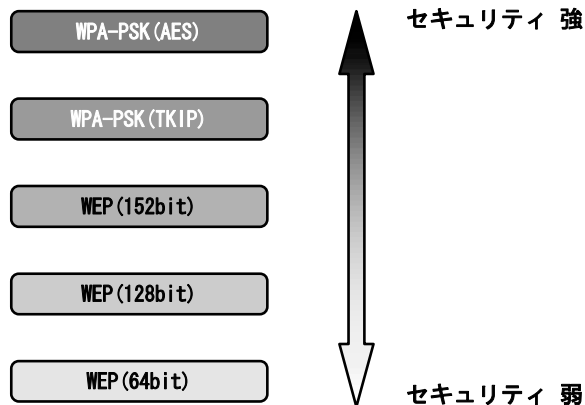
7-4 無線LANの暗号化モードと暗号化方式

本商品で実現できる無線 LAN の暗号化モードは「WPA-PSK」、「WEP」の 2 種類です。

暗号化モードとセキュリティ強度の関係は次のようになります。

暗号化モード	暗号化方式
WPA-PSK	「事前共有キー」に基づいて、セッション単位に暗号化キーを変更します。また、同一セッション内でも定期的に暗号化キーを変更します。 AES : WEP や TKIP より強力な、暗号アルゴリズムを使用します。 TKIP : WEP と同じ暗号アルゴリズムを使用します。
WEP	暗号キーとして「WEP キー」と呼ばれる文字列を使用します。 文字列の長さを「152bit」「128bit」「64bit」の 3 種類から選択します。

セキュリティの強度



7-5 故障かなと思ったら

トラブルが発生した場合には、以下の点を確認して障害箇所を明確にしてから、本章をお読みください。

- ・ 本商品前面にあるランプの点灯、点滅状態を確認（以下の確認手順を参照）
- ・ 電話機やファクスがご使用できることを確認

電源ランプが点灯していますか？



電源アダプタの接続をご確認ください。

(👉 「現象：電源ランプが点灯しない」 p. 211)

▼ はい

いいえ

アラームランプが消灯していますか？



点滅しているときは、本商品の故障が考えられます。

(👉 「現象：アラームランプが点灯/点滅する」 p. 211)

▼ はい

いいえ

WANランプが点灯していますか？



LANケーブルの接続をご確認ください。

(👉 「現象：WANランプが点灯しない」 p. 211)

▼ はい

いいえ

CONFIGランプが緑色に点灯していますか？



ひかり電話設定情報の取得に失敗しています。

(👉 「現象：CONFIGランプが橙色に点灯/点滅している」 p. 211)

▼ はい

いいえ

VoIPランプが緑色に点灯していますか？



ひかり電話設定が正しく設定されていません。

(👉 「現象：VoIPランプが緑色に点灯しない」 p. 212)

▼ はい

いいえ

ハンドセット(受話器)を取り上げたとき発着音が聞こえますか？



本商品と電話機の接続をご確認ください。

(👉 「現象：電話機のハンドセット(受話器)からいっさい音が聞こえない」 p. 212)

▼ はい

いいえ

無線LANカードのPWRランプおよびLINKランプが点滅していますか？



無線LANカードの故障が考えられます。

(👉 「現象：無線LANカードのPWRランプおよびLINKランプが点滅していない」 p. 214)

▼ はい

いいえ

上記のいずれも問題がなくても、正しく動作していないと思われる場合は、お問い合わせ窓口 (👉 p. 232) までご連絡ください。

📶：無線LAN使用時にご確認ください。

現象:電源ランプが点灯しない

原因: 本商品に電源が供給されていません。

対処: 電源アダプタが本商品に接続されていることをご確認ください。

対処: 電源アダプタが電源コンセントに確実に接続されていることをご確認ください。

対処: 電源コンセントに電源が来ている (通電している) ことをご確認ください。

対処: 本商品用の電源アダプタであることをご確認ください。

現象:アラームランプが点灯/点滅する

原因: 本商品の故障が考えられます。

対処: お問い合わせ窓口にご相談ください。 (👉 p. 232)

原因: 最新のファームウェアのダウンロード中です。

対処: 仕様であり故障ではありません。



お知らせ

ファームウェア更新中は、INITランプ (橙色)、アラームランプ (赤色)、CONFIGランプ (橙色) が同時に点滅します。

このとき本商品の電源は切らないでください。更新中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

現象:WAN ランプが点灯しない

原因: WAN ポートが正しく接続されていません。

対処: CTU と本商品の WAN ポートが、LAN ケーブルで正しく接続されていることをご確認ください。 (👉 p. 27)

対処: CTU に電源が供給されていることをご確認ください。

現象:CONFIG ランプが橙色に点灯/点滅している

原因: ひかり電話設定情報の取得に失敗しています。

対処: CTU の電源が入っていることを確認し、本商品を再起動してください。

対処: 各周辺機器との接続が正しいことを確認し、再起動してください。
(👉 p. 27、185)

対処: CTU にパソコンを接続されている場合は、パソコンの LAN ケーブルを外した状態で本商品を再起動してください。



お知らせ

CONFIGランプが緑色に点灯したことを確認してから、パソコンのLANケーブルを接続してください。

現象:VoIP ランプが緑色に点灯しない

原因：機器が正しく接続されていません。

対処：各機器の電源が入っている状態で、正しく接続されていることをご確認ください。(👉 p. 27)

それでも現象が改善されない場合は、お問い合わせ窓口へご相談ください。
(👉 p. 232)

現象:電話機のハンドセット(受話器)からいっさい音が聞こえない

原因：ご使用の電話機と本商品を接続している電話機コードが抜けています。

対処：ご使用の電話機が本商品に正しく接続されていることを確認し、電話機の電源を入れてください。(👉 p. 27)

現象:ハンドセット(受話器)を取り上げると「ピッピッピッピッ」と音がする

原因：最新のファームウェアがあることを通知しています。

対処：ファームウェアを更新してください。(👉 p. 190)

現象:通話中に「プップッ…」と音がする

原因：キャッチホンを認識しています。

対処：キャッチホンを受けてください。(👉 p. 43)

現象:ダイヤルしたが、「現在使われていません」というメッセージが聞こえる

原因：電話番号を間違えている可能性があります。

対処：一旦ハンドセット（受話器）を置き、相手先電話番号をお確かめのうえ、再度ダイヤルしてください。(👉 p. 37)

現象:ファクス通信に失敗する

原因：エコー・キャンセラを使用しているため、ファクス通信に失敗している可能性があります。

対処：エコー・キャンセラを「使用しない」に設定してお試しください。(👉 p. 105)

現象:ログインのためのユーザー名、パスワードを忘れた

対処: 本商品の初期設定のユーザー名は「admin」、パスワードは「admin」です。
「6-1 本商品の初期化」(👉 p.184)を参照し、初期値に戻して起動してからアクセスし、もう一度、ユーザー名、パスワードを設定してください。

現象:本商品の IP アドレスを忘れた

対処: 本商品から DNS サーバアドレスが取得できていれば、「http://ntt.setup/」でアクセスができます。
DNS サーバアドレスが取得できていないときに本商品の IP アドレスを忘れてしまった場合は、「6-1 本商品の初期化」(👉 p.184)を参照し、初期値(192.168.1.1)に戻してからアクセスし、もう一度、本商品の設定を行ってください。

現象:Web ブラウザで本商品へのアクセスができない

原因: パソコンに適切な IP アドレスが割り当てられていません。
対処: パソコンの IP アドレスを確認し、適切でなければ IP アドレス情報を更新してください。(👉 「7-1-2 IP 設定の確認」 p.202)
対処: 本商品の他に DHCP サーバが存在する場合は、該当装置の DHCP サーバ機能を停止してください。
原因: 本商品が起動中です。
対処: 本商品の起動を確認してから、再度アクセスしてください。
原因: Web ブラウザが正しく設定されていません。
対処: お使いの Web ブラウザがプロキシを使用しない設定になっていることを確認してください。
対処: お使いの Web ブラウザが JavaScript を使用する設定になっていることを確認してください。
対処: お使いの Web ブラウザがダイヤルしない設定になっていることを確認してください。
原因: 本商品との通信ができない状態になっています。
対処: 本商品を再起動してください。
対処: パソコンを再起動してください。

現象:無線 LAN カードの PWR ランプおよび LINK ランプが点滅していない

原因：無線 LAN カードに電源が供給されていないことが考えられます。

対処：無線 LAN カードが確実に装着されていることを確認してください。



お知らせ

無線LANカードは、必ず本商品の電源を切った状態で抜き差ししてください。

現象:無線 LAN 端末から本商品(アクセスポイント)に接続できない

原因：本商品と通信先との間の距離が離れすぎています。

対処：本商品と無線 IP 端末を近づけてください。使用環境によっては、通信可能範囲が狭くなる場合があります。

原因：アクセスポイント、無線 LAN 端末の設定が正しく行われていないことが考えられます。

対処：すべての無線 LAN 端末の動作モードがインフラストラクチャモードになっていることを確認してください。

対処：次に関する設定値を、すべてのアクセスポイントおよび無線 LAN 端末で同じ設定にしてください。

- ・ネットワーク名 (ESSID または SSID)
- ・WPA-PSK、WEP の使用/不使用、および使用するパスワードまたは WEP キーの値
- ・本商品の MAC フィルタ設定

原因：無線 LAN カードが無線 LAN アクセスポイントとして動作していないことが考えられます。

対処：無線 LAN 設定画面の [無線 LAN] が「使用する」になっていることを確認してください。 (👉「5-5 無線 LAN 設定」p. 117)

対処：無線 LAN の設定内容が適切に設定されていることを確認してください。 (👉「5-5 無線 LAN 設定」p. 117)

7-6 設定記入シート

本商品の電話設定画面(👉 p. 75、77、79、82)で設定した値を記録するのに利用してください。

電話番号(👉 p. 79、82)

本商品では最大5つの電話番号が表示されます。

内線設定(アナログ端末)

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバーディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホンディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイム 4 秒

エコークャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

	電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
				使用する	指定着信番号		
電話番号1	0600001111	☒	☒	☐		☐	R ▾
電話番号2	0600002222	☐	☒	☐		☐	R ▾
電話番号3	0600003333	☐	☒	☐		☐	R ▾
電話番号4	0600004444	☐	☒	☐		☐	R ▾
電話番号5	0600005555	☐	☒	☐		☐	R ▾
内線	-	-	-	-	-	-	R ▾

設定 戻る

画面はアナログ端末(電話機 1)設定画面です。

電話番号	電話番号
電話番号 1	
電話番号 2	
電話番号 3	
電話番号 4	
電話番号 5	

ひかり電話共通設定画面 (👉 p. 75)

ひかり電話共通設定

[ヘルプ](#) ?

トップページ > 電話設定 > ひかり電話共通設定

[ひかり電話設定]

音声優先モード なし ▼

優先着信ポート 無効 ▼

設定

電話設定

設定項目	設定値
音声優先モード	なし 優先 最優先
優先着信ポート	無効 アナログ端末（電話機 1） アナログ端末（電話機 2）

内線設定画面 (👉 p. 77)

内線設定

ヘルプ ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	—	—	—	—	編集	—
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	—	—	—	—	編集	—
☒	3	IP_phone1	通常端末	—	—	—	未登録	編集	削除
☒	4	IP_phone2	通常端末	—	—	—	未登録	編集	削除
☒	5	IP_phone3	通常端末	—	—	—	未登録	編集	削除
☒	6	IP_phone4	通常端末	—	—	—	未登録	編集	削除
☒	7	IP_phone5	通常端末	—	—	—	未登録	編集	削除

設定

内線番号一覧

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性
☐			アナログ端末 (電話機 1)
☐			アナログ端末 (電話機 2)
☐			— / 通常端末 / 音声専用端末
☐			— / 通常端末 / 音声専用端末
☐			— / 通常端末 / 音声専用端末
☐			— / 通常端末 / 音声専用端末
☐			— / 通常端末 / 音声専用端末

MAC アドレス	優先着信	指定着信	登録状態
			—
			—
			— / 未登録 / 登録済み
			— / 未登録 / 登録済み
			— / 未登録 / 登録済み
			— / 未登録 / 登録済み
			— / 未登録 / 登録済み

アナログ端末(電話機 1) (👉 p. 79)

内線設定(アナログ端末)

[ヘルプ](#)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイム 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし 着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	FR ▾
0600002222	☐	☒	☐		☐	FR ▾
0600003333	☐	☒	☐		☐	FR ▾
0600004444	☐	☒	☐		☐	FR ▾
0600005555	☐	☒	☐		☐	FR ▾
内線	-	-		-		FR ▾

[設定](#) [戻る](#)

内線番号設定

設定項目	設定値
内線番号	
ニックネーム	

ひかり電話設定

設定項目	設定値
ナンバー・ディスプレイ	使用しない / 使用する
キャッチホン・ディスプレイ	使用しない / 使用する
モデムダイヤルイン	使用しない / 使用する
割込音通知	使用しない / 使用する
ダイヤル桁間タイマ(秒)	4 / 5 / 6 / 7 / 8
エコー・キャンセラ	使用しない / 使用する

電話番号設定

設定項目			設定値
電話番号 1	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択		IR / SIR
電話番号 2	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択

設定項目			設定値
電話番号 3	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択
電話番号 4	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択
電話番号 5	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択

アナログ端末(電話機 2) (👉 p. 79)

内線設定(アナログ端末)

[ヘルプ](#) ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコ・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし 着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0600001111	☒	☒	☐		☐	FR ▼
0600002222	☐	☒	☐		☐	FR ▼
0600003333	☐	☒	☐		☐	FR ▼
0600004444	☐	☒	☐		☐	FR ▼
0600005555	☐	☒	☐		☐	FR ▼
内線	-	-		-		FR ▼

[設定](#) [戻る](#)

内線番号設定

設定項目	設定値
内線番号	
ニックネーム	

ひかり電話設定

設定項目	設定値
ナンバー・ディスプレイ	使用しない / 使用する
キャッチホン・ディスプレイ	使用しない / 使用する
モデムダイヤルイン	使用しない / 使用する
割込音通知	使用しない / 使用する
ダイヤル桁間タイマ(秒)	4 / 5 / 6 / 7 / 8
エコー・キャンセラ	使用しない / 使用する

電話番号設定

設定項目			設定値
電話番号 1	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択		IR / SIR
電話番号 2	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択

設定項目			設定値
電話番号 3	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択
電話番号 4	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択
電話番号 5	通知番号		○
	着信番号		□
	指定着信機能	使用する	□
		指定着信番号	
		指定着信なし	□
	着信音選択	IR / SIR	着信音選択

IP 端末 1 (👉 p. 82)

内線設定(IP端末)

[ヘルプ](#) 

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(IP端末)

内線設定(IP端末)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

端末属性

通常端末 ▾

MAC アドレス

ダイジェスト認証

☒ 行う

ユーザID

パスワード

[電話番号設定]

電話番号 通知番号 着信番号

0600001111

☒

☒

0600002222

☐

☒

0600003333

☐

☒

0600004444

☐

☒

0600005555

☐

☒

[設定](#)

[戻る](#)

内線番号設定

設定項目	設定値
内線番号	
ニックネーム	
端末属性	通常端末 / 音声専用端末
MAC アドレス	
ダイジェスト認証	行う / 行わない
ユーザ ID	
パスワード	

電話番号設定

設定項目		設定値
電話番号 1	通知番号	○
	着信番号	□
電話番号 2	通知番号	○
	着信番号	□
電話番号 3	通知番号	○
	着信番号	□
電話番号 4	通知番号	○
	着信番号	□
電話番号 5	通知番号	○
	着信番号	□

IP 端末 2 (👉 p. 82)

内線番号設定

設定項目	設定値
内線番号	
ニックネーム	
端末属性	通常端末 / 音声専用端末
MAC アドレス	
ダイジェスト認証	行う / 行わない
ユーザ ID	
パスワード	

電話番号設定

設定項目		設定値
電話番号 1	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 2	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 3	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 4	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 5	通知番号	☐
	着信番号	☐

IP 端末 3 (👉 p. 82)

内線番号設定

設定項目	設定値
内線番号	
ニックネーム	
端末属性	通常端末 / 音声専用端末
MAC アドレス	
ダイジェスト認証	行う / 行わない
ユーザ ID	
パスワード	

電話番号設定

設定項目		設定値
電話番号 1	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 2	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 3	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 4	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 5	通知番号	☐
	着信番号	☐

IP 端末 4 (👉 p. 82)

内線番号設定

設定項目	設定値
内線番号	
ニックネーム	
端末属性	通常端末 / 音声専用端末
MAC アドレス	
ダイジェスト認証	行う / 行わない
ユーザ ID	
パスワード	

電話番号設定

設定項目		設定値
電話番号 1	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 2	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 3	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 4	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 5	通知番号	☐
	着信番号	☐

IP 端末 5 (👉 p. 82)

内線番号設定

設定項目	設定値
内線番号	
ニックネーム	
端末属性	通常端末 / 音声専用端末
MAC アドレス	
ダイジェスト認証	行う / 行わない
ユーザ ID	
パスワード	

電話番号設定

設定項目		設定値
電話番号 1	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 2	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 3	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 4	通知番号	☐
	着信番号	☐
電話番号 5	通知番号	☐
	着信番号	☐

7-7 仕様一覧

AD-200SE

項 目		仕 様
WANポート	ポート数	1ポート
	準拠規格	100BASE-TX/10BASE-T (IEEE802.3u/IEEE802.3)
	通信速度	100Mbps/10Mbps
	伝送方式	半二重/全二重
	MDI/MDI-X	自動設定
	物理インタフェース	RJ-45コネクタ
LANポート	ポート数	4ポート
	準拠規格	100BASE-TX/10BASE-T (IEEE802.3u/IEEE802.3)
	通信速度	100Mbps/10Mbps
	伝送方式	半二重/全二重
	MDI/MDI-X	自動設定
	物理インタフェース	RJ-45コネクタ
電話機 インタフェース	ポート数	2ポート
	回線種別	2線式アナログ
	物理インタフェース	RJ-11コネクタ
電 源		外付けAC電源アダプタ方式

項 目	仕 様
外形寸法 (mm) (突起部を除く)	約 71 (W) × 109 (D) × 168 (H) (スタンド含む)
質 量	約 300g
消費電力	15W以下
動作温度	0 ～ 40℃
動作湿度	5 ～ 85% (結露なきこと)
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)	クラスB情報技術装置

本商品の OS には米国 Wind River Systems, Inc. の VxWorks を採用しています。

AD-200SE 電源アダプタ

項 目	仕 様
外形寸法 (mm) (突起部を除く)	約 69 (W) × 86 (D) × 57 (H)
質 量	約 850g
電 源	AC100V (50/60Hz)
出力電圧	DC12V

7-8 お問い合わせ窓口

お使いのうえでご不明の点がありましたら、下記へお気軽にご相談ください。
お電話番号をお間違えにならないよう、ご注意願います。

●本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：



0120-248995

(携帯電話・PHSからも利用可能です。)

受付時間

- ・ 本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：
9:00～17:00(年末年始12月29日～1月3日は除く)
- ・ 故障に関するお問い合わせ：
24時間(年中無休)
故障修理対応時間は9:00～17:00です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新情報を提供しています。

本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ:<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>



© 2010 NTTEAST・NTTWEST
本 2719-9 (20010.1)

AD-200SE トリセツ